

事業用自動車の交通事故統計（令和５年版） 〔第１分冊〕



令和７年３月
国土交通省 物流・自動車局

目 次

1. 事故全体の傾向	1
1-1. 交通事故全体の推移	1
1-2. 自動車事故件数の推移	4
1-3. 自動車事故死者数の推移	8
1-4. 自動車死亡事故件数の推移	13
1-5. 飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移	17
1-6. 業態別運転者年齢層別の交通事故	18
1-7. 業態別危険認知速度別の交通事故	20
1-8. 業態別時間帯別の交通事故	22
1-9. 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数	24
2. バスの事故	26
2-1. 乗合バスの交通事故	30
2-2. 貸切バスの交通事故	46
3. タクシーの交通事故	58
4. トラックの交通事故	73
5. まとめ	94

附録. 事業用自動車の交通事故統計（令和5年版）

【凡 例】

1. 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。物損事故については計上していない。
2. 「自動車事故」とは、交通事故のうち、自動車及び軽自動車の交通によって起された事故をいう。
3. 「自動車事故」は、「事業用自動車」の事故と、「自家用自動車」の事故に分けられる。うち、「自家用自動車」とは、乗用車（バス、マイクロ、普通乗用車、軽乗用車）及び、貨物車（大型貨物、中型貨物、準中型貨物、普通貨物、軽貨物、トレーラー）を合わせたものをいう。
4. 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
5. 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1ヶ月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
6. 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1ヶ月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
7. 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
8. 「貨物自動車」の分類は道路交通法に基づくものとする。
大型　：車両総重量11トン以上、または最大積載量6.5トン以上
中型　：車両総重量7.5トン以上11トン未満、または最大積載量4.5トン以上6.5トン未満
準中型：車両総重量3.5トン以上7.5トン未満、または最大積載量2トン以上4.5トン未満
普通　：車両総重量3.5トン未満、または最大積載量2トン未満
軽　　：貨物自動車のうち、軽自動車であるもの

1. 事故全体の傾向

1-1. 交通事故全体の推移

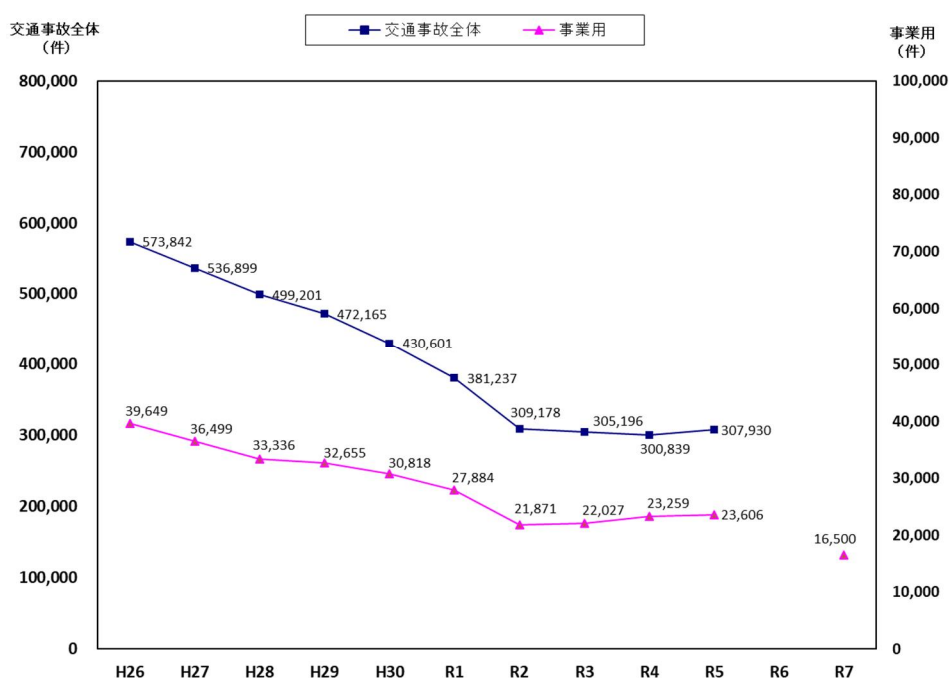
自動車に加え、二輪車や自転車等を含む「交通事故全体」と、「事業用自動車」の交通事故の推移を、「交通事故件数」、「交通事故死者数」、「交通死亡事故件数」の3つを比較した。

(1) 交通事故件数の推移

令和5年中に全国で発生した交通事故全体の件数は307,930件であり、そのうち、事業用自動車は23,606件であった。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025（令和3年3月）」において、令和7年までに人身事故件数を16,500件以下とする削減目標が示されている。

〔図 1〕 交通事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 1〕 交通事故件数の推移 (件)

年	区分	交通事故件数	
		交通事故全体	事業用
H26		573,842	39,649
H27		536,899	36,499
H28		499,201	33,336
H29		472,165	32,655
H30		430,601	30,818
R1		381,237	27,884
R2		309,178	21,871
R3		305,196	22,027
R4		300,839	23,259
R5		307,930	23,606

出典：警察庁「交通統計」

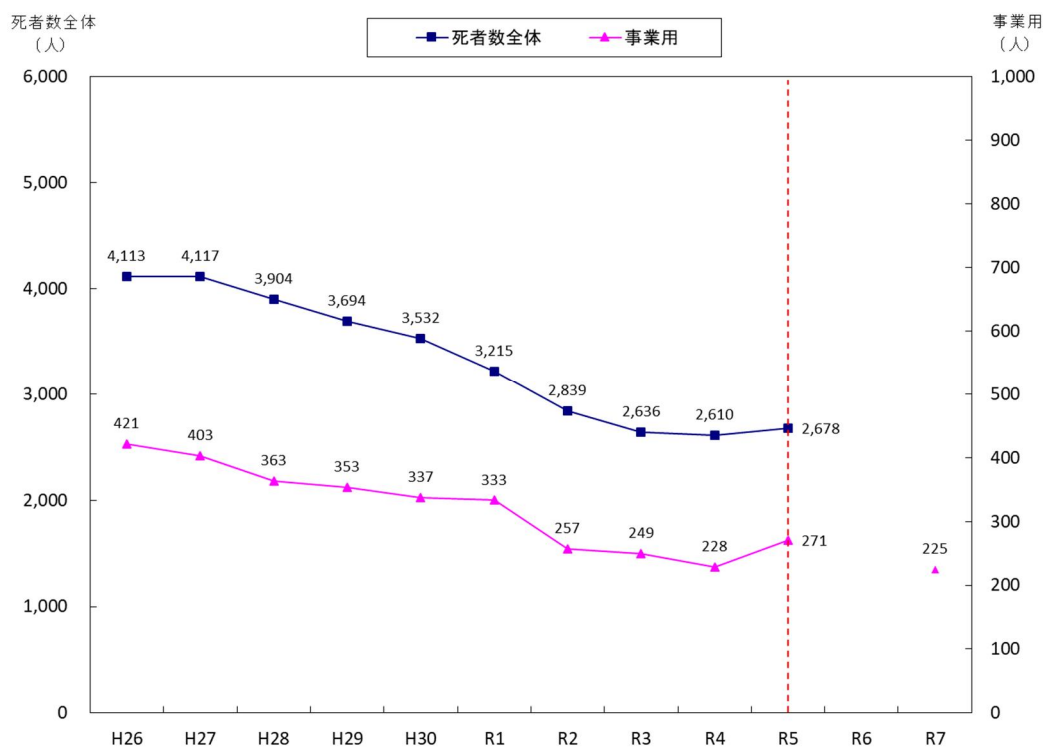
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 交通事故死者数の推移

令和５年中に全国で発生した交通事故全体における死者数は2,678人であり、そのうち、事業用自動車での交通事故死者数は271人となっている。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに事業用自動車での死者数を225人以下とする削減目標が示されている。

〔図 2〕 交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 2〕 交通事故死者数の推移 (人)

年	区分	死者数	
		死者数全体	事業用
H26		4,113	421
H27		4,117	403
H28		3,904	363
H29		3,694	353
H30		3,532	337
R1		3,215	333
R2		2,839	257
R3		2,636	249
R4		2,610	228
R5		2,678	271

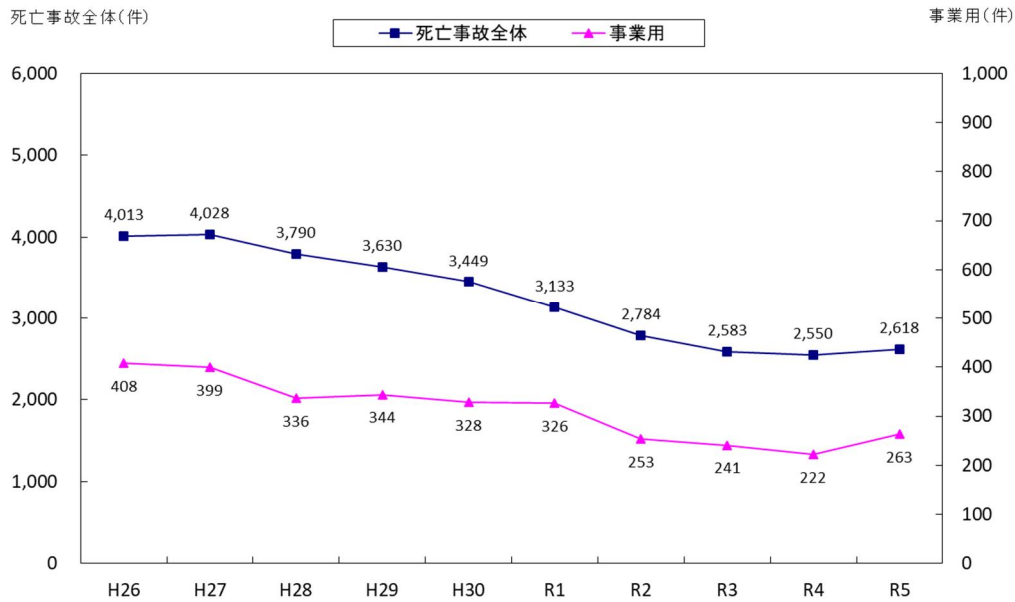
出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 交通死亡事故件数の推移

令和5年中に全国で発生した交通死亡事故全体の件数は2,618件であり、前年と比べて68件増加している。そのうち、事業用自動車は263件であり、前年と比べて41件増加している。

〔図 3〕 交通死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 3〕 交通死亡事故件数の推移 (件)

年	区分	死亡事故件数	
		死亡事故全体	事業用
H26		4,013	408
H27		4,028	399
H28		3,790	336
H29		3,630	344
H30		3,449	328
R1		3,133	326
R2		2,784	253
R3		2,583	241
R4		2,550	222
R5		2,618	263

出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

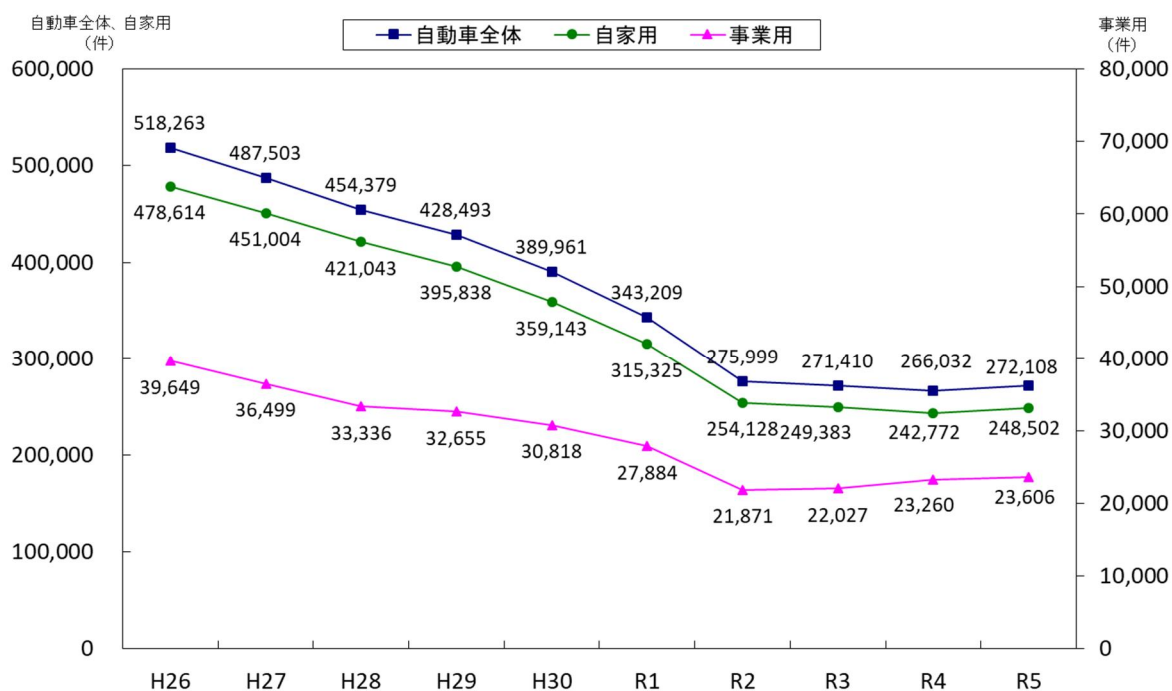
1-2. 自動車事故件数の推移

「事業用自動車」「自家用自動車（自家用のバス、乗用車及びトラックをいう。以下同じ）」及び「自動車全体（事業用自動車と自家用自動車を合わせたものをいう。以下同じ）」について、「交通事故件数」「交通事故死者数」「交通死亡事故件数」の3つを比較した。

（1）自動車事故件数の推移

令和5年中に全国で発生した自動車全体の交通事故件数は272,108件であり、そのうち、自家用自動車は248,502件、事業用自動車は23,606件となっている。

〔図 4〕 自動車事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 4〕 自動車事故件数の推移（件）

区分 年	自動車全体	自家用	事業用
H26	518,263	478,614	39,649
H27	487,503	451,004	36,499
H28	454,379	421,043	33,336
H29	428,493	395,838	32,655
H30	389,961	359,143	30,818
R1	343,209	315,325	27,884
R2	275,999	254,128	21,871
R3	271,410	249,383	22,027
R4	266,032	242,772	23,260
R5	272,108	248,502	23,606

出典：警察庁「交通統計」

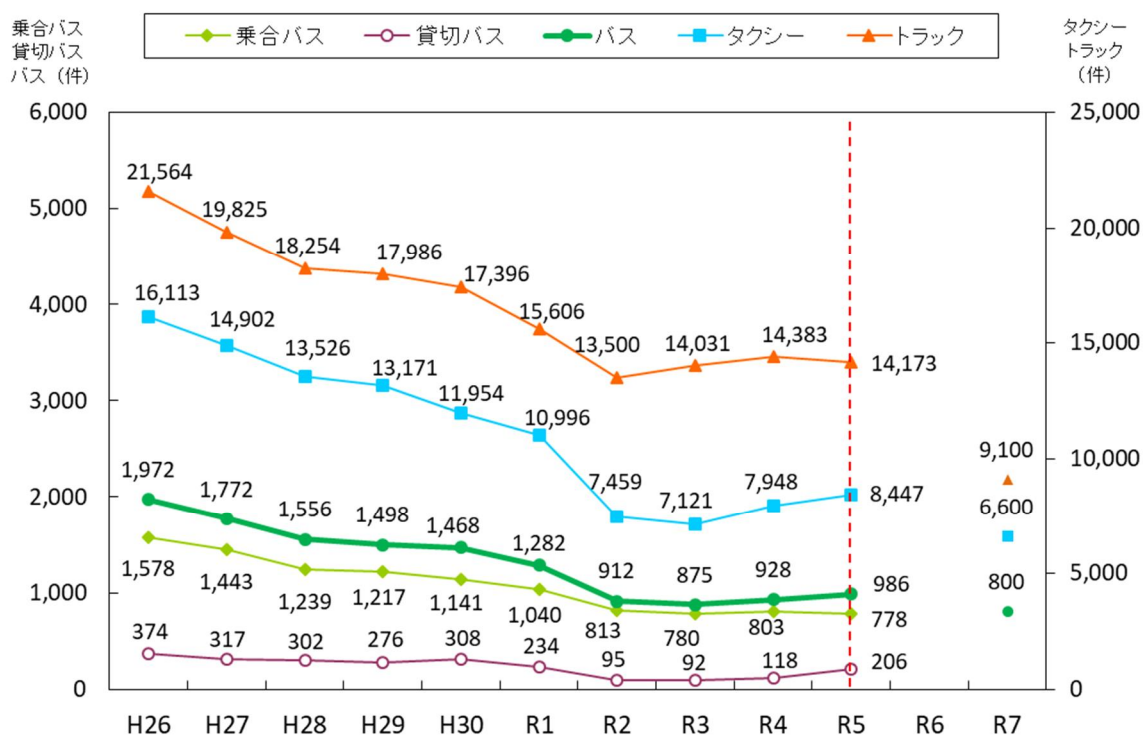
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

事業用自動車の交通事故件数を業態別にみると、令和5年は前年と比べて乗合バスとトラックは減少、貸切バスとタクシーは増加している。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和7年までに、バスの事故件数を800件以下、タクシーの事故件数を6,600件以下、トラックの事故件数を9,100件以下とする削減目標が示されている。

〔図 5〕 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 5〕 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移（件）

区分 年	バス				タクシー	トラック
	乗合バス	貸切バス	その他			
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564
H27	1,772	1,443	317	12	14,902	19,825
H28	1,556	1,239	302	15	13,526	18,254
H29	1,498	1,217	276	5	13,171	17,986
H30	1,468	1,141	308	19	11,954	17,396
R1	1,282	1,040	234	8	10,996	15,606
R2	912	813	95	4	7,459	13,500
R3	875	780	92	3	7,121	14,031
R4	928	803	118	7	7,948	14,383
R5	986	778	206	2	8,447	14,173

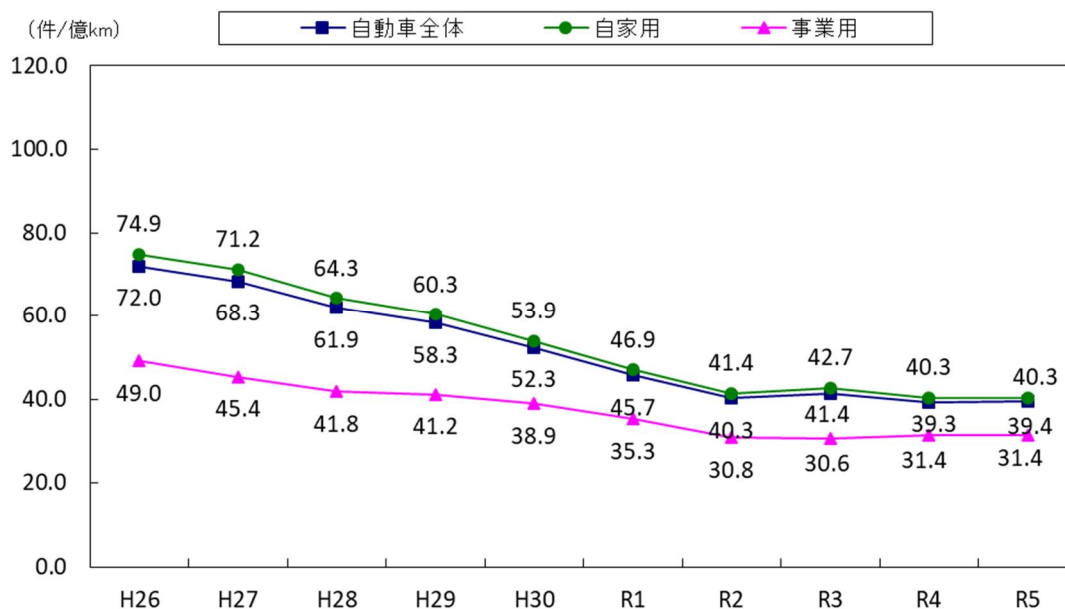
※平成29年以降、乗車定員11人未満であり路線定期運行を行う業態は、乗合バスとして計上している。
（業態別の統計については、以下同様）

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 走行距離1億キロあたり自動車事故件数の推移

走行距離あたりの自動車事故件数は、自動車全体、自家用自動車、事業用自動車のいずれも減少傾向となっており、令和5年は前年と同様だった。

〔図 6〕 走行距離1億キロあたり自動車事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 6〕 走行距離と自動車事故件数の推移

区分 年	事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H26	518,263	478,614	39,649	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	487,503	451,004	36,499	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	454,379	421,043	33,336	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	428,493	395,838	32,655	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	389,961	359,143	30,818	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	343,209	315,325	27,884	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	275,999	254,128	21,871	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	271,410	249,383	22,027	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	266,032	242,773	23,259	6,767.2	6,025.7	741.5
R5	272,108	248,502	23,606	6,911.3	6,159.1	752.2

出典：警察庁「交通統計」

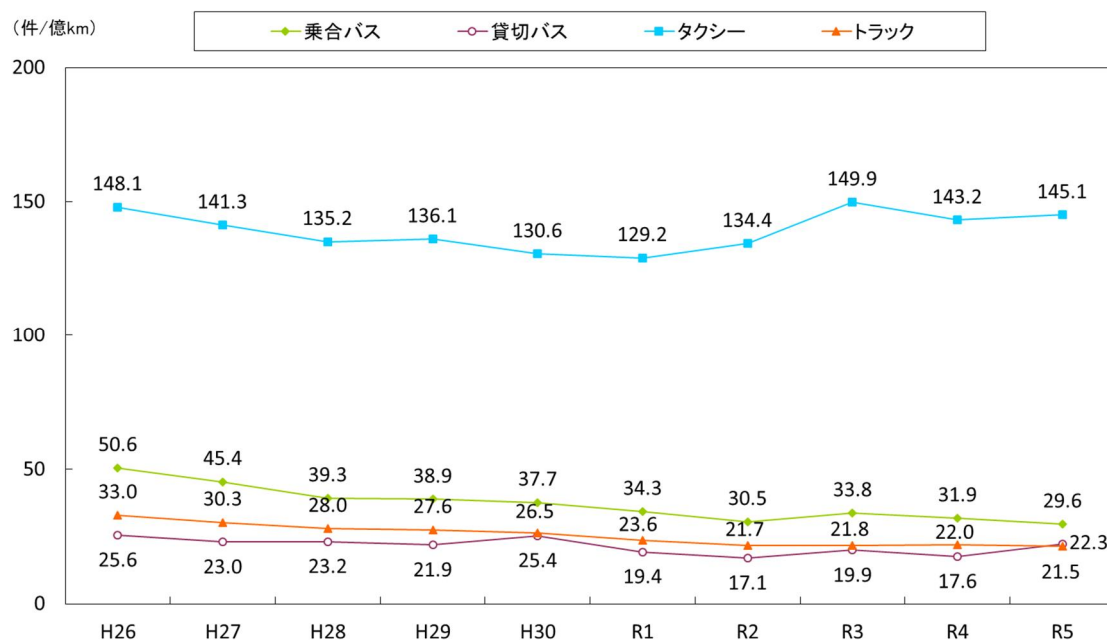
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

(4) 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の交通事故件数は令和4年はトラックのみ前年と比べて増加したが、令和5年は貸切バスとタクシーが前年と比べて増加した。

〔図 7〕 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 7〕 事業用自動車の業態別走行距離と交通事故件数の推移

区分 年	事故件数(件)							走行距離(億km)					
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	自動車全体	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック	自動車全体
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564	518,263	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9	7,200.8
H27	1,772	1,443	317	12	14,902	19,825	487,503	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7	7,137.1
H28	1,556	1,239	302	15	13,526	18,254	454,379	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5	7,345.8
H29	1,498	1,217	276	5	13,171	17,986	428,493	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8	7,354.2
H30	1,468	1,141	308	19	11,954	17,396	389,961	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6	7,451.7
R1	1,282	1,040	234	8	10,996	15,606	343,209	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5	7,506.4
R2	912	813	95	4	7,459	13,500	275,999	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0	6,846.8
R3	875	780	92	3	7,121	14,031	271,410	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8	6,563.5
R4	928	803	118	7	7,948	14,383	266,032	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1	6,767.2
R5	986	778	206	2	8,447	14,173	272,108	35.5	26.3	9.3	58.2	658.5	6,911.3

出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

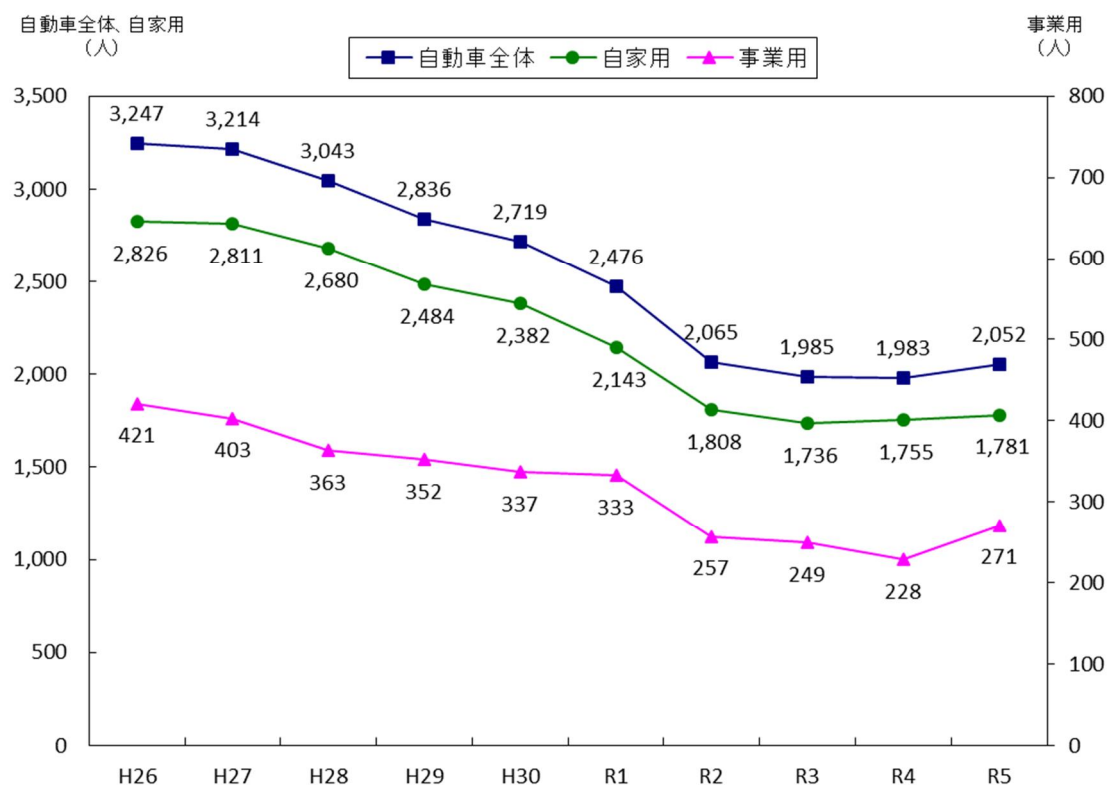
国土交通省「自動車輸送統計調査」

1－3. 自動車事故死者数の推移

(1) 自動車事故死者数の推移

令和5年中に全国で発生した自動車全体の交通事故死者数は2,052人である。そのうち、事業用自動車は271人であり、令和5年は前年より43人増加している。

〔図 8〕 自動車事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 8〕 自動車事故死者数の推移 (人)

区分 年	自動車全体	自家用	事業用
H26	3,247	2,826	421
H27	3,214	2,811	403
H28	3,043	2,680	363
H29	2,836	2,484	352
H30	2,719	2,382	337
R1	2,476	2,143	333
R2	2,065	1,808	257
R3	1,985	1,736	249
R4	1,983	1,755	228
R5	2,052	1,781	271

出典：警察庁「交通統計」

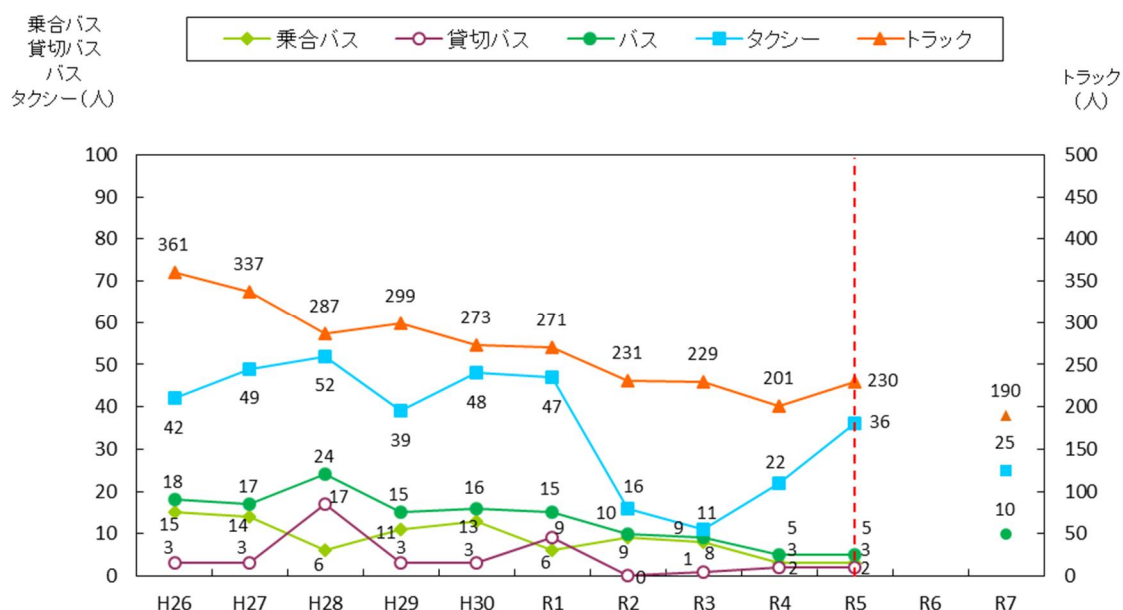
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

事業用自動車の交通事故死者数を業態別にみると、トラックが大半を占めている。令和5年は前年と比べて、タクシーとトラックが増加している。貸切バスは、軽井沢スキーバス事故があった平成28年に増加したものの、近年は横ばい傾向となっている。タクシーは14人増加している。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和7年までに、バスの交通事故死者数を10人以下、タクシーの交通事故死者数を25人以下、トラックの交通事故死者数を190人以下とする削減目標が示されている。

〔図 9〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 9〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移 (人)

年	区分	バス				タクシー	トラック
		乗合バス	貸切バス	その他			
H26		15	3	0	42	361	
H27		14	3	0	49	337	
H28		6	17	1	52	287	
H29		11	3	1	39	299	
H30		13	3	0	48	273	
R1		6	9	0	47	271	
R2		9	0	1	16	231	
R3		8	1	0	11	229	
R4		3	2	0	22	201	
R5		3	2	0	36	230	

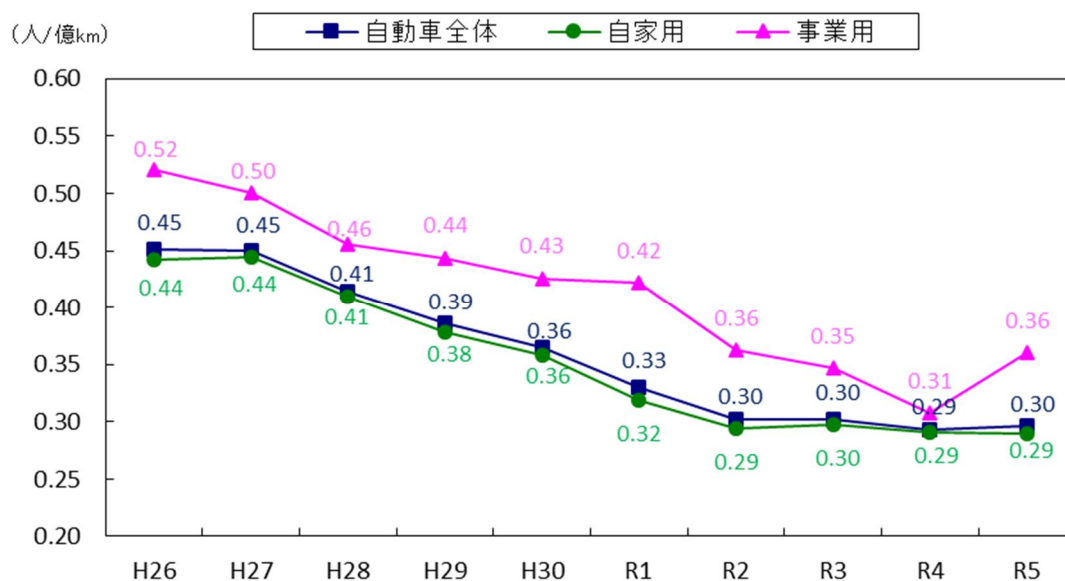
出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 走行距離1億キロあたり自動車事故死者数の推移

走行距離あたりの自動車事故死者数は、近年減少傾向となっているが、令和5年は前年と比べて自動車全体と事業用が増加した。

〔図 10〕 走行距離1億キロあたり自動車事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 10〕 自動車事故死者数と走行距離の推移

年	区分	死者数(人)			走行距離(億km)		
		自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H26		3,247	2,826	421	7,200.8	6,392.3	808.5
H27		3,214	2,811	403	7,137.1	6,332.5	804.7
H28		3,043	2,680	363	7,345.8	6,548.7	797.1
H29		2,836	2,484	352	7,354.2	6,560.7	793.5
H30		2,719	2,382	337	7,451.7	6,660.2	791.5
R1		2,476	2,143	333	7,506.4	6,716.3	790.1
R2		2,065	1,808	257	6,846.8	6,137.2	709.7
R3		1,985	1,736	249	6,563.5	5,844.5	719.0
R4		1,983	1,755	228	6,767.2	6,025.7	741.5
R5		2,052	1,781	271	6,911.3	6,159.1	752.2

出典：警察庁「交通統計」

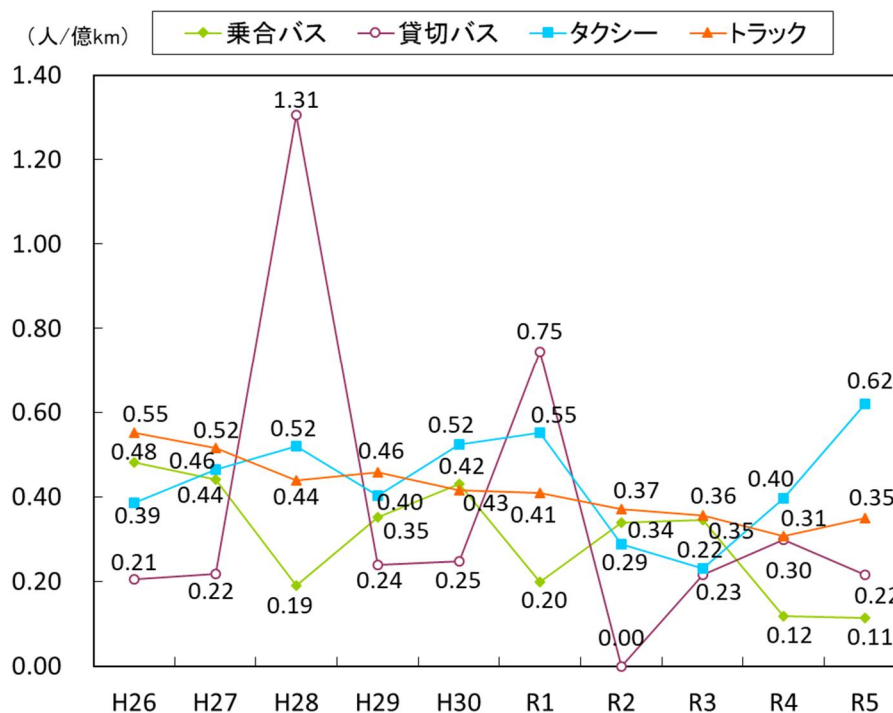
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

(4) 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の業態別交通事故死者数は、令和5年は前年と比べて、タクシーとトラックは増加し、乗合バスと貸切バスは減少している。貸切バスが増加している平成28年は、軽井沢スキーバス事故の影響によるものである。

〔図 11〕 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 11〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数と走行距離の推移

区分 年	死者数(人)						走行距離(億km)				
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック
H26	18	15	3	0	42	361	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9
H27	17	14	3	0	49	337	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7
H28	24	6	17	1	52	287	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5
H29	15	11	3	1	39	299	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8
H30	16	13	3	0	48	273	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6
R1	15	6	9	0	47	271	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5
R2	10	9	0	1	16	231	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0
R3	9	8	1	0	11	229	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8
R4	5	3	2	0	22	201	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1
R5	5	3	2	0	36	230	35.5	26.3	9.3	58.2	658.5

出典：警察庁「交通統計」

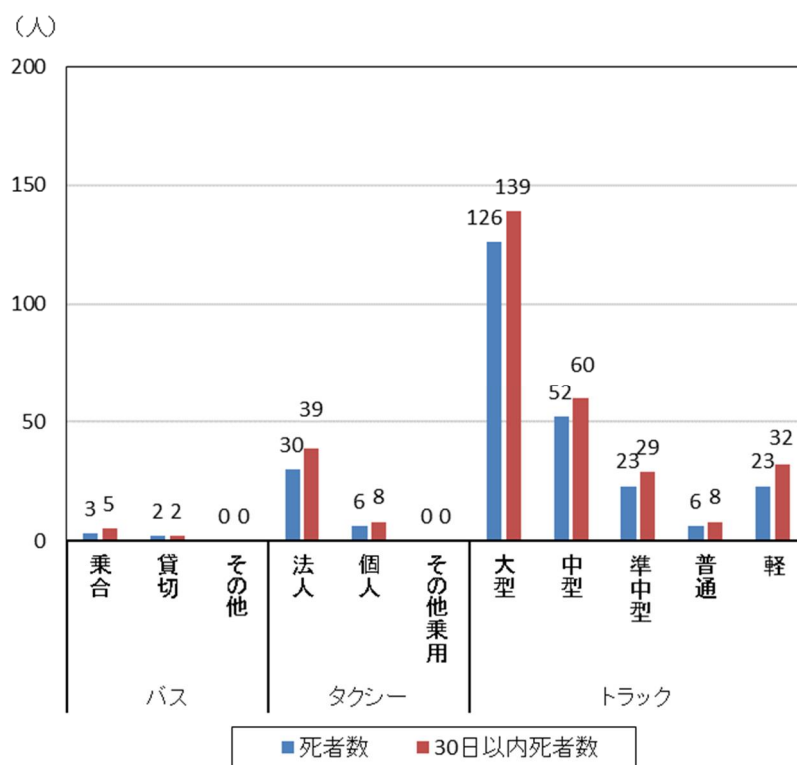
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

(5) 事業用自動車の業態別交通事故死者数と30日以内死者数

死者数に対する30日以内死者数（交通事故によって、発生から30日以内に亡くなった人数）の増加率は、バスが40.0%、タクシーが30.6%、トラックが16.5%となっている。

〔図 12〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数と 30 日以内死者数（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 12〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数（人）と 30 日以内死者数（人）（令和 5 年）

		死者数	30日以内 死者数
バス	乗合	3	5
	貸切	2	2
	その他	0	0
	計	5	7
タクシー	法人	30	39
	個人	6	8
	その他乗用	0	0
	計	36	47
トラック	大型	126	139
	中型	52	60
	準中型	23	29
	普通	6	8
	軽	23	32
	計	230	268

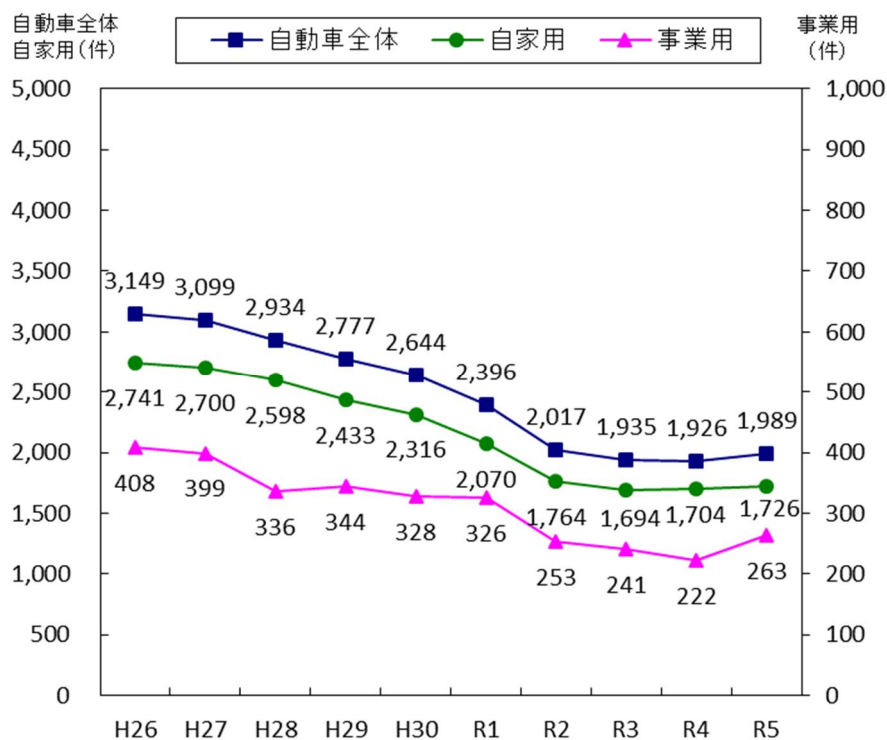
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1－4．自動車死亡事故件数の推移

(1) 自動車死亡事故件数の推移

令和5年中に全国で発生した自動車全体の交通死亡事故件数は1,989件であり、そのうち、自家用自動車は1,726件、事業用自動車は263件となっている。

〔図 13〕 自動車死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 13〕 自動車死亡事故件数の推移 (件)

区分 年	自動車全体	自家用	事業用
H26	3,149	2,741	408
H27	3,099	2,700	399
H28	2,934	2,598	336
H29	2,777	2,433	344
H30	2,644	2,316	328
R1	2,396	2,070	326
R2	2,017	1,764	253
R3	1,935	1,694	241
R4	1,926	1,704	222
R5	1,989	1,726	263

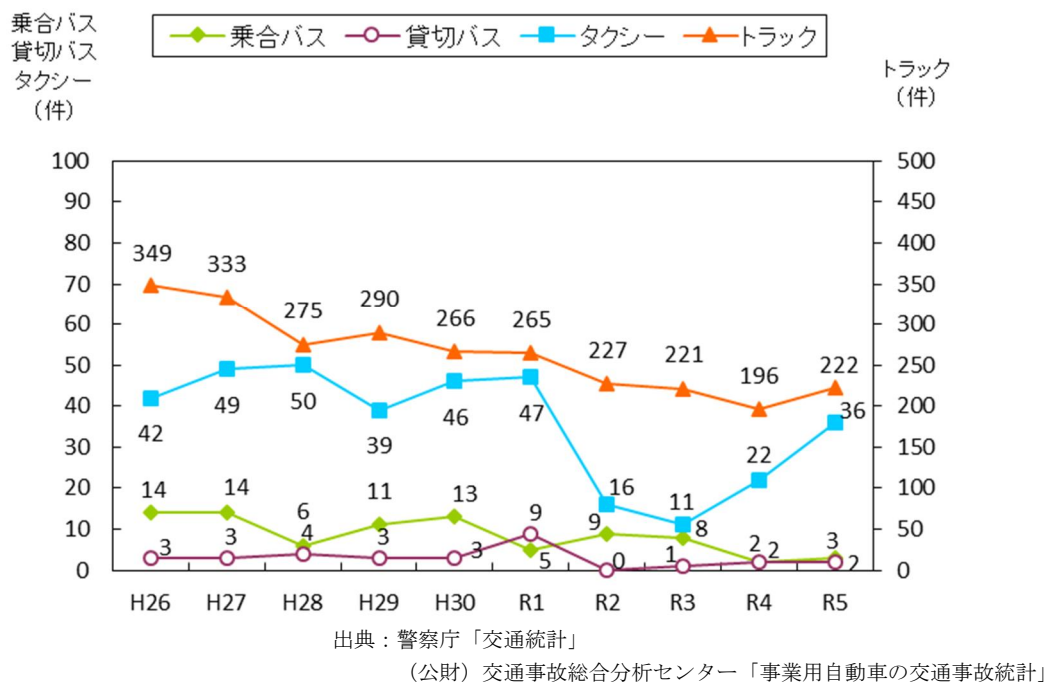
出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

事業用自動車の交通死亡事故件数を業態別にみると、トラックが大半を占めている。令和5年は前年と比べて、乗合バスとタクシーとトラックが増加している。タクシーは14件、トラックは26件増加している。

〔図 14〕 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移



〔表 14〕 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移 (件)

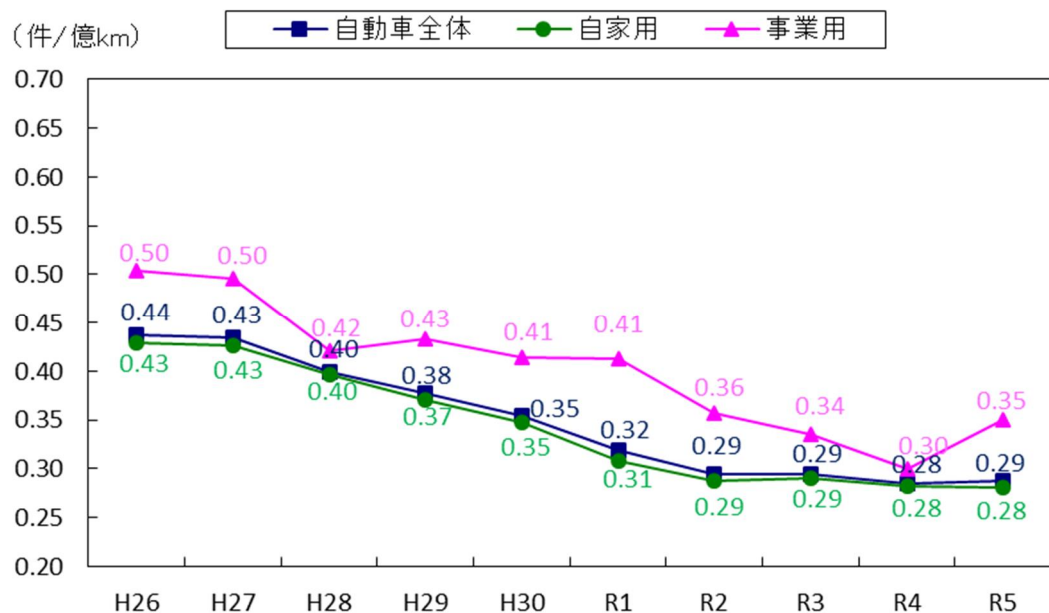
年	バス				タクシー	トラック
	乗合バス	貸切バス	その他			
H26	17	14	3	0	42	349
H27	17	14	3	0	49	333
H28	11	6	4	1	50	275
H29	15	11	3	1	39	290
H30	16	13	3	0	46	266
R1	14	5	9	0	47	265
R2	10	9	0	1	16	227
R3	9	8	1	0	11	221
R4	4	2	2	0	22	196
R5	5	3	2	0	36	222

出典：警察庁「交通統計」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 走行距離1億キロあたり自動車死亡事故件数の推移

走行距離あたりの自動車死亡事故件数は、近年減少傾向となっているが、令和5年は前年と比べて自動車全体と事業用が増加した。

〔図 15〕 走行距離1億キロあたり自動車死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 15〕 自動車死亡事故件数と走行距離の推移

区分 年	死亡事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H26	3,149	2,741	408	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	3,099	2,700	399	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	2,934	2,598	336	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	2,777	2,433	344	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	2,644	2,316	328	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	2,396	2,070	326	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	2,017	1,764	253	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	1,935	1,694	241	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	1,926	1,704	222	6,767.2	6,025.7	741.5
R5	1,989	1,726	263	6,911.3	6,159.1	752.2

出典：警察庁「交通統計」

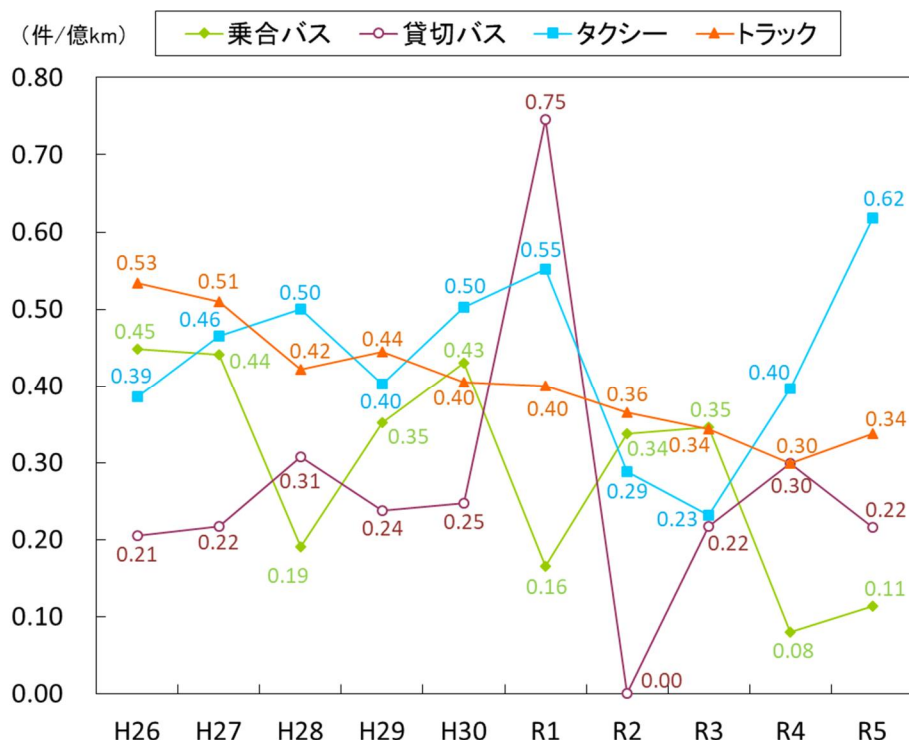
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

(4) 走行距離 1 億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の交通死亡事故件数は、令和 5 年は前年と比べて貸切バスは減少し、乗合バスとタクシーとトラックは増加している。

〔図 16〕 走行距離 1 億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 16〕 事業用自動車の業態別走行距離と交通死亡事故件数の推移

区分 年	死亡事故件数(件)						走行キロ(億km)				
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック
H26	17	14	3	0	42	349	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9
H27	17	14	3	0	49	333	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7
H28	11	6	4	1	50	275	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5
H29	15	11	3	1	39	290	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8
H30	16	13	3	0	46	266	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6
R1	14	5	9	0	47	265	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5
R2	10	9	0	1	16	227	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0
R3	9	8	1	0	11	221	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8
R4	4	2	2	0	22	196	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1
R5	5	3	2	0	36	222	35.5	26.3	9.3	58.2	658.5

出典：警察庁「交通統計」

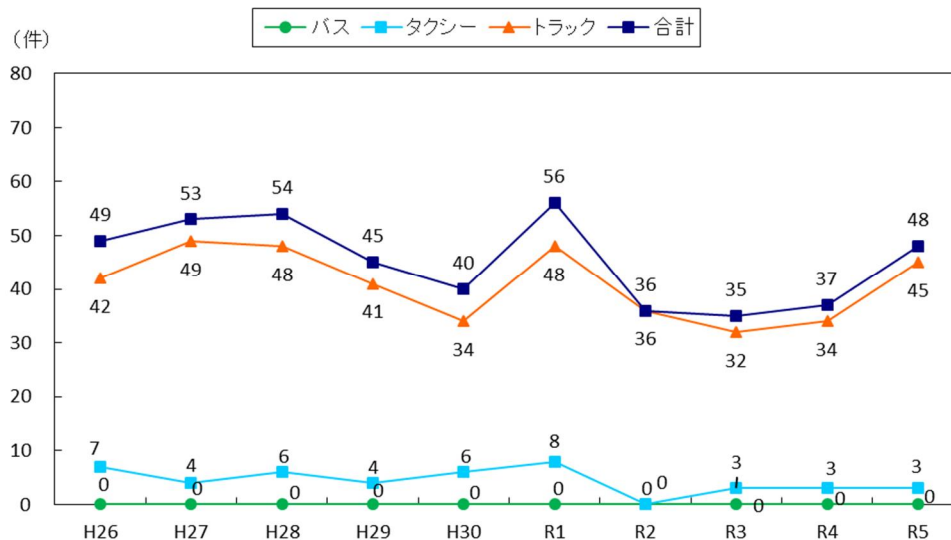
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

国土交通省「自動車輸送統計調査」

1-5. 飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移

飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成26年から横ばい傾向となっている。なお、令和5年はトラックが45件、タクシーが3件となっている。

〔図 17〕 飲酒運転による事業用自動車の交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 17〕 業態別飲酒運転による交通事故件数（件）

区分 年	交通事故件数					タクシー	トラック	合計
	バス	乗合	貸切	その他				
H26	0	0	0	0	7	42	49	
H27	0	0	0	0	4	49	53	
H28	0	0	0	0	6	48	54	
H29	0	0	0	0	4	41	45	
H30	0	0	0	0	6	34	40	
R1	0	0	0	0	8	48	56	
R2	0	0	0	0	0	36	36	
R3	0	0	0	0	3	32	35	
R4	0	0	0	0	3	34	37	
R5	0	0	0	0	3	45	48	

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 18〕 業態別飲酒運転による交通死亡事故件数の推移（件）

区分 年	交通死亡事故件数				タクシー	トラック	合計
	バス	乗合	貸切	その他			
H26	0	0	0	0	1	5	6
H27	0	0	0	0	0	5	5
H28	0	0	0	0	0	1	1
H29	0	0	0	0	0	4	4
H30	0	0	0	0	0	2	2
R1	0	0	0	0	0	6	6
R2	0	0	0	0	0	4	4
R3	0	0	0	0	0	4	4
R4	0	0	0	0	0	0	0
R5	0	0	0	0	0	0	0

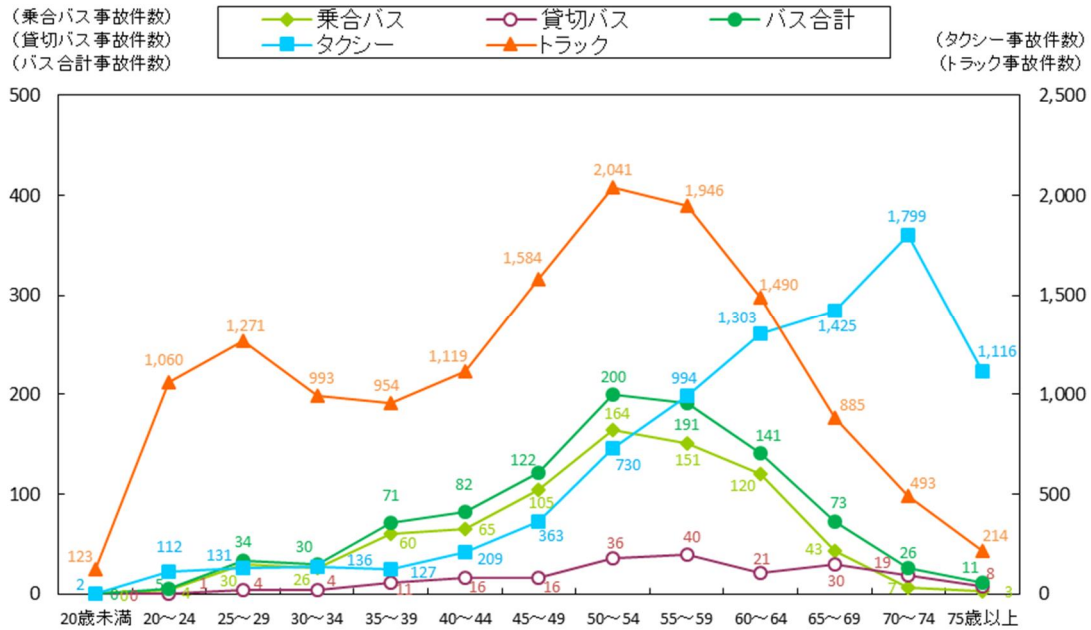
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1-6. 業態別運転者年齢層別の交通事故

(1) 業態別運転者年齢層別交通事故件数

交通事故第1当事者の年齢分布を業態別にみると、バスやトラックは同じ傾向となっており、タクシーは比較的高齢側に分布している。なお、タクシーは他の2業態と比較して運転者全体の平均年齢が高い。

〔図 18〕 業態別運転者年齢層別交通事故件数（令和5年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 19〕 業態別運転者年齢層別交通事故件数（件）（令和5年）

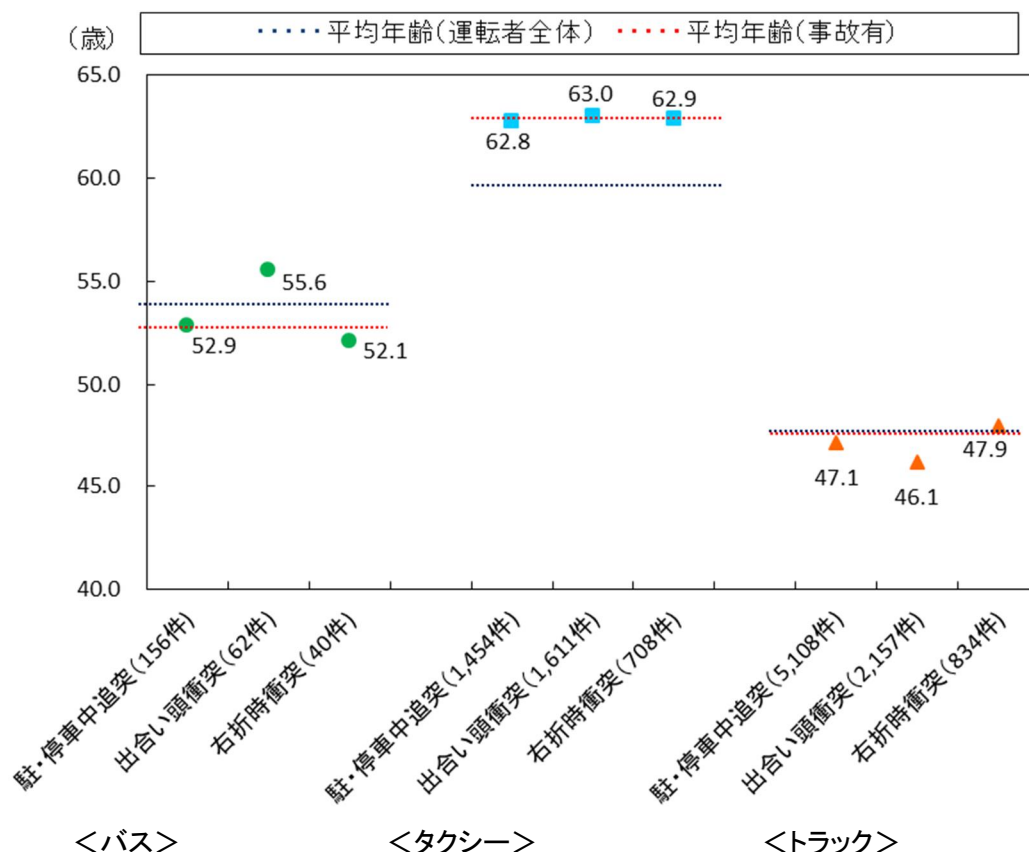
		20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	合計
バス	乗合	0	4	30	26	60	65	105	164	151	120	43	7	3	778
	貸切	0	1	4	4	11	16	16	36	40	21	30	19	8	206
	その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	小計	0	5	34	30	71	82	122	200	191	141	73	26	11	986
タクシー	法人	2	99	124	129	119	191	333	669	891	1,203	1,314	1,609	983	7,666
	個人	0	1	3	1	3	6	21	45	87	91	104	184	131	677
その他乗用		0	12	4	6	5	12	9	16	16	9	7	6	2	104
小計		2	112	131	136	127	209	363	730	994	1,303	1,425	1,799	1,116	8,447
貨物自動車	大型	1	98	226	240	245	312	568	744	720	490	262	117	28	4,051
	中型	0	93	135	134	164	193	299	463	405	313	188	81	21	2,489
	準中型	23	162	190	135	139	178	238	303	302	244	141	65	32	2,152
	普通	12	59	27	30	40	36	49	58	58	59	30	22	9	489
	軽	87	648	693	454	366	400	430	473	461	384	264	208	124	4,992
	小計 (トレーラ)	123 (1)	1,060 (12)	1,271 (32)	993 (52)	954 (47)	1,119 (66)	1,584 (115)	2,041 (156)	1,946 (133)	1,490 (93)	885 (43)	493 (20)	214 (8)	14,173 (778)
合計		125	1,177	1,436	1,159	1,152	1,410	2,069	2,971	3,131	2,934	2,383	2,318	1,341	23,606

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 業態別事故類型別事故第1当事者平均年齢

事故第1当事者の平均年齢と運転者全体の平均年齢及び事故有運転者の平均年齢を比較すると、バスは出会い頭衝突事故において、運転者全体の平均年齢より高い年齢になっている。タクシーとトラックは事故類型を問わず事故有運転者の平均年齢とほぼ同水準となっている。

〔図 19〕業態別事故類型別事故第1当事者の運転者平均年齢（車両との事故）（令和5年）



業態	バス	タクシー	トラック
平均年齢 (運転者全体)	53.9	59.7	47.7
平均年齢 (事故あり)	52.7	62.9	47.7

※事故第1当事者の運転者の平均年齢は、年齢層毎の年齢の加重平均により算出

※上記事故類型は「車両との事故」の事故類型から事故件数の多い3つを抽出

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
厚生労働省「令和5年賃金構造基本統計調査（全国）」

1-7. 業態別危険認知速度別の交通事故

(1) 業態別危険認知速度別交通事故件数

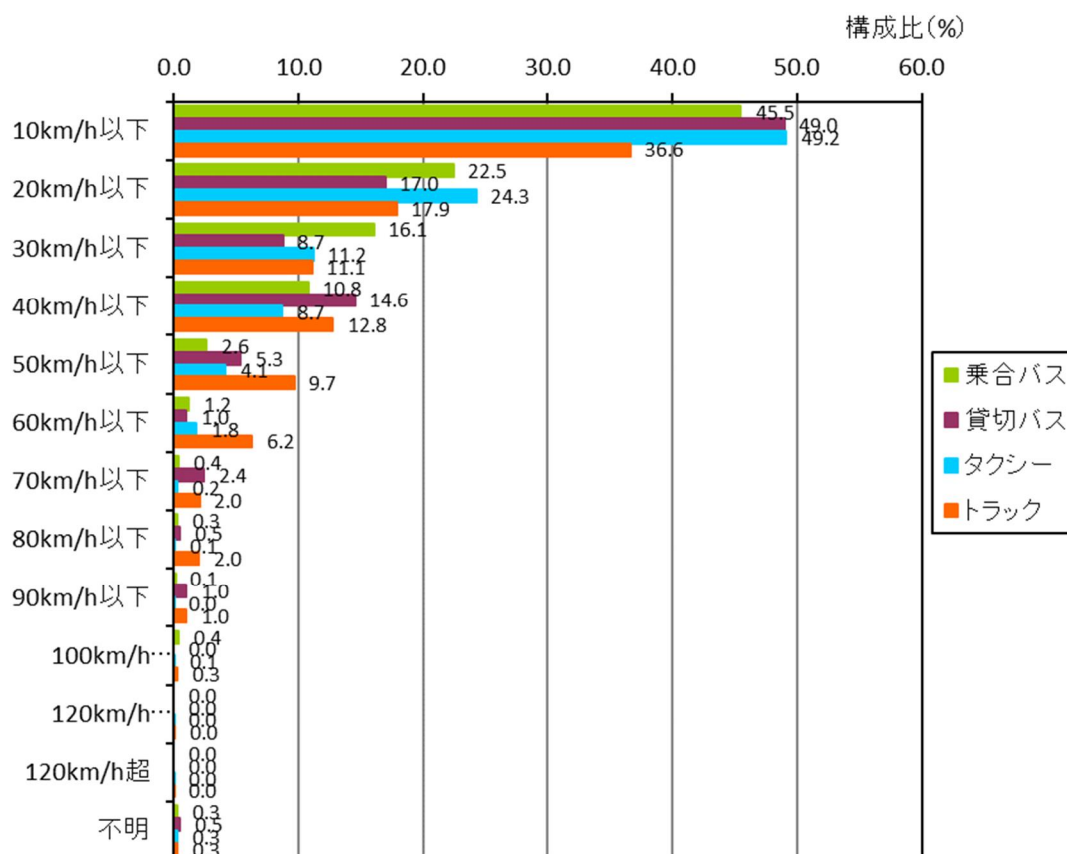
業態別の危険認知速度別交通事故件数をみると、いずれの業態も10km/h以下が最も多く、バスとタクシーは全件数の約半数を占めている。表20に認知速度別交通事故件数を、図20に業態別の構成比を示す。

〔表 20〕 業態別危険認知速度別交通事故件数（件）（令和 5 年）

区分 速度	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	457	354	101	2	4,152	5,191	10,257
20km/h以下	210	175	35	0	2,054	2,534	5,008
30km/h以下	143	125	18	0	948	1,580	2,814
40km/h以下	114	84	30	0	736	1,811	2,775
50km/h以下	31	20	11	0	346	1,368	1,776
60km/h以下	11	9	2	0	151	885	1,058
70km/h以下	8	3	5	0	20	290	326
80km/h以下	3	2	1	0	7	288	301
90km/h以下	3	1	2	0	1	141	148
100km/h以下	3	3	0	0	5	37	48
120km/h以下	0	0	0	0	1	7	8
120km/h超	0	0	0	0	1	1	2
不明	3	2	1	0	25	40	71
合計	986	778	206	2	8,447	14,173	23,606

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 20〕 業態別危険認知速度別交通事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数

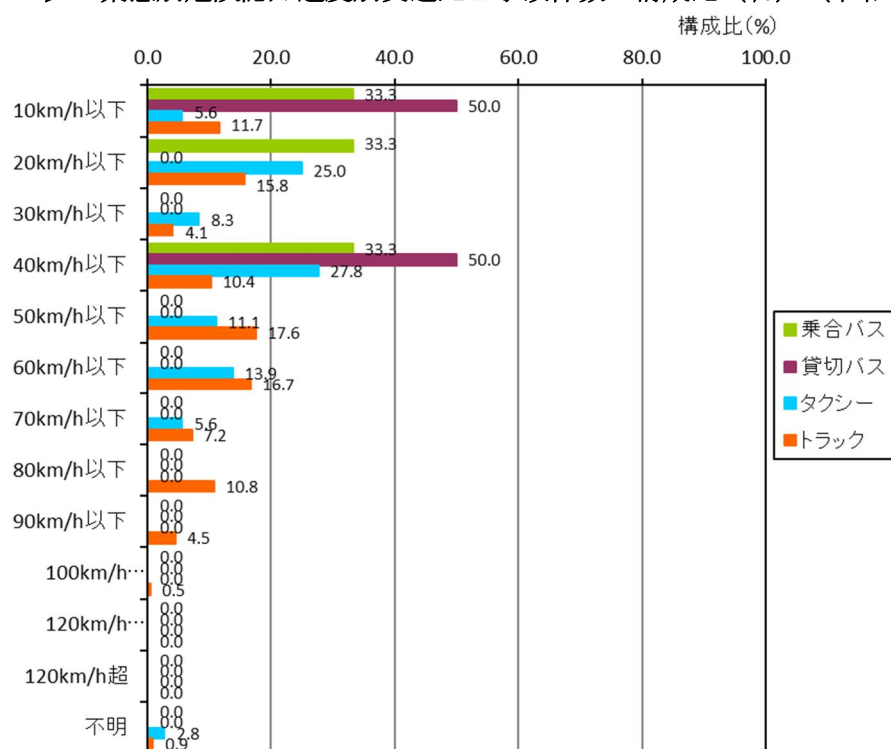
表21に業態別危険認知速度別交通死亡事故件数を、図21に危険認知速度別交通死亡事故件数の業態別の構成比を示す。業態別でみると、バスは0km/h～10km/h以下と30km/h～40km/h以下、タクシーは30km/h～40km/h以下、トラックは40km/h～50km/h以下が最も多くなっている。

〔表 21〕 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数（件）（令和5年）

区分 速度	交通死亡事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	2	1	1	0	2	26	30
20km/h以下	1	1	0	0	9	35	45
30km/h以下	0	0	0	0	3	9	12
40km/h以下	2	1	1	0	10	23	35
50km/h以下	0	0	0	0	4	39	43
60km/h以下	0	0	0	0	5	37	42
70km/h以下	0	0	0	0	2	16	18
80km/h以下	0	0	0	0	0	24	24
90km/h以下	0	0	0	0	0	10	10
100km/h以下	0	0	0	0	0	1	1
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	1	2	3
合計	5	3	2	0	36	222	263

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 21〕 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和5年）



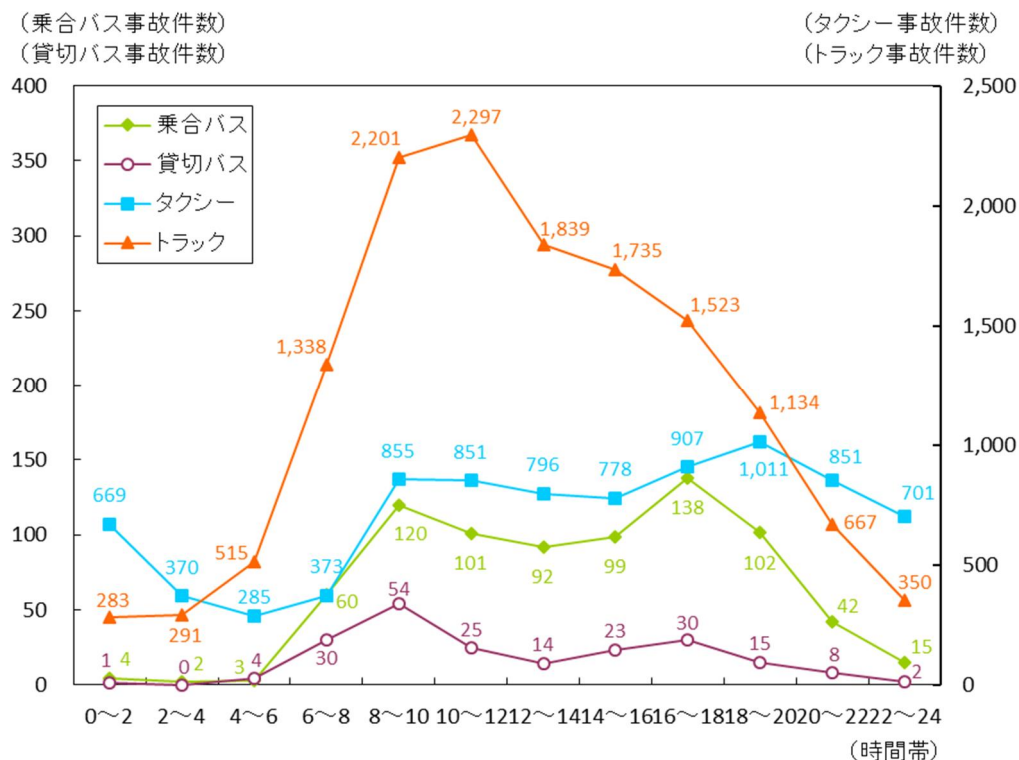
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1-8. 業態別時間帯別の交通事故

(1) 業態別時間帯別交通事故件数

業態別の時間帯別交通事故件数をみると、乗合バスは16時～17時台、貸切バスは8時～9時台、タクシーは18時～19時台、トラックは10時～11時台が最も多い。

〔図 22〕 業態別時間帯別交通事故件数（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 22〕 業態別時間帯別交通事故件数（件）（令和 5 年）

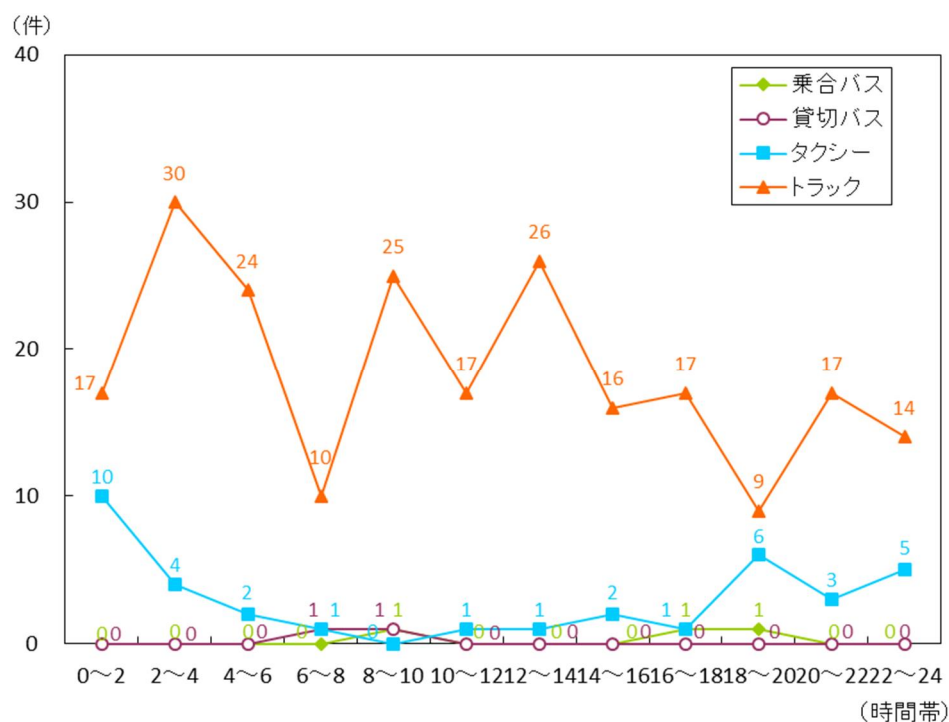
区分		時間帯	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
バス	乗合		4	2	3	60	120	101	92	99	138	102	42	15	778
	貸切		1	0	4	30	54	25	14	23	30	15	8	2	206
	その他		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	小計		5	2	7	90	175	126	106	122	168	117	51	17	986
タクシー	法人		606	337	260	329	783	768	729	707	827	908	771	641	7,666
	個人		62	33	23	37	59	65	56	53	65	90	74	60	677
その他乗用			1	0	2	7	13	18	11	18	15	13	6	0	104
小計			669	370	285	373	855	851	796	778	907	1,011	851	701	8,447
トラック	大型		119	126	193	407	662	664	544	447	391	227	133	138	4,051
	中型		72	86	139	306	409	401	287	268	209	130	103	79	2,489
	準中型		39	42	78	247	402	420	311	291	164	82	47	29	2,152
	普通		5	5	13	51	93	72	70	79	60	21	13	7	489
	軽		48	32	92	327	635	740	627	650	699	674	371	97	4,992
小計			283	291	515	1,338	2,201	2,297	1,839	1,735	1,523	1,134	667	350	14,173
合計			957	663	807	1,801	3,231	3,274	2,741	2,635	2,598	2,262	1,569	1,068	23,606

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 業態別時間帯別交通死亡事故件数

業態別の時間帯別交通死亡事故件数をみると、乗合バスは8時～9時台及び16時～19時台、貸切バスは6時～10時台が最も多い。タクシーは0時～1時台、トラックは2時～3時台が最も多い。

〔図 23〕 業態別時間帯別交通死亡事故件数（令和5年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 23〕 業態別時間帯別交通死亡事故件数（件）（令和5年）

区分		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
バス	乗合	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
	貸切	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	5
タクシー	法人	10	4	2	0	0	1	0	1	1	5	2	4	30
	個人	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	6
その他乗用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		10	4	2	1	0	1	1	2	1	6	3	5	36
トラック	大型	7	17	14	3	18	5	17	11	10	4	6	7	119
	中型	8	10	6	5	1	3	3	2	3	1	6	3	51
	準中型	1	2	3	1	3	4	4	1	3	0	0	1	23
	普通	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	1	0	6
	軽	1	1	1	1	2	2	2	1	1	4	4	3	23
小計		17	30	24	10	25	17	26	16	17	9	17	14	222
合計		27	34	26	12	27	18	27	18	19	16	20	19	263

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1－9．交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

（１）交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

〔表 24〕 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数（件）（令和 5 年）

事業の種類 都道府県	バス				タクシー	トラック	合計
		乗合	貸切	その他			
北海道	38 (10)	33 (8)	5 (11)	0 (3)	450 (5)	411 (10)	899 (9)
青森県	11 (14)	8 (15)	3 (14)	0 (3)	50 (21)	75 (31)	136 (28)
岩手県	4 (32)	3 (31)	1 (27)	0 (3)	23 (32)	49 (41)	76 (41)
宮城県	8 (19)	4 (26)	4 (13)	0 (3)	86 (14)	142 (19)	236 (16)
秋田県	3 (37)	2 (35)	1 (27)	0 (3)	16 (40)	28 (45)	47 (45)
山形県	2 (40)	2 (35)	0 (36)	0 (3)	20 (34)	71 (35)	93 (38)
福島県	3 (37)	2 (35)	1 (27)	0 (3)	36 (28)	116 (22)	155 (26)
茨城県	11 (14)	9 (14)	2 (17)	0 (3)	62 (16)	293 (11)	366 (13)
栃木県	8 (19)	2 (35)	6 (9)	0 (3)	17 (38)	160 (17)	185 (18)
群馬県	7 (22)	6 (21)	1 (27)	0 (3)	50 (21)	279 (12)	336 (14)
埼玉県	41 (9)	25 (11)	15 (5)	1 (1)	212 (10)	1,282 (3)	1,535 (4)
千葉県	56 (6)	37 (7)	19 (3)	0 (3)	233 (8)	796 (6)	1,085 (8)
東京都	176 (1)	140 (1)	36 (1)	0 (3)	2,465 (1)	1,470 (2)	4,111 (1)
神奈川県	99 (2)	89 (2)	10 (7)	0 (3)	637 (4)	1,219 (4)	1,955 (3)
新潟県	10 (17)	8 (15)	2 (17)	0 (3)	32 (30)	83 (28)	125 (31)
富山県	2 (40)	1 (42)	1 (27)	0 (3)	5 (47)	56 (39)	63 (42)
石川県	6 (26)	6 (21)	0 (36)	0 (3)	48 (23)	72 (33)	126 (30)
福井県	0 (47)	0 (47)	0 (36)	0 (3)	6 (45)	44 (42)	50 (44)
山梨県	4 (32)	1 (42)	3 (14)	0 (3)	17 (38)	75 (31)	96 (37)
長野県	6 (26)	4 (26)	2 (17)	0 (3)	47 (24)	142 (19)	195 (17)
岐阜県	7 (22)	6 (21)	1 (27)	0 (3)	19 (35)	157 (18)	183 (20)
静岡県	27 (12)	21 (12)	6 (9)	0 (3)	213 (9)	548 (9)	788 (10)
愛知県	52 (7)	41 (6)	11 (6)	0 (3)	375 (6)	1,001 (5)	1,428 (6)
三重県	5 (30)	4 (26)	1 (27)	0 (3)	13 (43)	166 (16)	184 (19)
滋賀県	7 (22)	5 (25)	2 (17)	0 (3)	19 (35)	97 (25)	123 (34)
京都府	62 (4)	57 (4)	5 (11)	0 (3)	189 (11)	264 (13)	515 (11)
大阪府	86 (3)	63 (3)	22 (2)	1 (1)	1,135 (2)	1,725 (1)	2,946 (2)
兵庫県	62 (4)	53 (5)	9 (8)	0 (3)	348 (7)	742 (8)	1,152 (7)
奈良県	2 (40)	2 (35)	0 (36)	0 (3)	18 (37)	141 (21)	161 (23)
和歌山県	1 (45)	1 (42)	0 (36)	0 (3)	15 (42)	68 (37)	84 (39)
鳥取県	2 (40)	2 (35)	0 (36)	0 (3)	6 (45)	29 (44)	37 (46)
島根県	4 (32)	4 (26)	0 (36)	0 (3)	10 (44)	21 (47)	35 (47)
岡山県	6 (26)	4 (26)	2 (17)	0 (3)	54 (20)	218 (15)	278 (15)
広島県	21 (13)	19 (13)	2 (17)	0 (3)	156 (12)	241 (14)	418 (12)
山口県	4 (32)	3 (31)	1 (27)	0 (3)	39 (27)	80 (29)	123 (34)
徳島県	3 (37)	1 (42)	2 (17)	0 (3)	23 (32)	52 (40)	78 (40)
香川県	7 (22)	7 (19)	0 (36)	0 (3)	33 (29)	109 (23)	149 (27)
愛媛県	1 (45)	1 (42)	0 (36)	0 (3)	43 (26)	80 (29)	124 (33)
高知県	2 (40)	2 (35)	0 (36)	0 (3)	16 (40)	33 (43)	51 (43)
福岡県	47 (8)	31 (9)	16 (4)	0 (3)	698 (3)	775 (7)	1,520 (5)
佐賀県	4 (32)	3 (31)	1 (27)	0 (3)	28 (31)	89 (27)	121 (36)
長崎県	32 (11)	30 (10)	2 (17)	0 (3)	66 (15)	62 (38)	160 (24)
熊本県	6 (26)	6 (21)	0 (36)	0 (3)	62 (16)	107 (24)	175 (22)
大分県	8 (19)	8 (15)	0 (36)	0 (3)	45 (25)	72 (33)	125 (31)
宮崎県	5 (30)	3 (31)	2 (17)	0 (3)	57 (18)	70 (36)	132 (29)
鹿児島県	9 (18)	7 (19)	2 (17)	0 (3)	55 (19)	94 (26)	158 (25)
沖縄県	11 (14)	8 (15)	3 (14)	0 (3)	142 (13)	27 (46)	180 (21)
計	986	778	206	2	8,447	14,173	23,606

注 1：数値横のカッコ内は順位

注 2：都道府県合計には、不明を含む

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数

〔表 25〕交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

事業の種類 都道府県	バス				タクシー	トラック	合計
		乗合	貸切	その他			
北海道	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	3 (2)	12 (3)	15 (4)
青森県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	4 (17)	4 (19)
岩手県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	3 (19)	3 (23)
宮城県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (5)	2 (25)	4 (19)
秋田県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	1 (36)	1 (38)
山形県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	1 (36)	1 (38)
福島県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	3 (19)	3 (23)
茨城県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	8 (10)	9 (9)
栃木県	1 (2)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	8 (10)	9 (9)
群馬県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	5 (15)	5 (16)
埼玉県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	18 (2)	18 (3)
千葉県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (5)	11 (4)	13 (5)
東京都	1 (2)	0 (4)	1 (1)	0 (1)	8 (1)	10 (6)	19 (2)
神奈川県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	10 (6)	11 (7)
新潟県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
富山県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	1 (36)	1 (38)
石川県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	0 (43)	0 (46)
福井県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	1 (36)	1 (38)
山梨県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
長野県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
岐阜県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	3 (19)	3 (23)
静岡県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	4 (17)	5 (16)
愛知県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	10 (6)	11 (7)
三重県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	8 (10)	8 (12)
滋賀県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
京都府	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (5)	5 (15)	7 (14)
大阪府	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	3 (2)	25 (1)	28 (1)
兵庫県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	7 (13)	8 (12)
奈良県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	0 (43)	0 (46)
和歌山県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
鳥取県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
島根県	1 (2)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	0 (43)	1 (38)
岡山県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	9 (9)	9 (9)
広島県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	7 (13)	7 (14)
山口県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	3 (19)	3 (23)
徳島県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
香川県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	3 (19)	4 (19)
愛媛県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
高知県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
福岡県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (5)	11 (4)	13 (5)
佐賀県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	1 (36)	1 (38)
長崎県	2 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	1 (10)	0 (43)	3 (23)
熊本県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (5)	3 (19)	5 (16)
大分県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	1 (36)	1 (38)
宮崎県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (10)	0 (43)	1 (38)
鹿児島県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (18)	2 (25)	2 (28)
沖縄県	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	3 (2)	1 (36)	4 (19)
計	5	3	2	0	36	222	263

注 1：数値横のカッコ内は順位

注 2：都道府県合計には、不明を含む

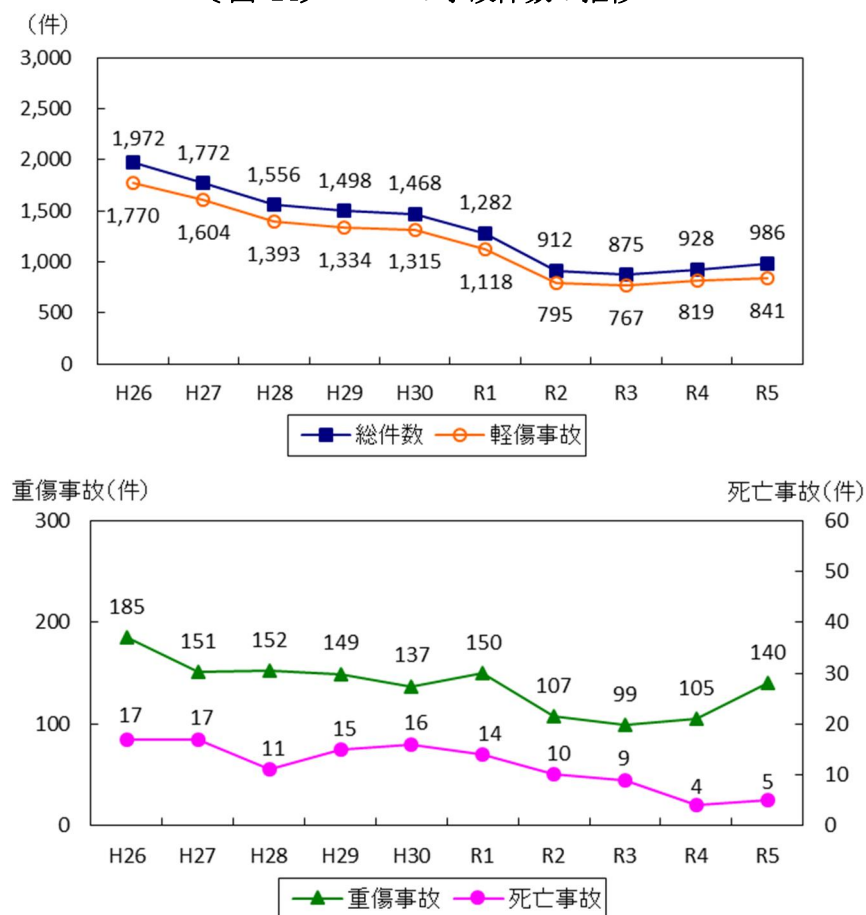
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

2. バスの事故

(1) バスの事故件数、死傷事故件数の推移

バス（事業用）による交通事故について、総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数は令和4年から増加に転じ、令和5年は前年と比べて58件増加している。交通死亡事故件数は近年減少傾向にあるが、令和5年は前年と比べて1件増加している。

〔図 24〕 バスの事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 26〕 バスの事故件数の推移（件）

区分 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H26	1,972	1,770	185	17
H27	1,772	1,604	151	17
H28	1,556	1,393	152	11
H29	1,498	1,334	149	15
H30	1,468	1,315	137	16
R1	1,282	1,118	150	14
R2	912	795	107	10
R3	875	767	99	9
R4	928	819	105	4
R5	986	841	140	5

※バス種別区分の乗合、貸切、その他の合計値

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) バス事故のうち、同乗者の死傷事故件数

運転者が第1当事者となったバス事故の業態別の同乗者の死傷事故件数は、以下の通りであった。

〔表 27〕 バス事故のうち、同乗者の死傷事故件数（件）（令和5年）

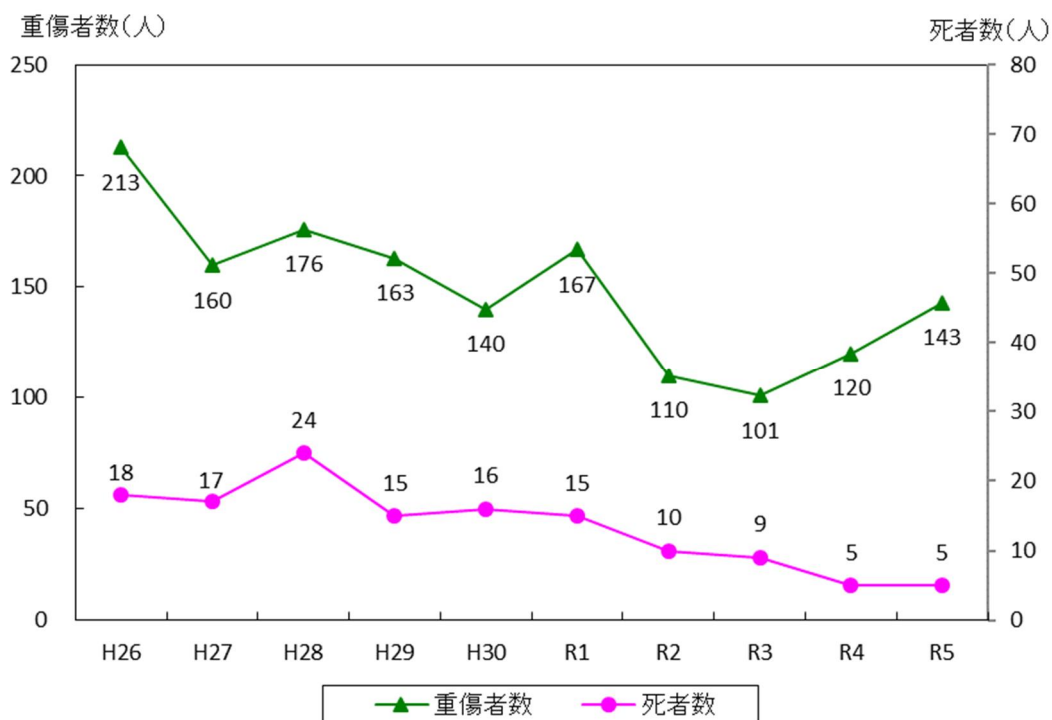
	死亡	重傷	軽傷	合計
乗合	0	56	312	368
貸切	0	4	23	27
その他	0	0	0	0
計	0	60	335	395

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) バス事故の死傷者数の推移

バス（事業用）による交通事故の重傷者数は増加傾向となっており、令和5年は前年と比べて23人増加した。死者数は近年横ばい傾向であり、令和5年は前年と同様、過去10年間で最少の5人となっている。

〔図 25〕 バス事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 28〕 バス事故の死傷者数の推移(人)

区分 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H26	2,586	2,355	213	18
H27	2,325	2,148	160	17
H28	2,123	1,923	176	24
H29	1,926	1,748	163	15
H30	1,890	1,734	140	16
R1	1,667	1,485	167	15
R2	1,071	951	110	10
R3	1,030	920	101	9
R4	1,160	1,035	120	5
R5	1,223	1,075	143	5

※バス種別区分の乗合、貸切、その他の合計値

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(4) バスの事故のうち、同乗者の死傷者数

運転者が第1当事者となったバス事故の業態別の同乗者の死傷者数は、以下の通りであった。

〔表 29〕 バス事故のうち、同乗者の死傷者数（人）（令和5年）

	死亡	重傷	軽傷	合計
乗合	0	56	371	427
貸切	0	5	43	48
その他	0	0	0	0
計	0	61	414	475

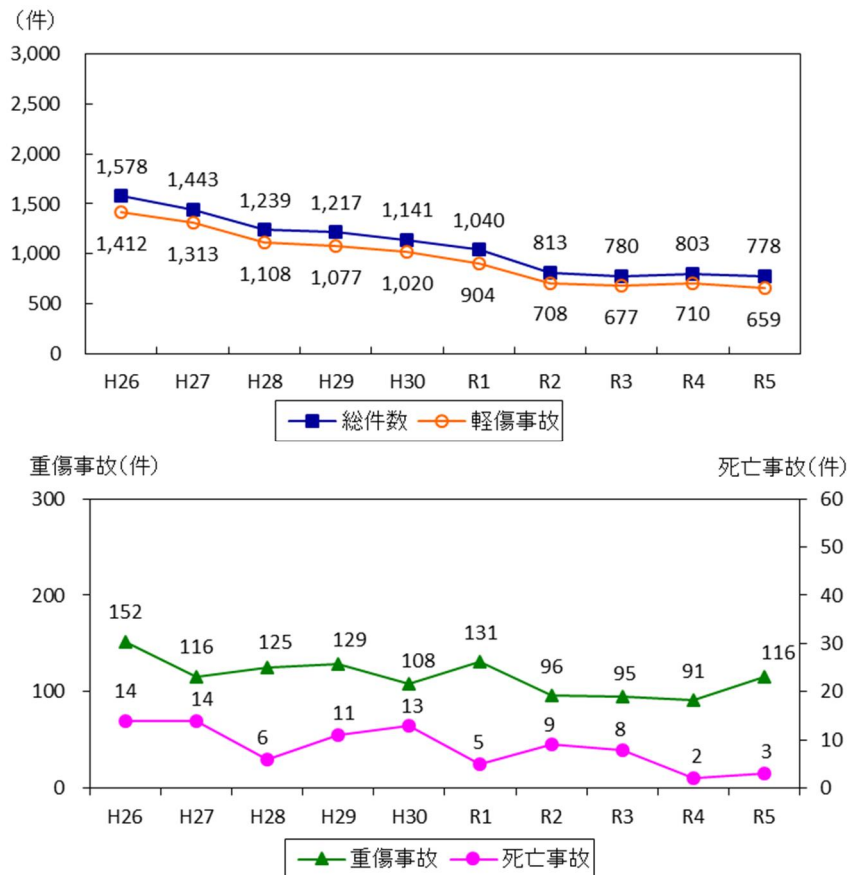
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

2-1. 乗合バスの交通事故

(1) 乗合バスの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

乗合バスによる交通事故について、総件数、軽傷事故件数は減少傾向となっているが、令和5年は重傷事故が増加に転じた。また、交通死亡事故件数も前年と比べて1件増加している。

〔図 26〕 乗合バスの事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 30〕 乗合バスの事故件数の推移（件）

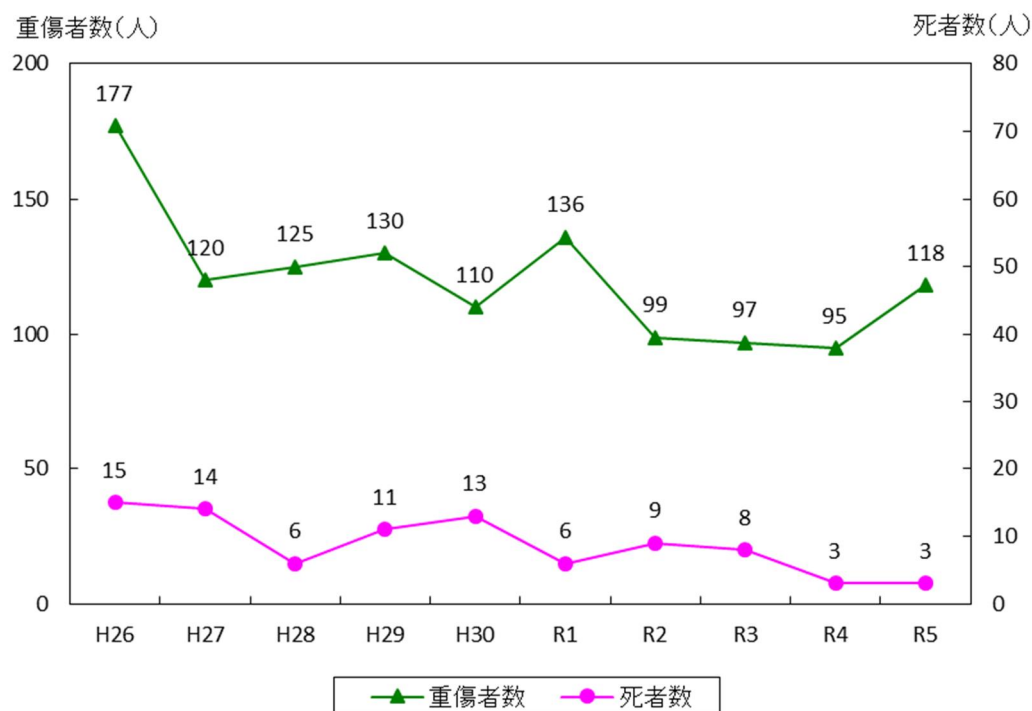
区分 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H26	1,578	1,412	152	14
H27	1,443	1,313	116	14
H28	1,239	1,108	125	6
H29	1,217	1,077	129	11
H30	1,141	1,020	108	13
R1	1,040	904	131	5
R2	813	708	96	9
R3	780	677	95	8
R4	803	710	91	2
R5	778	659	116	3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 乗合バス事故の死傷者数の推移

乗合バスによる交通事故の重傷者数は近年減少傾向となっていたが、令和5年は増加に転じた。死者数は前年と同様、過去10年間で最少の3人となっている。

〔図 27〕 乗合バス事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 31〕 乗合バス事故の死傷者数の推移（人）

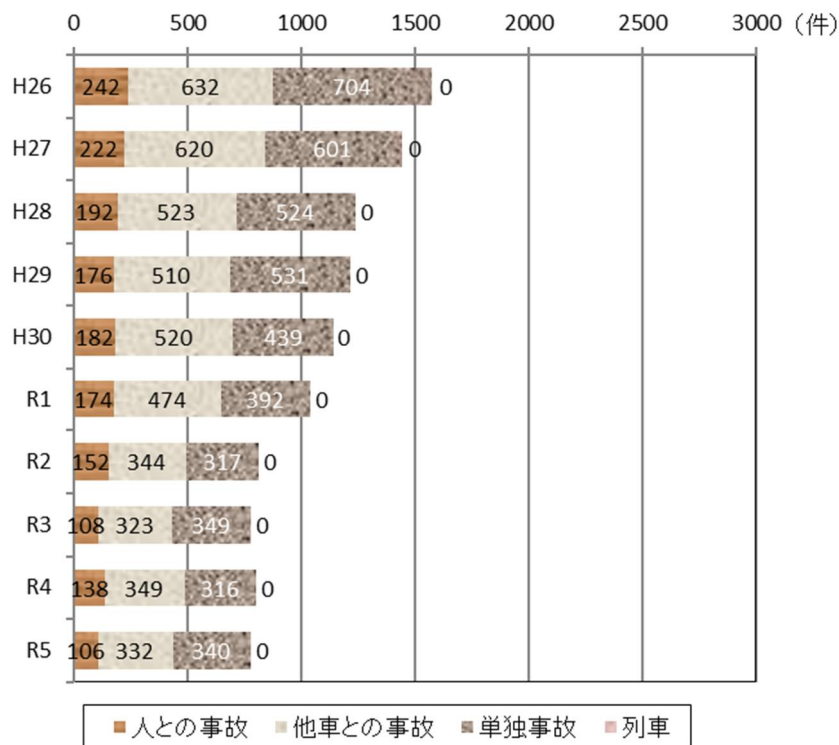
区分 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H26	1,933	1,741	177	15
H27	1,739	1,605	120	14
H28	1,482	1,351	125	6
H29	1,452	1,311	130	11
H30	1,429	1,306	110	13
R1	1,276	1,134	136	6
R2	933	825	99	9
R3	907	802	97	8
R4	958	860	95	3
R5	937	816	118	3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 乗合バスの事故類型別交通事故件数の推移

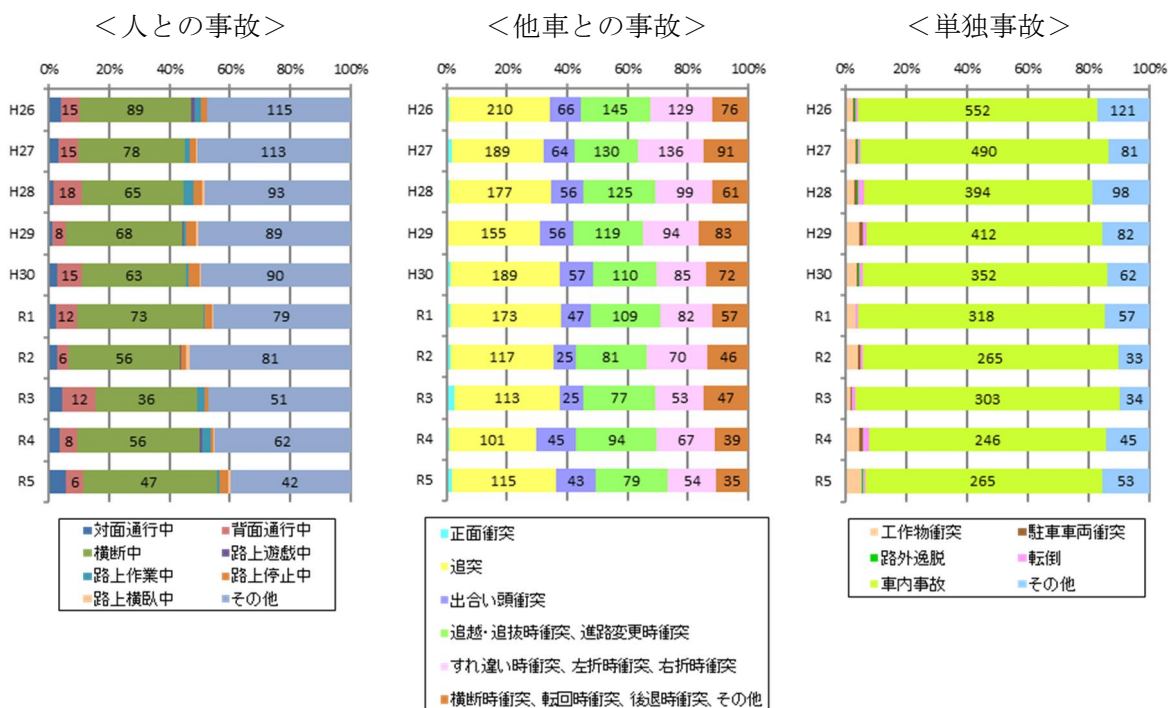
乗合バスの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故と単独事故が多く、合計で約86%を占めている。また、単独事故のうち約78%が車内事故である。

〔図 28〕 乗合バスの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 29〕 乗合バスの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

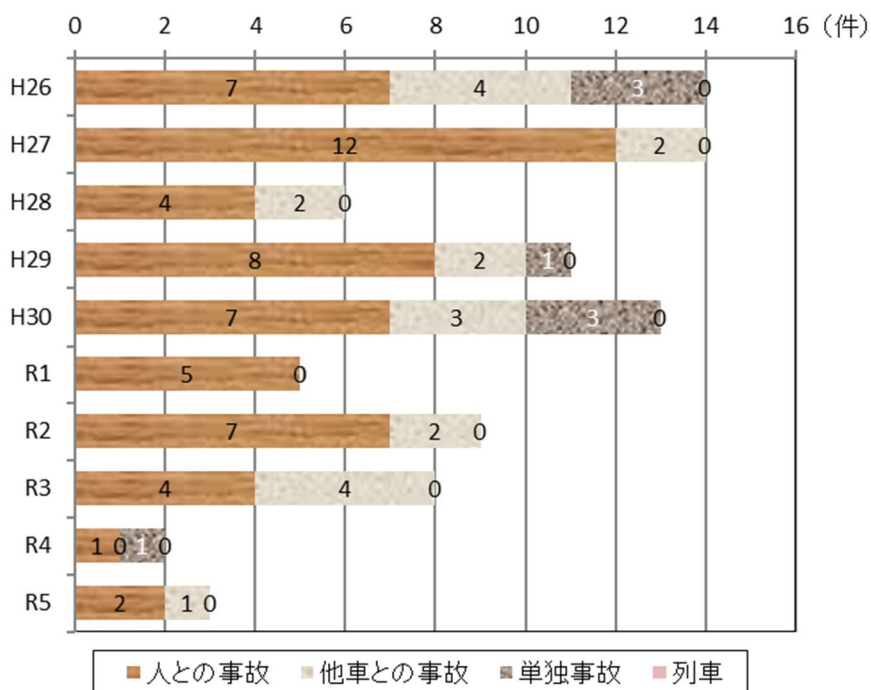


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(4) 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移

乗合バスの交通死亡事故を事故の種類で類型化すると、人との事故が多い。令和5年は人との事故が2件、他者との事故が1件であり、単独事故や列車との交通死亡事故は発生しなかった。

〔図 30〕 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移

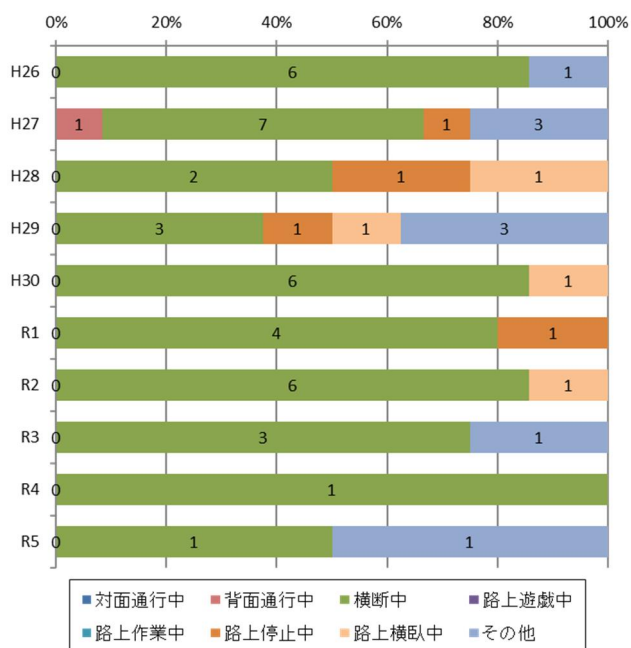


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(5) 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（人との事故）

人との交通死亡事故は、歩行者が横断中に発生する事故が最も多い。

〔図 31〕 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（人との事故）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(6) 乗合バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（他車との事故）

乗合バスの交通死亡事故のうち他車との事故について、目立った特徴は見られない。

〔表 32〕 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（件）（他車との事故）

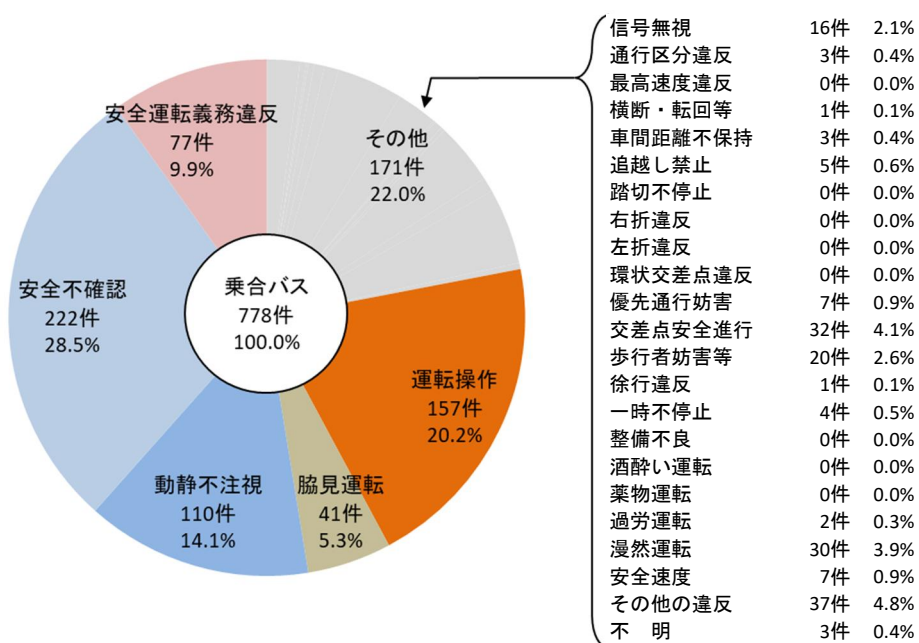
年	正面衝突	追突	出合い頭衝突	追越・追抜時衝突、進路変更時衝突	すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突	横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他
H26	0	1	1	0	2	0
H27	0	0	0	0	1	1
H28	0	1	0	0	1	0
H29	0	0	0	1	1	0
H30	0	0	2	0	1	0
R1	0	0	0	0	0	0
R2	0	0	0	0	2	0
R3	0	1	2	0	1	0
R4	0	0	0	0	0	0
R5	0	0	1	0	0	0

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(7) 乗合バスの法令違反別の交通事故件数の割合

乗合バスでは、「安全不確認」222件（28.5%）、「運転操作」157件（20.2%）、「動静不注視」110件（14.1%）といった法令違反の交通事故が多い。「運転操作」は車内事故発生の要因の一つと考えられる。

〔図 32〕 乗合バスの法令違反別の交通事故件数の割合（令和5年）

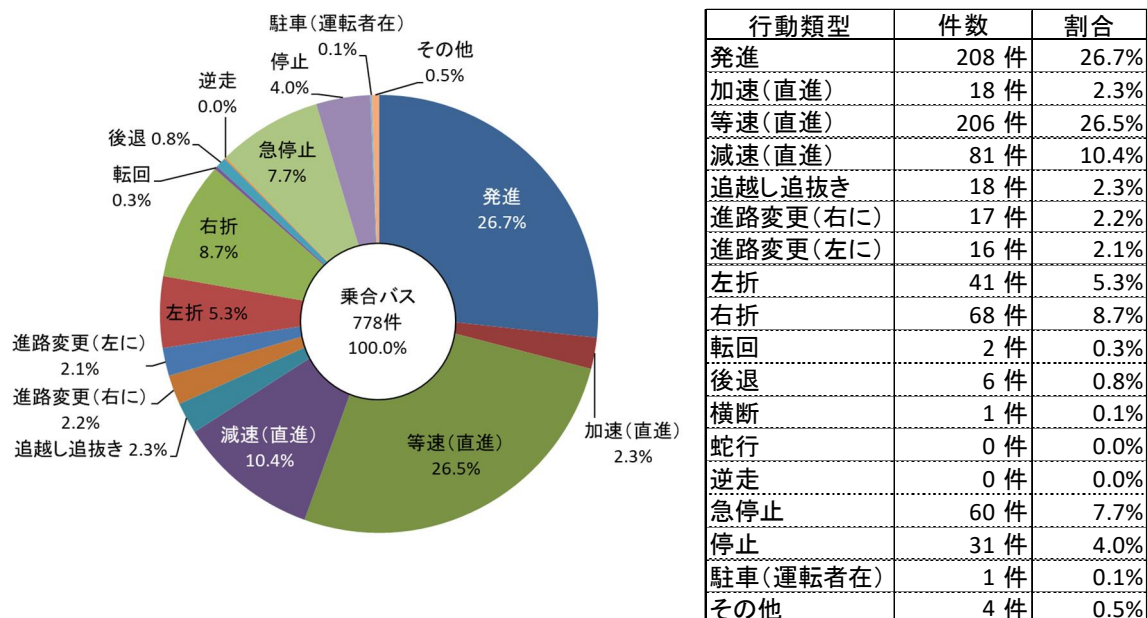


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(8) 乗合バスの行動類型別交通事故件数の割合

乗合バスの交通事故をバスの動きで類型化すると、発進時と等速（直進）時が多く、合計で半数を超えている。

〔図 33〕 乗合バスの行動類型別事故件数の割合（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(9) 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

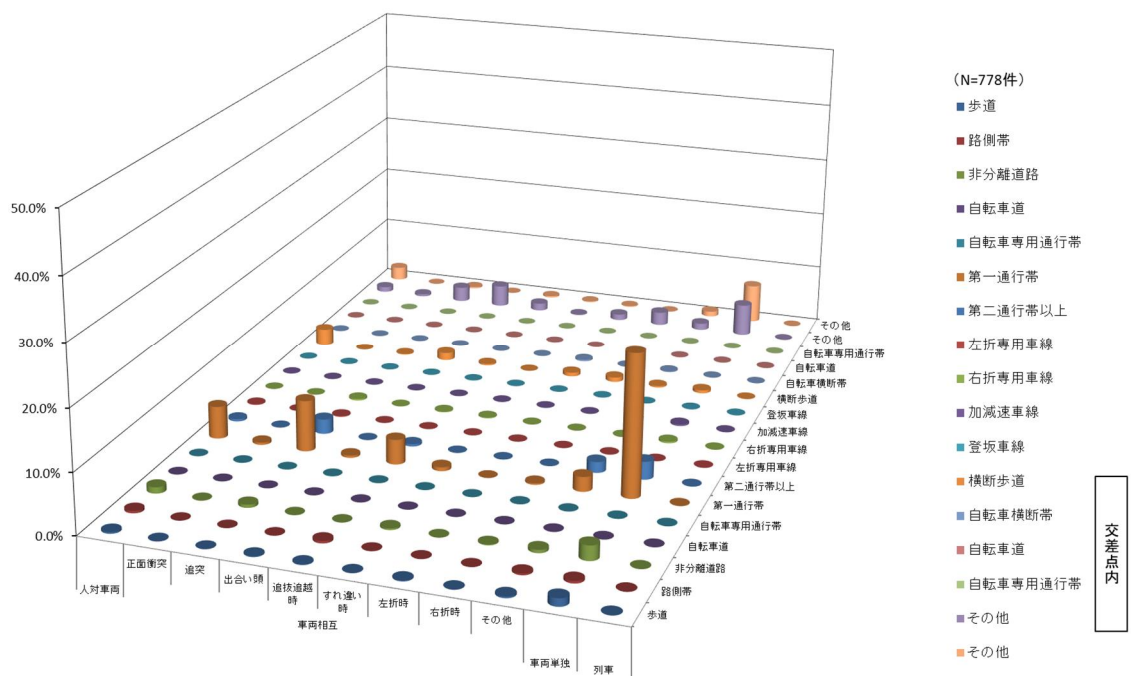
乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表33と図34に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表34と図35に示す。第一通行帯での単独事故が182件と23.4%で最も多くなっている。

〔表 33〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和5年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	2	0	0	1	1	0	1	0	2	10	0	17
	路側帯	3	0	0	0	3	0	0	0	2	3	0	11
	非分離道路	8	0	4	0	0	2	0	1	4	19	0	38
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	42	3	66	3	32	5	0	2	19	182	0	354
	第二通行帯以上	3	0	19	0	3	0	0	0	14	23	0	62
	左折専用車線	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	右折専用車線	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	6
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横断歩道	22	0	1	10	2	0	5	6	2	4	0	52
	自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点内	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	7	3	20	29	10	1	8	18	9	43	0	148
その他		18	0	2	0	2	1	1	0	7	52	0	83
合計		106	6	115	43	54	10	17	27	60	340	0	778

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 34〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数の構成比（％）（令和5年）



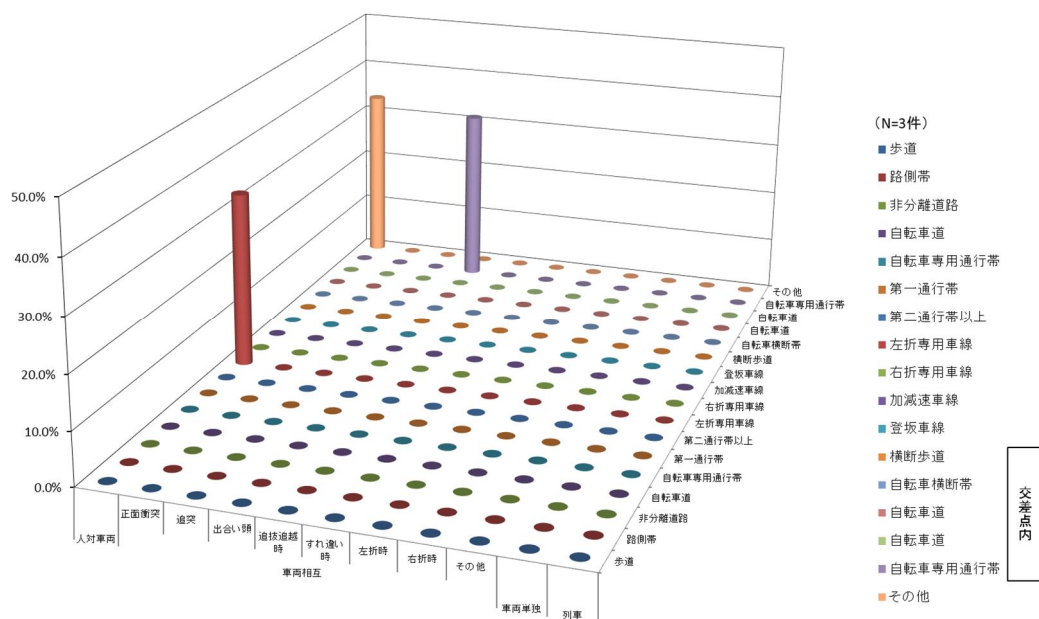
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 34〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第二通行帯以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左折専用車線	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横断歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点内	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 35〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10) 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数

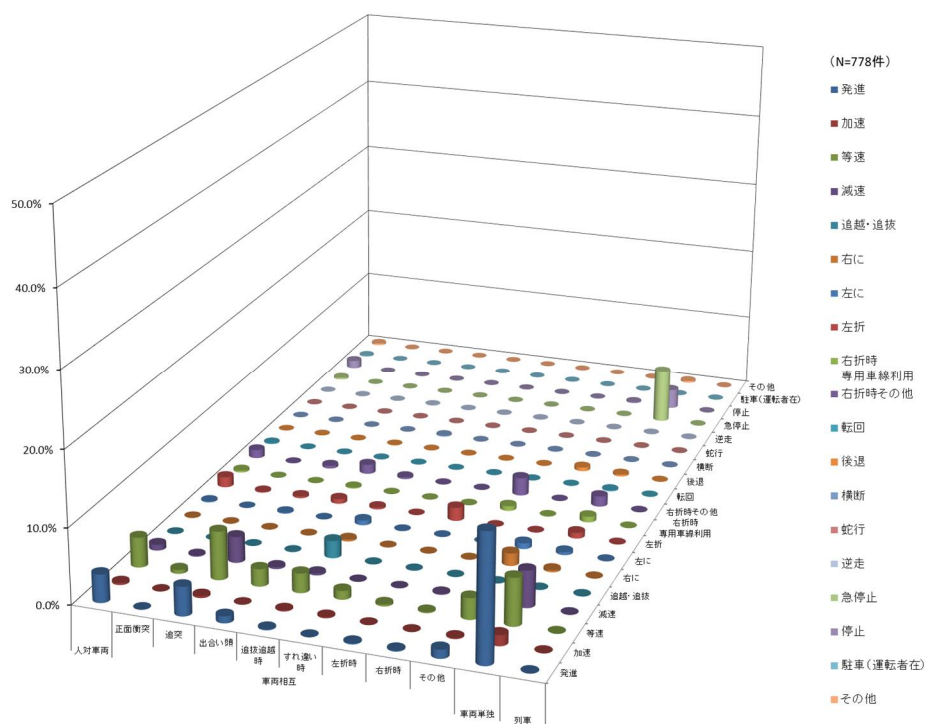
乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表35と図36に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表36と図37に示す。発進時の単独事故が最も多く130件（16.7％）となっている。

〔表 35〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進		29	0	30	7	1	0	1	1	9	130	0	208
直進	加速	2	0	2	0	1	1	0	0	1	11	0	18
	等速	31	4	50	18	20	9	2	1	22	49	0	206
	減速	6	1	27	2	2	0	0	1	4	38	0	81
	追越・追抜	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	18
進路変更	右に	0	0	0	0	2	0	0	0	13	2	0	17
	左に	1	0	1	0	5	0	0	0	6	3	0	16
左折		11	1	2	5	2	0	14	0	0	6	0	41
右折時	専用車線利用	2	0	0	1	0	0	0	5	0	6	0	14
	その他	9	0	3	10	2	0	0	19	0	11	0	54
転回		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	6
横断		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		2	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	60
停止		9	0	0	0	0	0	0	0	1	21	0	31
駐車(運転者在)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
合計		106	6	115	43	54	10	17	27	60	340	0	778

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 36〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



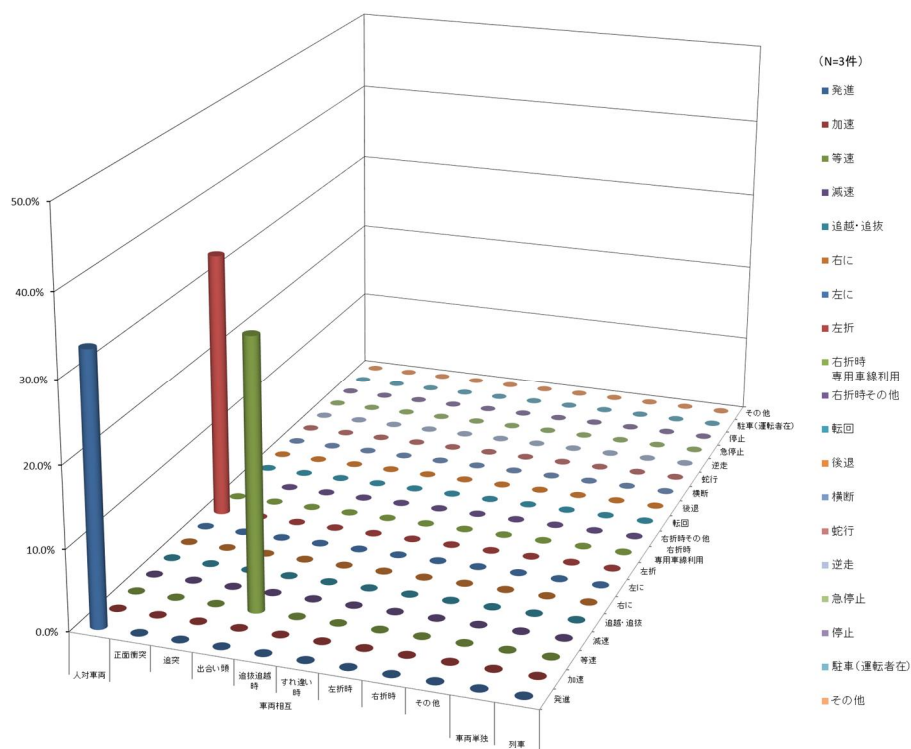
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 36〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
直進	発進	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等速	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左折		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 37〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11) 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

乗合バスの車内事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和5年は265件と前年と比べて19件増加している。

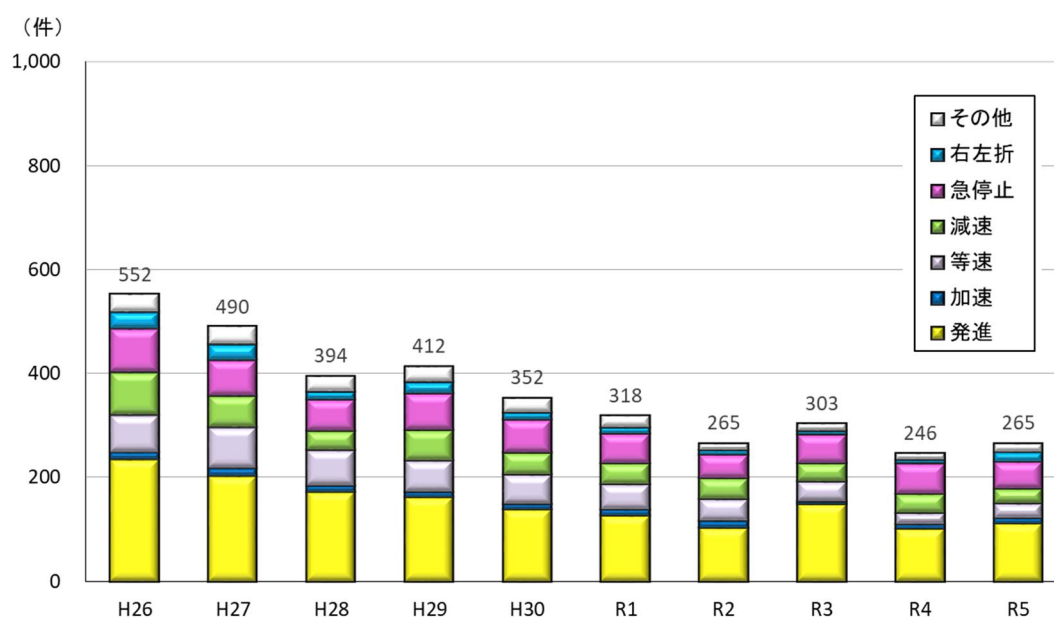
また、発生時のバスの動きで類型化すると、発進時が112件、直進時が67件、急停止が51件となっており、合計で85%を超えている。

〔表 37〕 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移（件）

区分 \ 年		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
発 進		233	201	172	162	138	127	103	148	102	112
直 進	加速	14	15	11	10	10	11	13	5	8	9
	等速	72	80	68	59	57	48	42	39	21	29
	減速	82	59	38	59	42	41	41	35	37	29
急停止		83	69	59	71	64	56	44	55	59	51
右左折		34	30	16	22	13	12	9	7	6	18
その他		34	36	30	29	28	23	13	14	13	17
合 計		552	490	394	412	352	318	265	303	246	265

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 38〕 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

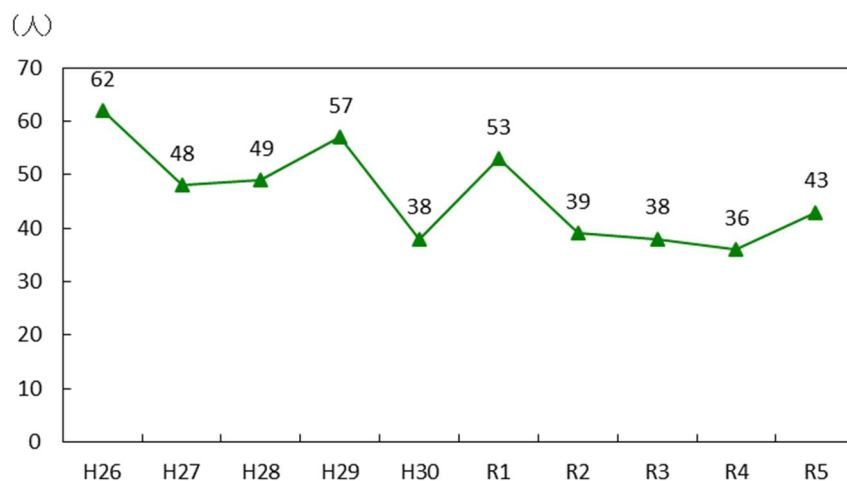


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12) 乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

乗合バスの車内事故による重傷者数は、令和5年は前年と比べて7人増加している。

〔図 39〕 乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

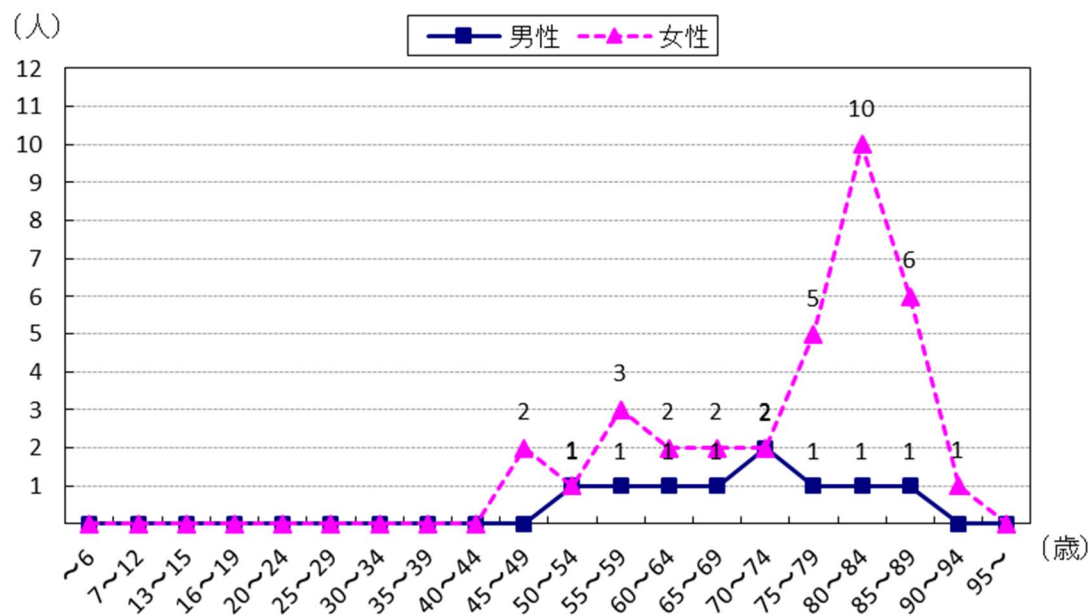


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(13) 乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布

乗合バスの車内事故による重傷者数は、80～84歳代の女性が10人と最も多くなっている。

〔図 40〕 乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布（令和5年）

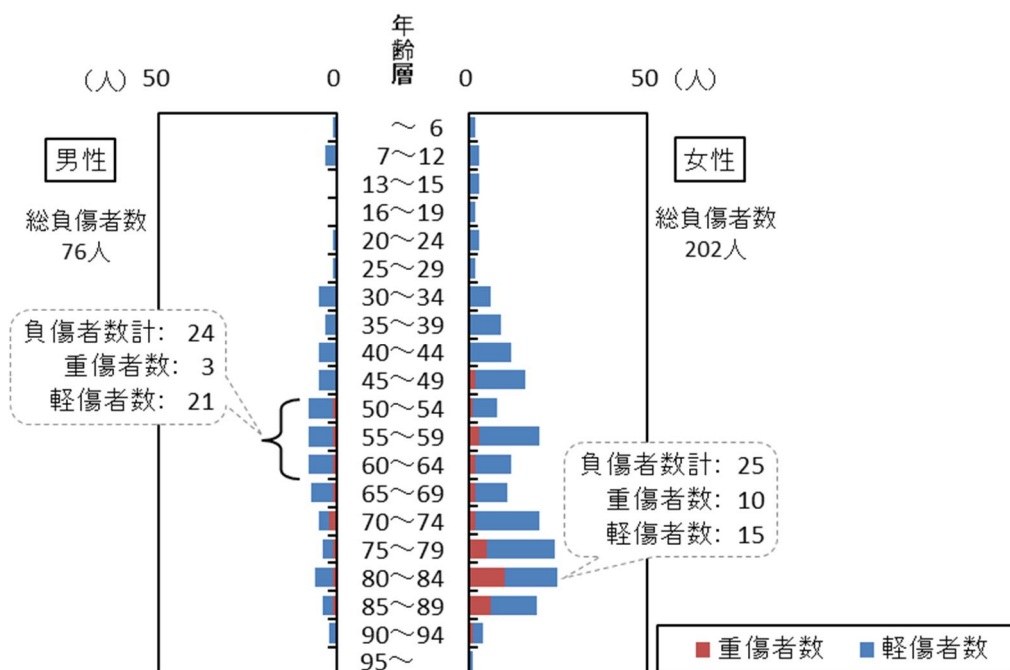


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(14) 乗合バスの車内事故による男女別負傷者数の年齢分布

乗合バスの車内事故による負傷者数は男女とも高齢者が多くなっている。なお、男性に比べて女性の総負傷者数が約2.7倍となっている。

〔図 41〕 乗合バスの車内事故による男女別年齢層別負傷者数（令和5年）

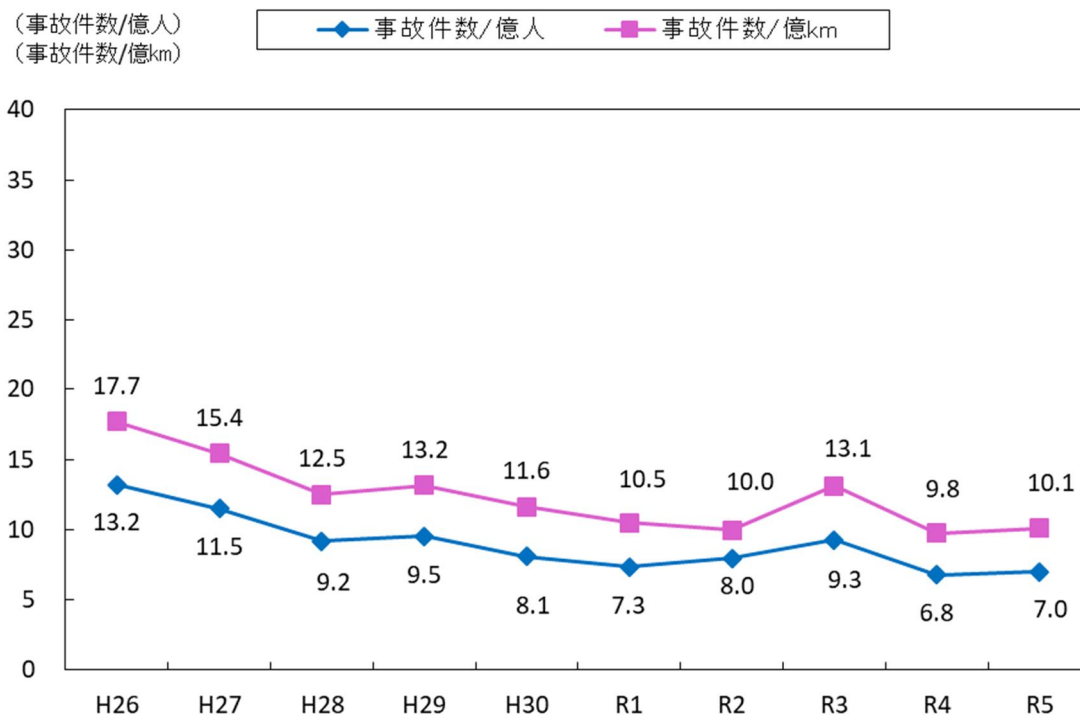


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(15) 乗合バスの輸送人員 1 億人あたり及び走行距離 1 億キロあたり車内事故件数の推移

乗合バスの輸送人員あたり及び走行距離あたりの車内事故件数は令和 4 年は前年と比べて減少したが、令和 5 年は前年と比べていずれも増加している。

〔図 42〕 乗合バスの輸送人員 1 億人あたり及び走行距離 1 億キロあたり車内事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

〔表 38〕 乗合バスの車内事故件数、輸送人員及び走行距離の推移

	事故件数(件)	輸送人員(億人)	走行距離(億km)
H26	552	41.7	31.2
H27	490	42.6	31.8
H28	394	42.8	31.5
H29	412	43.3	31.3
H30	352	43.6	30.2
R1	318	43.4	30.3
R2	265	33.3	26.6
R3	303	32.6	23.1
R4	246	36.2	25.2
R5	265	37.9	26.3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

(16) 乗合バスの車内事故件数の事故種類別時間帯分布

乗合バスの車内事故件数を時間帯別にみると、8時～17時台の日中の時間帯に多く発生している。

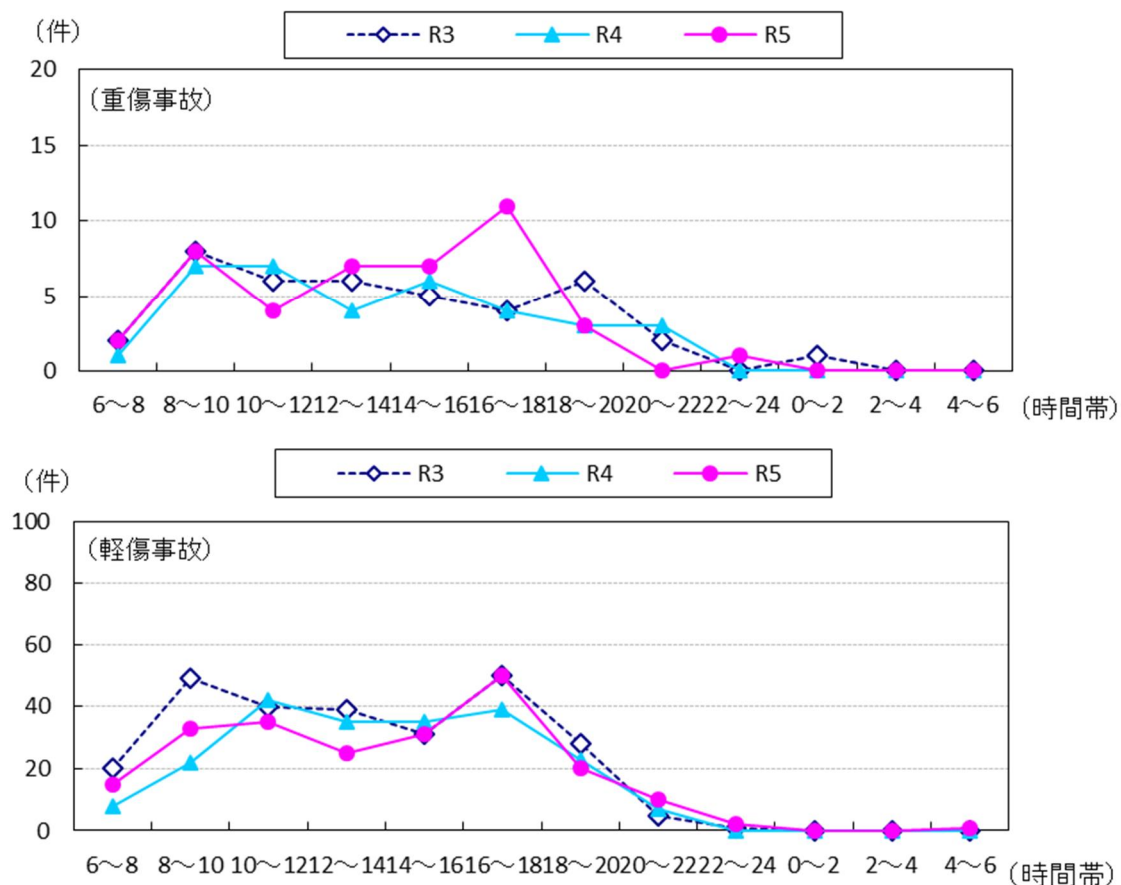
〔表 39〕 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布（令和5年）

時間帯	重傷事故	軽傷事故	負傷事故計
6～8	2	15	17
8～10	8	33	41
10～12	4	35	39
12～14	7	25	32
14～16	7	31	38
16～18	11	50	61
18～20	3	20	23
20～22	0	10	10
22～24	1	2	3
0～2	0	0	0
2～4	0	0	0
4～6	0	1	1
合計	43	222	265

※運転者が負傷した事故を含む。

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 43〕 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(17) 乗合バスの車内事故による事故種別別負傷者数の年齢分布

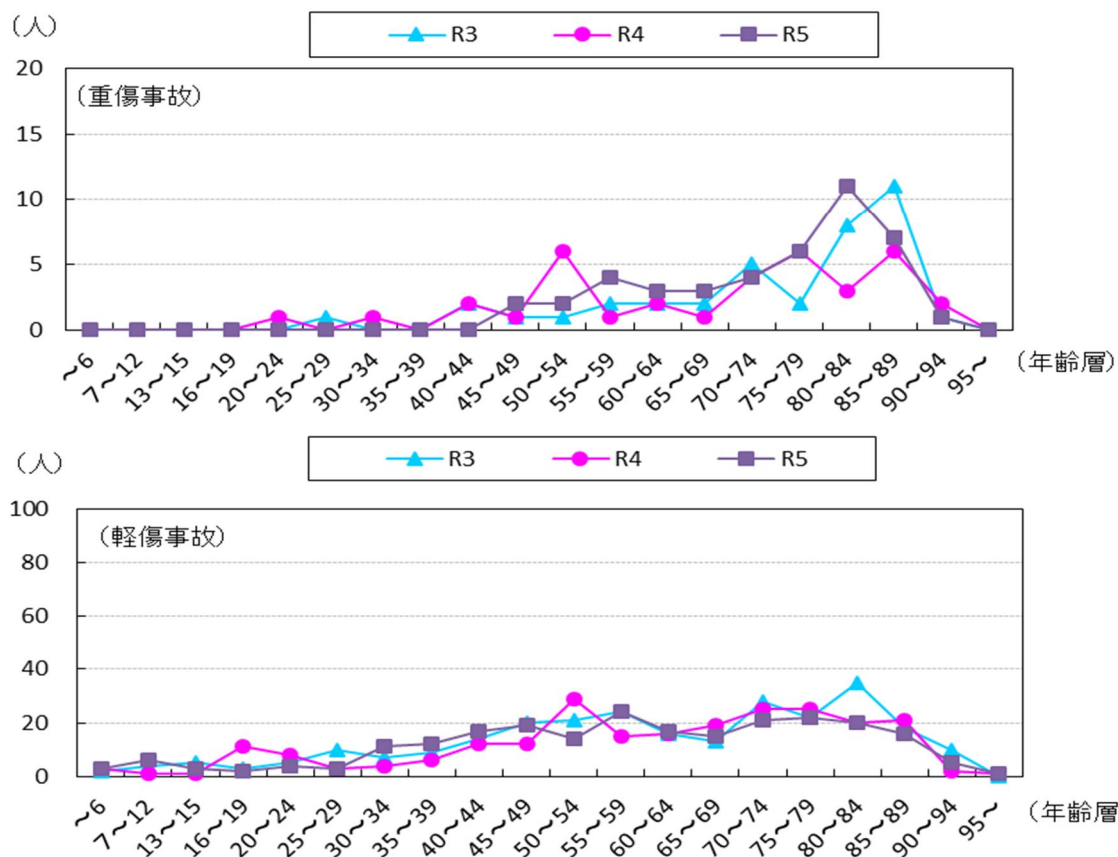
乗合バスの車内事故による負傷者数は65歳以上の高齢者が半数近くを占めている。また、重傷者のうち65歳以上の高齢者は32人で約75%となっている。このように高齢者の比率の高さが顕著となっている。

〔表 40〕 乗合バスの車内事故による事故種別別負傷者数の年齢分布（人）（令和5年）

年齢層	重傷者数	軽傷者数	負傷者計
～ 6	0	3	3
7～12	0	6	6
13～15	0	3	3
16～19	0	2	2
20～24	0	4	4
25～29	0	3	3
30～34	0	11	11
35～39	0	12	12
40～44	0	17	17
45～49	2	19	21
50～54	2	14	16
55～59	4	24	28
60～64	3	17	20
65～69	3	15	18
70～74	4	21	25
75～79	6	22	28
80～84	11	20	31
85～89	7	16	23
90～94	1	5	6
95～	0	1	1
合計	43	235	278

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 44〕 乗合バスの車内事故による事故種別別負傷者数の年齢分布



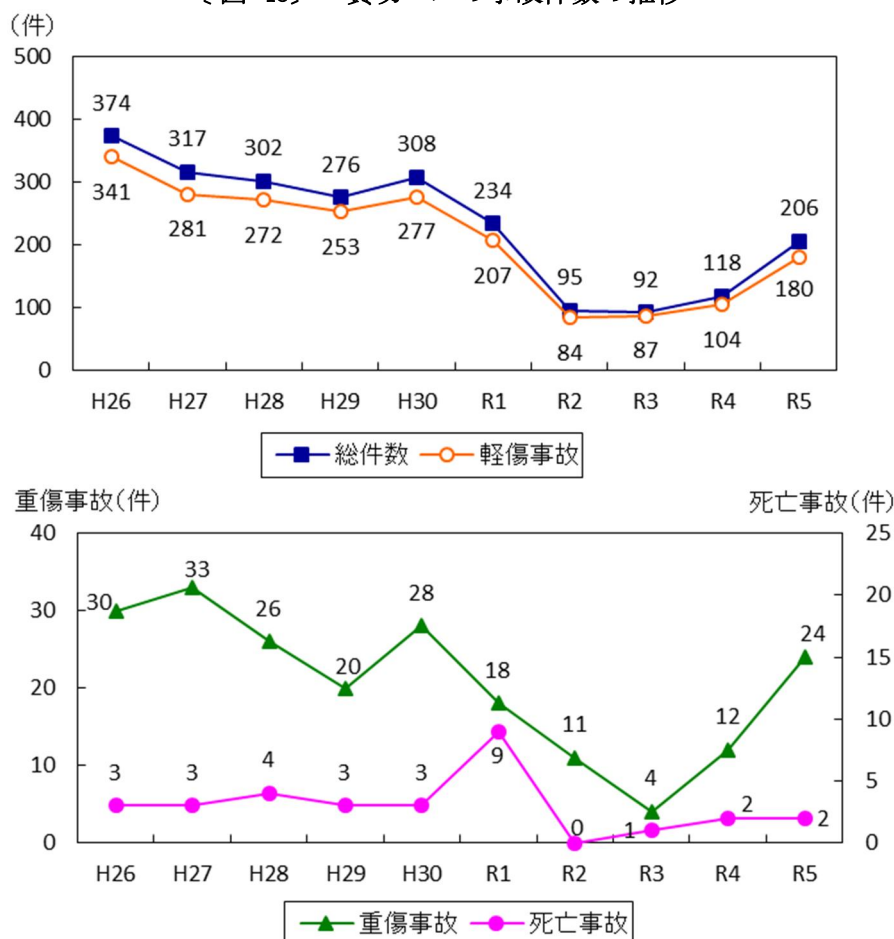
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

2-2. 貸切バスの交通事故

(1) 貸切バスの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

貸切バスの交通事故件数について、総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和5年は前年と比べて総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数は増加している。また、交通死亡事故件数は令和4年と同様、令和5年も2件となっている。

〔図 45〕 貸切バスの事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 41〕 貸切バスの事故件数の推移（件）

区分 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H26	374	341	30	3
H27	317	281	33	3
H28	302	272	26	4
H29	276	253	20	3
H30	308	277	28	3
R1	234	207	18	9
R2	95	84	11	0
R3	92	87	4	1
R4	118	104	12	2
R5	206	180	24	2

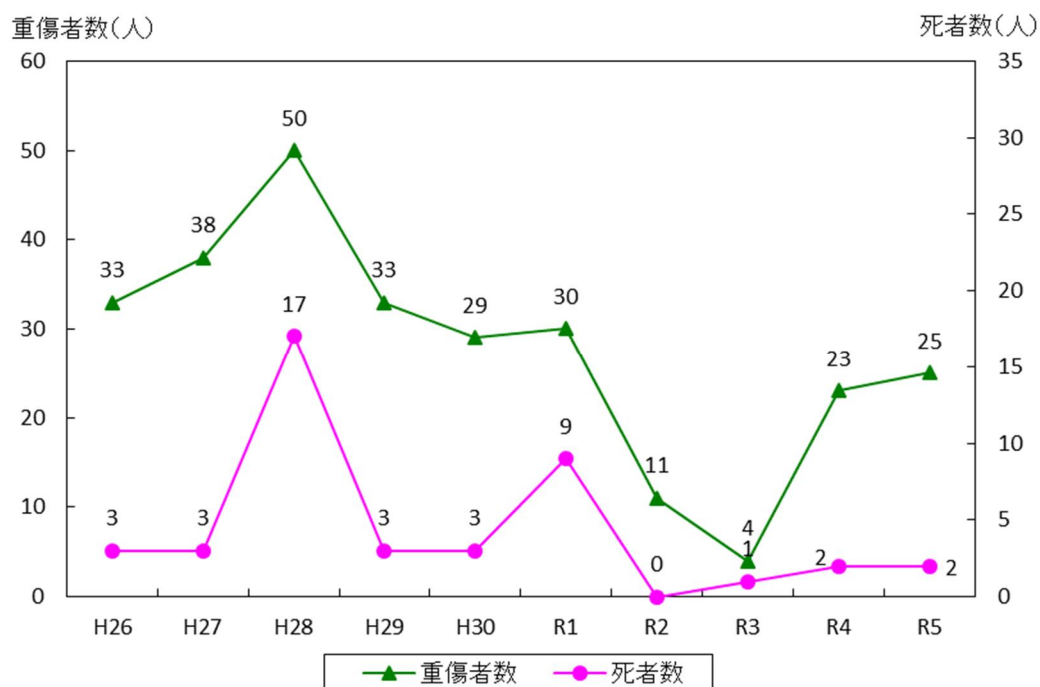
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 貸切バス事故の死傷者数の推移

貸切バスによる交通事故の重傷者数は近年減少傾向となっていたが、令和５年は前年に比べて重傷者数が増加した。死者数は、令和４年と同様、令和５年も２人となっている。

※平成28年は軽井沢スキーバス事故の影響により増加

〔図 46〕 貸切バス事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 42〕 貸切バス事故の死傷者数の推移（人）

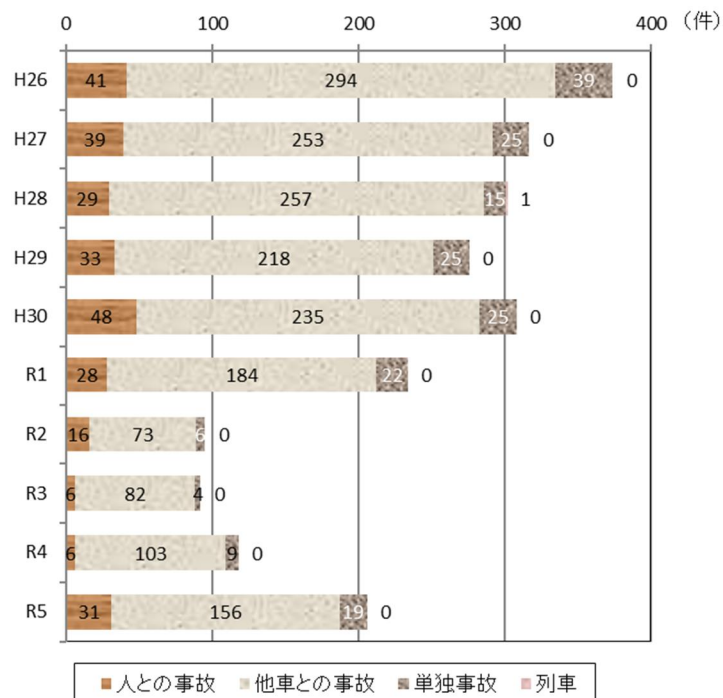
年 \ 区分	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H26	623	587	33	3
H27	565	524	38	3
H28	625	558	50	17
H29	468	432	33	3
H30	431	399	29	3
R1	382	343	30	9
R2	133	122	11	0
R3	120	115	4	1
R4	193	168	23	2
R5	284	257	25	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 貸切バスの事故類型別交通事故件数の推移

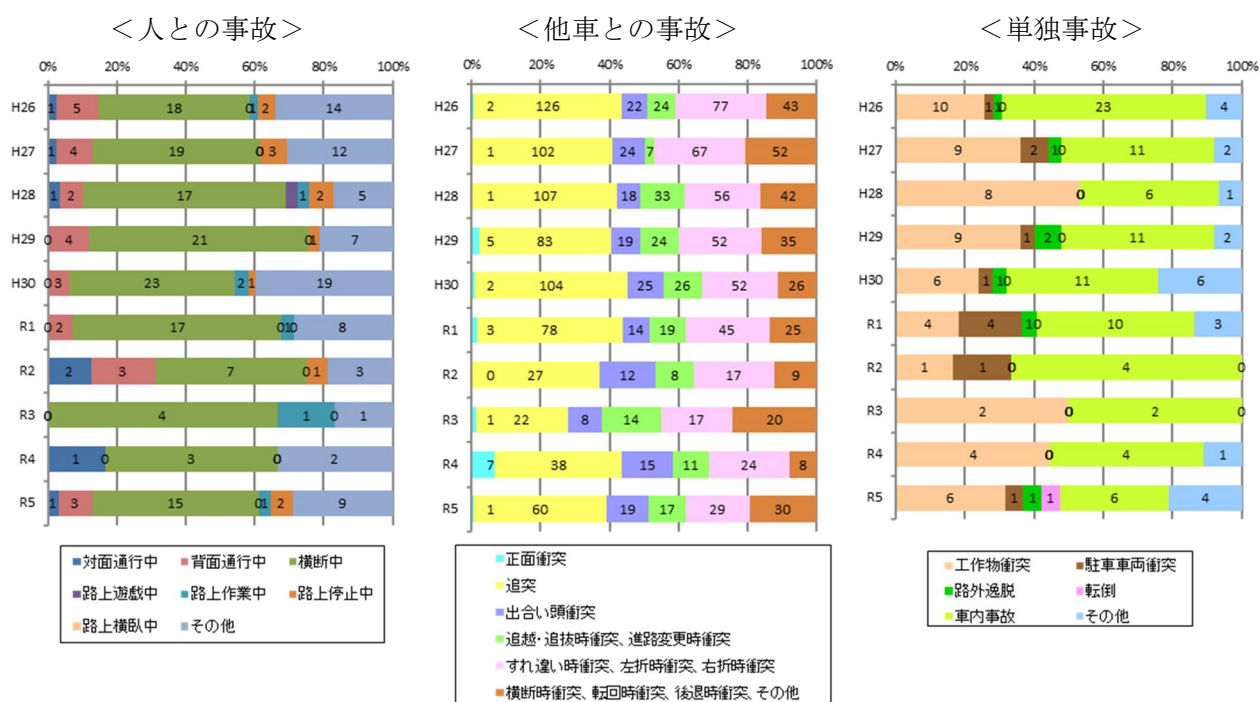
貸切バスの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が多く、約76%を占めている。このうち、約38%が追突事故である。

〔図 47〕 貸切バスの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 48〕 貸切バスの事故類型別交通事故件数の内訳（件）

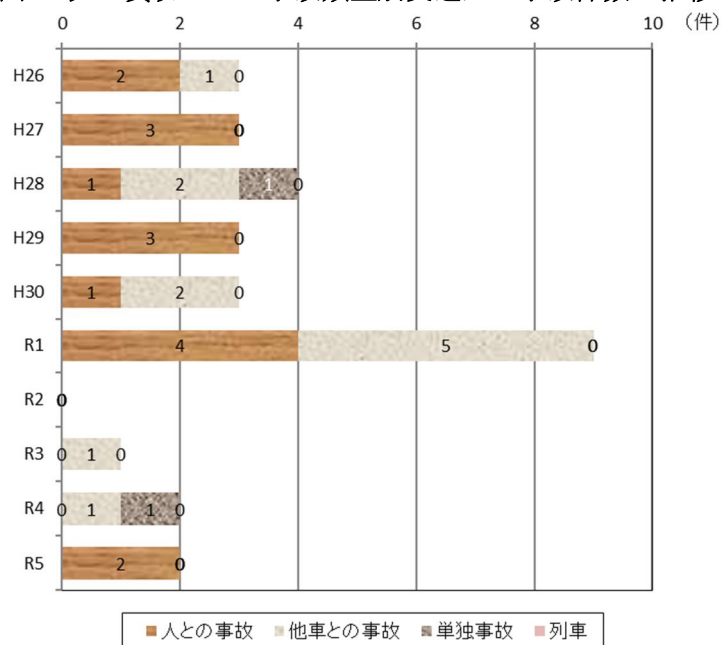


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(4) 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移

貸切バスの交通死亡事故件数は令和4年は2件であったが、令和5年も2件で、人との事故であった。

〔図 49〕 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(5) 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳（他車との事故）

貸切バスの交通死亡事故のうち他車との事故について、目立った特徴は見られない。

〔表 43〕 貸切バスの事故類型別交通死亡事故件数の内訳の推移（件）（他車との事故）

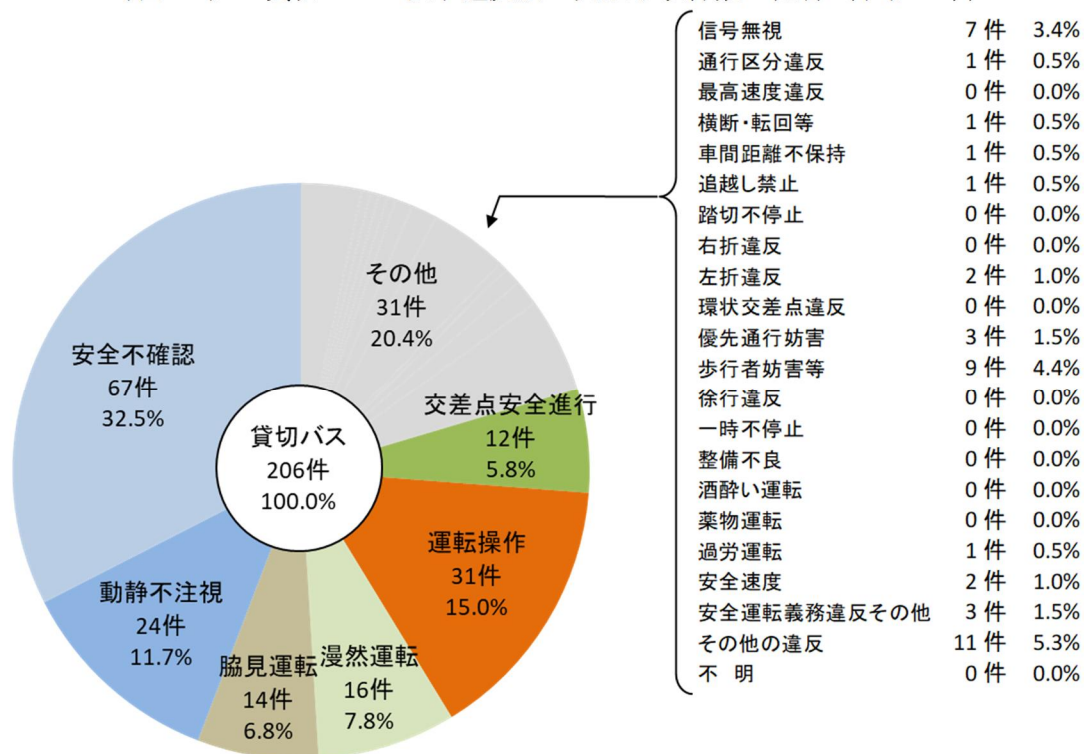
区分 年	正面衝突	追突	出合い頭衝突	追越・追抜時衝突	すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突	その他
H26	0	0	1	0	0	0
H27	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	1	1	0
H29	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	1	1	0	0
R1	0	2	1	1	0	1
R2	0	0	0	0	0	0
R3	0	0	0	0	1	0
R4	0	0	1	0	0	0
R5	0	0	0	0	0	0

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（６） 貸切バスの事故の法令違反別の交通事故件数の割合

貸切バスの法令違反別の事故件数をみると、「安全不確認」67件（32.5%）、「運転操作」31件（15.0%）、「動静不注視」24件（11.7%）、「漫然運転」16件（7.8%）、「脇見運転」14件（6.8%）といった法令違反の交通事故が多い。

〔図 50〕 貸切バスの法令違反別の交通事故件数の割合（令和 5 年）

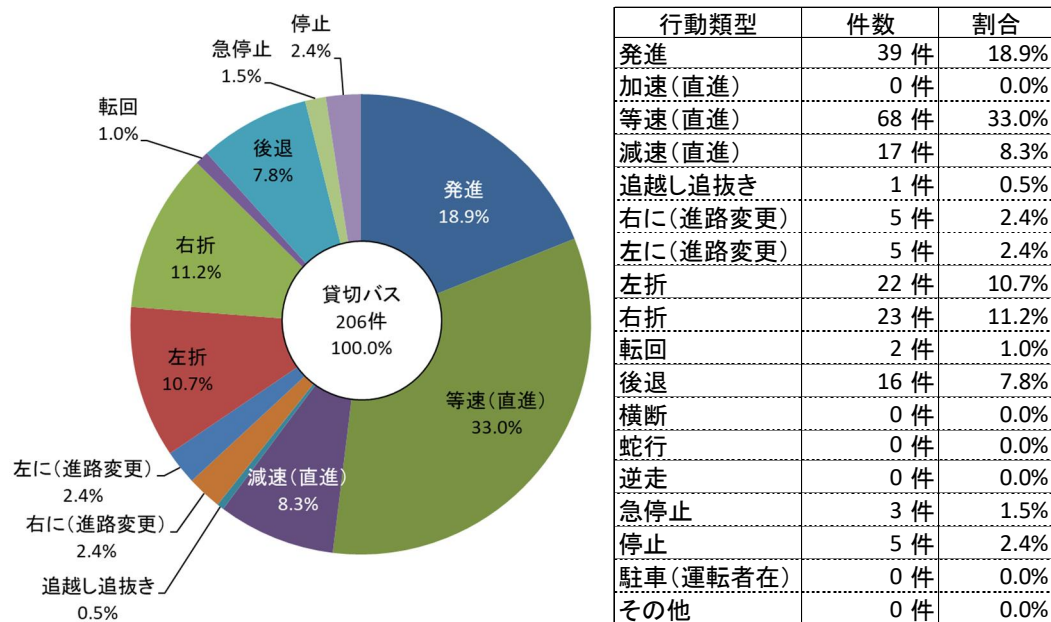


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(7) 貸切バスの行動類型別交通事故件数の割合

貸切バスの交通事故をバスの動きで類型化すると、発進時と等速（直進）時が多く、合計で50%以上を占めている。

〔図 51〕 貸切バスの行動類型別交通事故件数の割合（令和5年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(8) 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

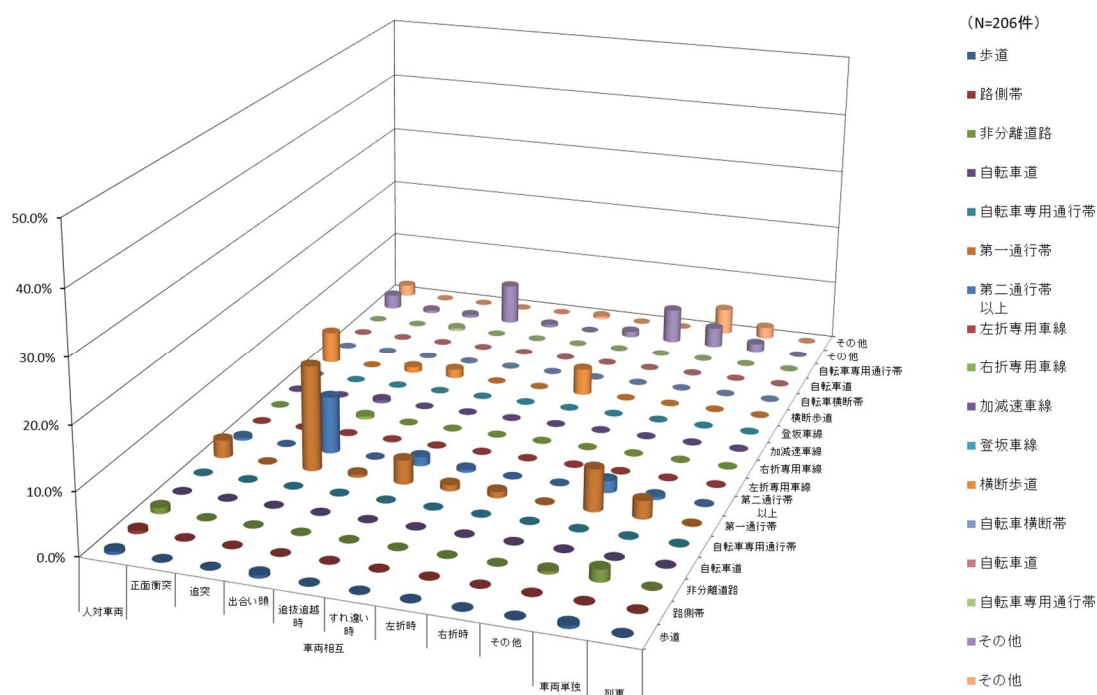
貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表44と図52に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表45と図53に示す。第一通行帯での追突事故が最も多く35件（17.0%）となっている。

〔表 44〕 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和5年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	路側帯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	非分離道路	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	7
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	6	0	35	1	8	2	2	0	14	6	0	74
	第二通行帯以上	1	0	19	0	3	1	0	0	4	1	0	29
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	加減速車線	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横断歩道	11	0	2	3	0	0	9	0	0	0	0	25
	自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点内	自転車専用通行帯	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	5	1	1	14	1	0	2	12	7	3	0	46
	その他	4	0	0	0	0	1	0	0	9	4	0	18
	合計	31	1	60	19	12	4	13	12	35	19	0	206

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 52〕 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通事故件数の構成比（%）（令和5年）



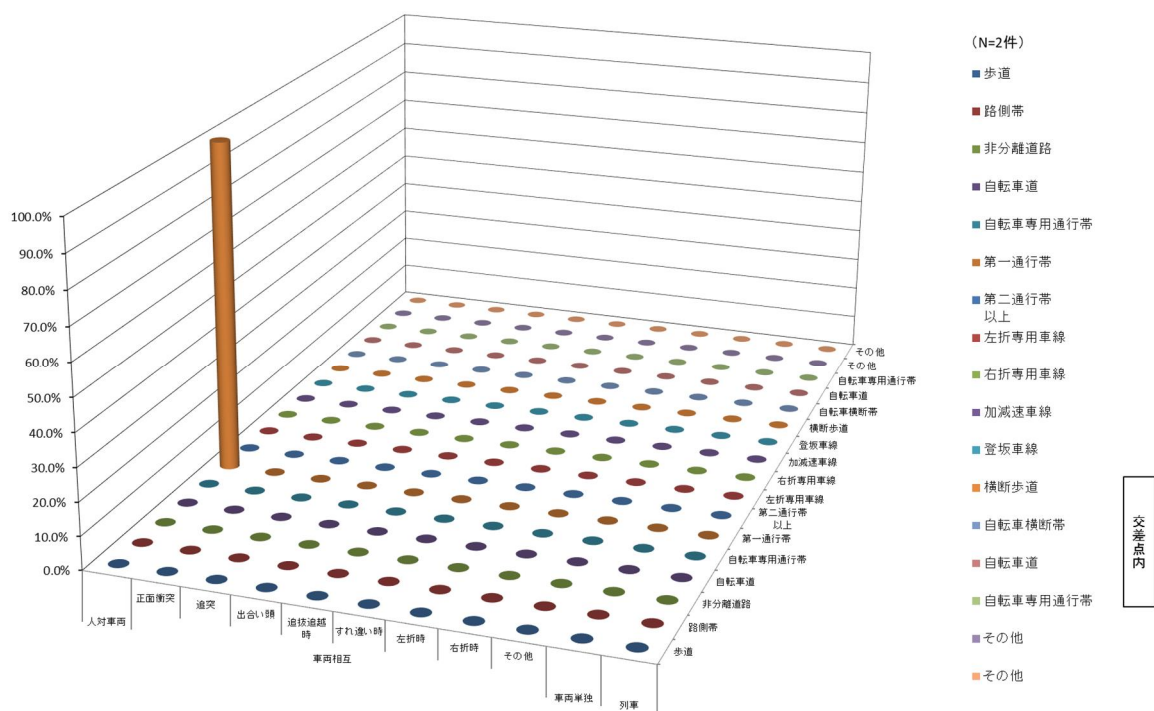
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 45〕 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計	
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他				
単路（交差点付近を含む）	歩道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	路側帯		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非分離道路		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自転車道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自転車専用通行帯		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	第一通行帯		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	第二通行帯以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	左折専用車線		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	右折専用車線		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	加減速車線		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	登坂車線		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	交差点内	横断歩道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車横断帯		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車専用通行帯		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 53〕 貸切バスの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(9) 貸切バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数

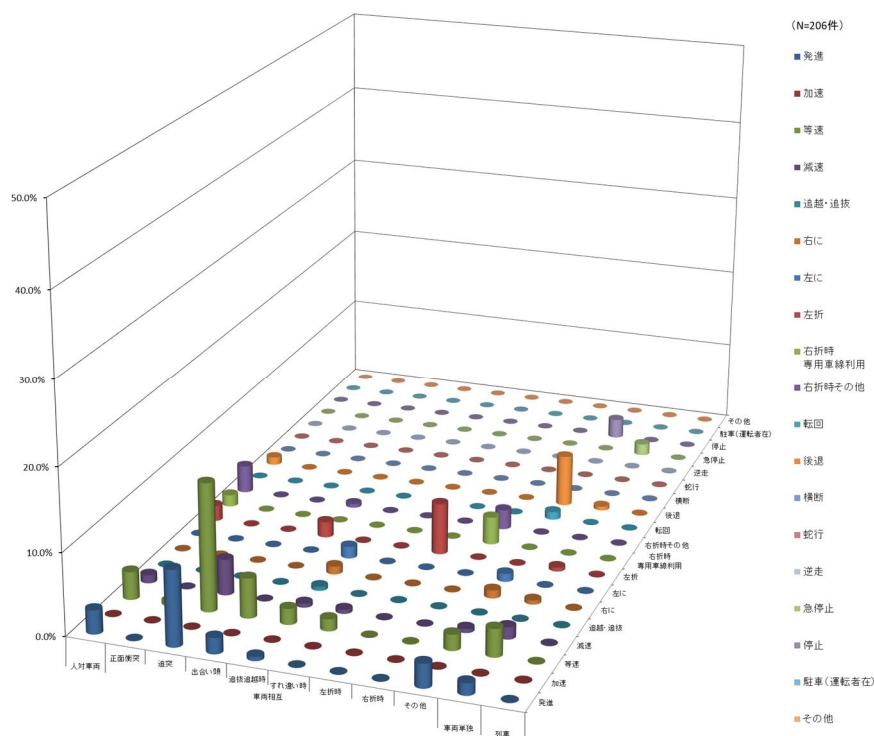
貸切バスの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表46と図54に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表47と図55に示す。等速直進時の追突事故が最も多く32件（15.5%）となっている。

〔表 46〕 貸切バスの事故類型別、行動類型事故件数（件）（令和5年）

		人対車両	車両相互							車両単独	列車	合計	
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時				その他
発進		6	0	19	4	1	0	0	0	6	3	0	39
直進	加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等速	7	1	32	10	4	3	0	0	4	7	0	68
	減速	2	0	9	0	1	1	0	0	1	3	0	17
	追越・追抜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
進路変更	右に	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	5
	左に	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	5
右折時	左折	4	0	0	4	0	0	13	0	0	1	0	22
	専用車線利用	3	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	10
	その他	7	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	13
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
後退		2	0	0	0	0	0	0	0	13	1	0	16
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		31	1	60	19	12	4	13	12	35	19	0	206

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 54〕 貸切バスの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比（%）（令和5年）



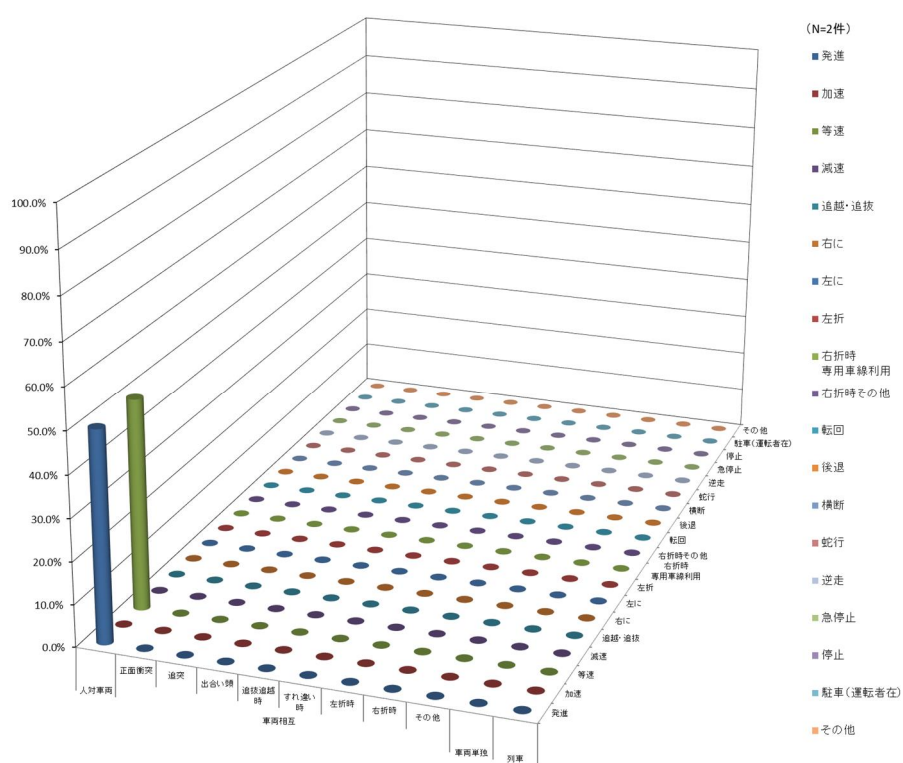
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 47〕 貸切バスの事故類型別、行動類型死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互							車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時			
	発進	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
直進	加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等速	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	蛇行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	逆走	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	急停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	駐車（運転者在）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 55〕 貸切バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）

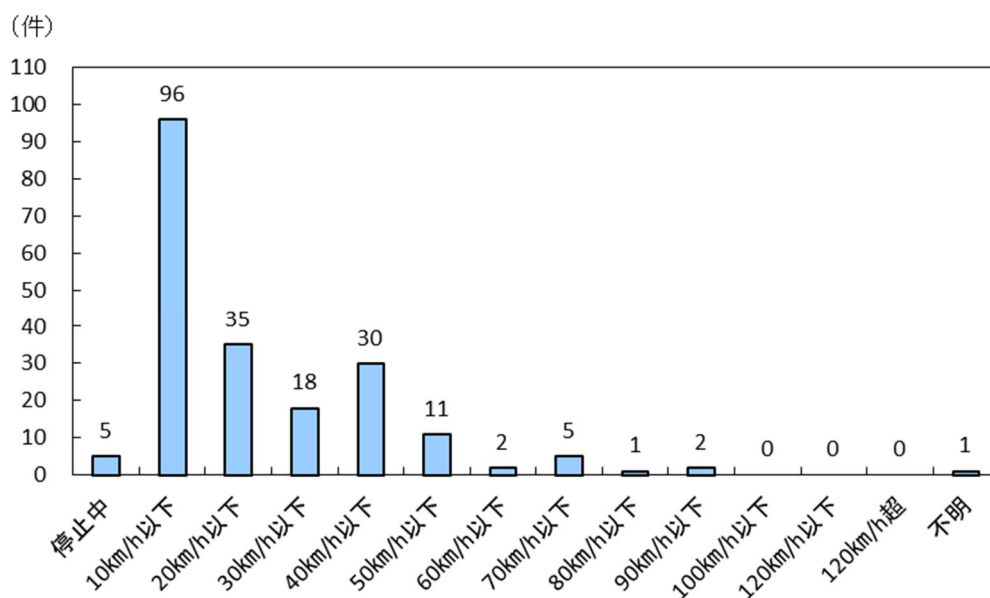


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10) 貸切バスの危険認知速度別の交通事故件数

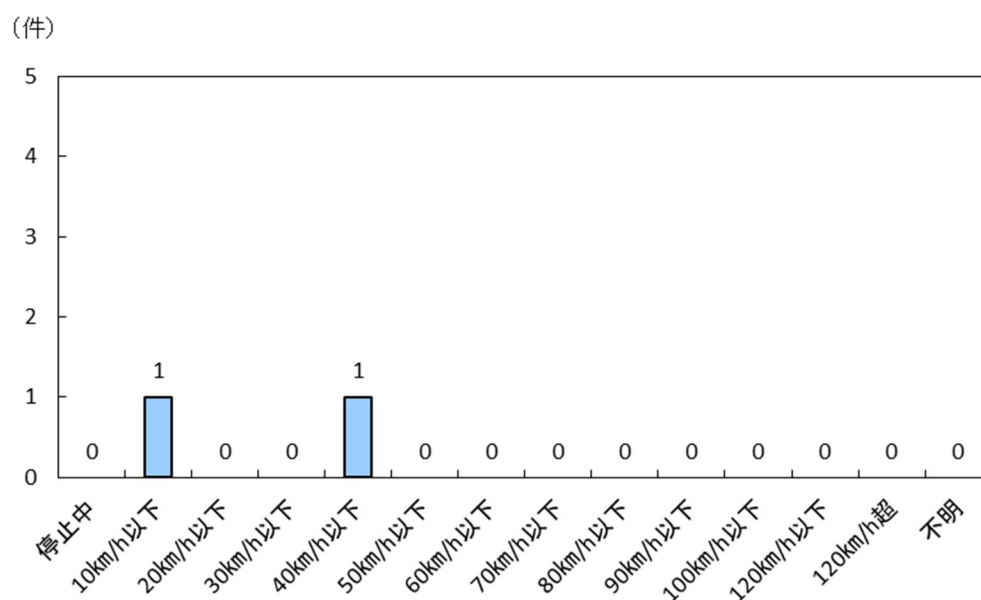
貸切バスの危険認知速度別の交通事故件数は、10km/h以下で96件と最も多く発生しており、次いで10km/h～20km/h以下で35件発生している。また、交通死亡事故の2件は、10km/h以下と30km/h～40km/h以下で発生している。

〔図 56〕 貸切バスの危険認知速度別の交通事故件数（令和5年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 57〕 貸切バスの危険認知速度別の交通死亡事故件数（令和5年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11) 貸切バスの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布

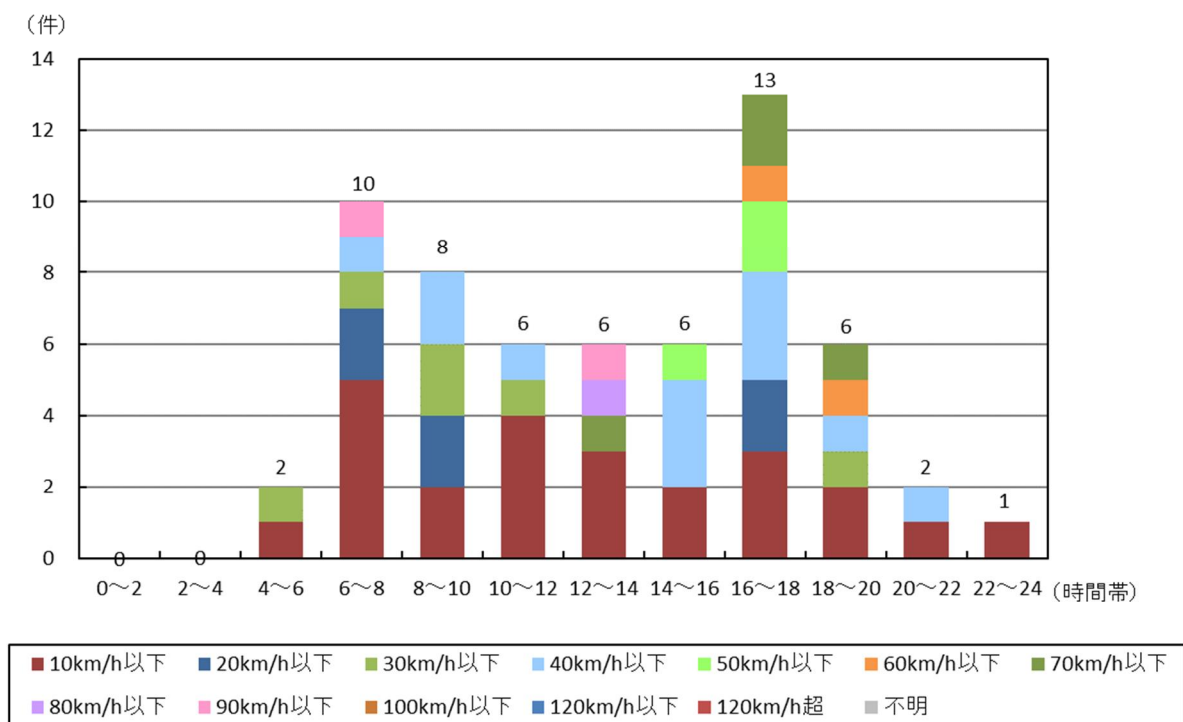
貸切バスの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布をみると、16時～17時台の時間帯が最も多く、13件発生している。

〔表 48〕 貸切バスの追突事故件数危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和 5 年）

	時 間 帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	1	5	2	4	3	2	3	2	1	1	24
20km/h以下	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	6
30km/h以下	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0	6
40km/h以下	0	0	0	1	2	1	0	3	3	1	1	0	12
50km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
60km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
70km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	4
80km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
90km/h以下	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
100km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	2	10	8	6	6	6	13	6	2	1	60

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 58〕 貸切バスの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和 5 年）



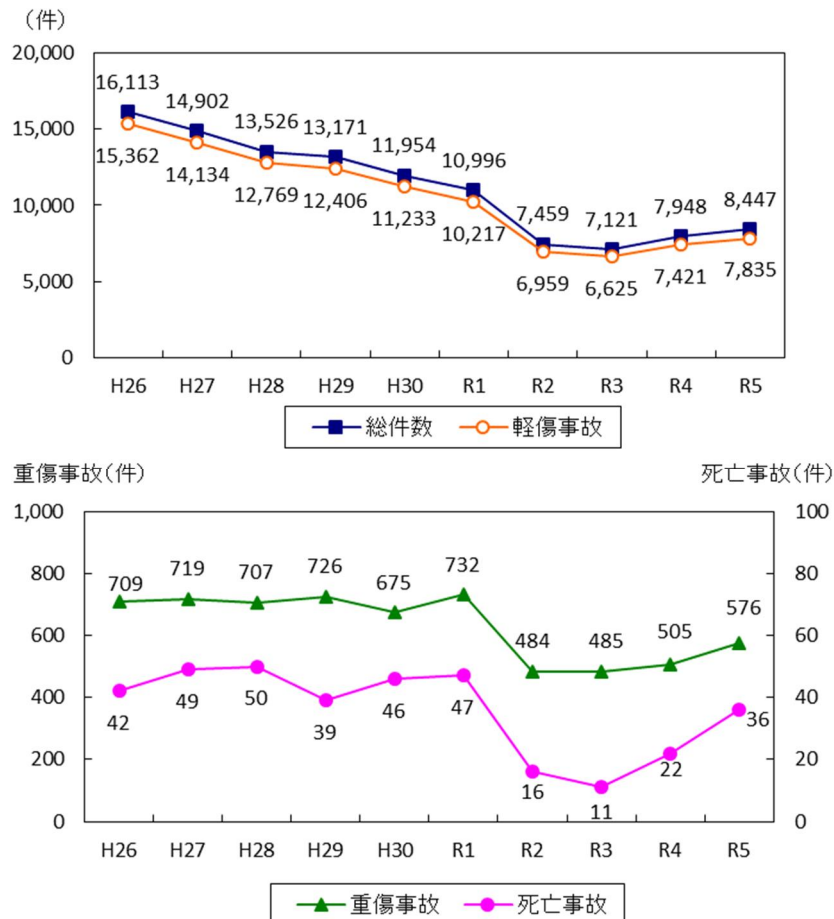
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

3. タクシーの交通事故

(1) タクシーの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

タクシーの交通事故件数について、近年減少傾向となっていたが、令和4年から増加に転じ、令和5年は前年と比べて総件数、軽傷事故件数、重傷事故件数、死亡事故件数のいずれも増加した。

〔図 59〕 タクシーの交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 49〕 タクシーの交通事故件数の推移（件）

区分 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H26	16,113	15,362	709	42
H27	14,902	14,134	719	49
H28	13,526	12,769	707	50
H29	13,171	12,406	726	39
H30	11,954	11,233	675	46
R1	10,996	10,217	732	47
R2	7,459	6,959	484	16
R3	7,121	6,625	485	11
R4	7,948	7,421	505	22
R5	8,447	7,835	576	36

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) タクシー事故のうち、同乗者の死傷事故件数

運転者が第1当事者となったタクシー事故の業態別の同乗者の死傷事故件数は、以下の通りであった。

〔表 50〕 タクシー事故のうち、同乗者の死傷事故件数（件）（令和5年）

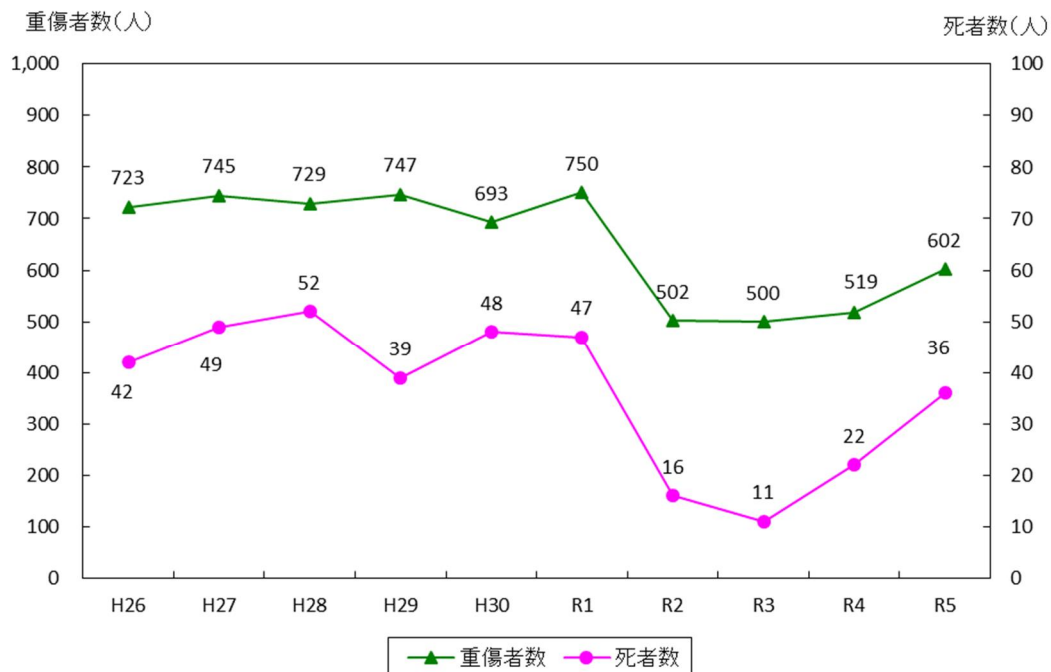
	死亡	重傷	軽傷	合計
法人	1	57	908	966
個人	0	3	47	50
その他乗用	0	0	1	1
計	1	60	956	1,017

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) タクシー事故の死傷者数の推移

タクシー事故による重傷者数、死者数は近年横ばい傾向で令和2年に大幅に減少したのち、令和5年は前年と比べて重傷者数は83人、死者数は14人増加した。

〔図 60〕 タクシー事故の死傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 51〕 タクシーの事故の死傷者数の推移（人）

区分 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H26	18,816	18,051	723	42
H27	17,416	16,622	745	49
H28	15,893	15,112	729	52
H29	15,379	14,593	747	39
H30	14,031	13,290	693	48
R1	12,813	12,016	750	47
R2	8,586	8,068	502	16
R3	8,167	7,656	500	11
R4	9,124	8,583	519	22
R5	9,770	9,132	602	36

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(4) タクシー事故のうち、同乗者の死傷者数

運転者が第1当事者となったタクシー事故の業態別の同乗者の死傷者数は、以下の通りであった。

〔表 52〕 タクシー事故のうち、同乗者の死傷者数（人）（令和5年）

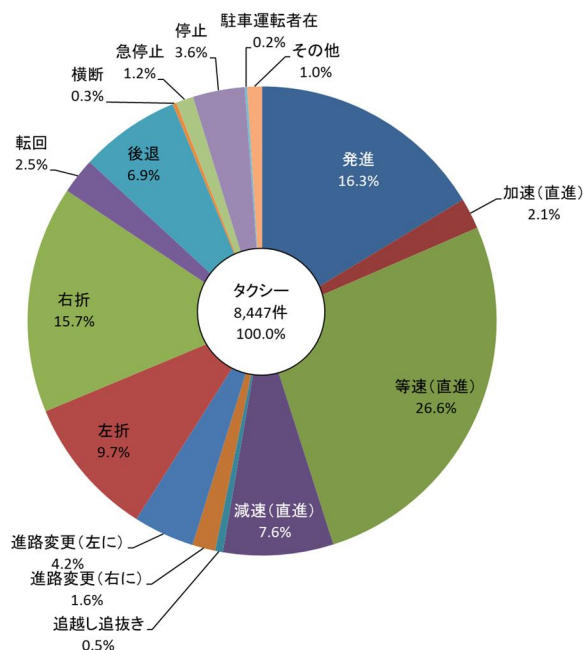
	死亡	重傷	軽傷	合計
法人	1	60	1,132	1,193
個人	0	4	55	59
その他乗用	0	0	1	1
計	1	64	1,188	1,253

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(5) タクシーの行動類型別交通事故件数の割合

タクシーの交通事故をタクシーの動きで類型化すると、等速（直進）時、発進時や右折時が多く、合計で約59%を占めている。

〔図 61〕 タクシーの行動類型別交通事故件数の割合（令和 5 年）



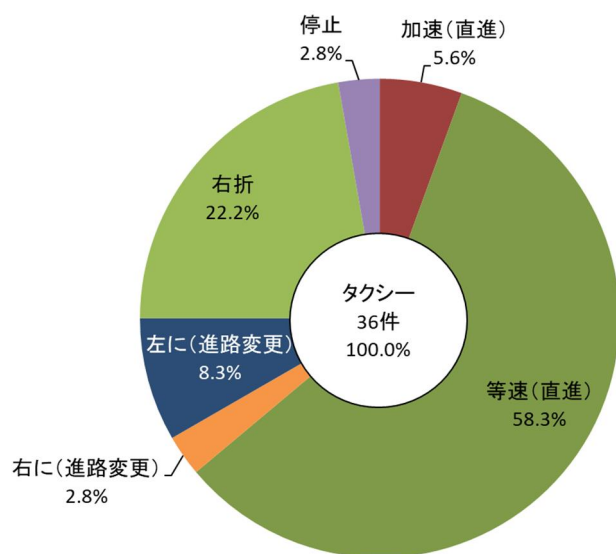
行動類型	件数	割合
発進	1,381 件	16.3%
加速(直進)	181 件	2.1%
等速(直進)	2,246 件	26.6%
減速(直進)	642 件	7.6%
追越し追抜き	45 件	0.5%
進路変更(右に)	134 件	1.6%
進路変更(左に)	355 件	4.2%
左折	820 件	9.7%
右折	1,323 件	15.7%
転回	209 件	2.5%
後退	585 件	6.9%
横断	22 件	0.3%
蛇行	0 件	0.0%
逆走	1 件	0.0%
急停止	101 件	1.2%
停止	302 件	3.6%
駐車運転者在	14 件	0.2%
その他	86 件	1.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(6) タクシーの行動類型別交通死亡事故件数の割合

タクシーの交通死亡事故をタクシーの動きで類型化すると、等速（直進）時が多く、約58%を占めている。

〔図 62〕 タクシーの行動類型別交通死亡事故件数の割合（令和 5 年）



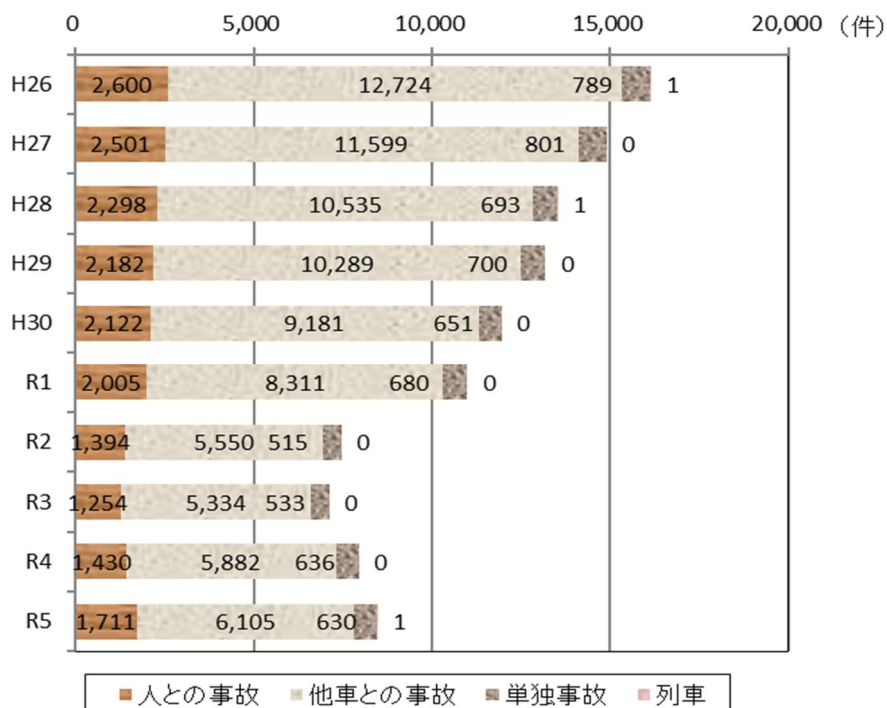
行動類型	件数	割合
発進	0 件	0.0%
加速(直進)	2 件	5.6%
等速(直進)	21 件	58.3%
減速(直進)	0 件	0.0%
追越し追抜き	0 件	0.0%
進路変更(右に)	1 件	2.8%
進路変更(左に)	3 件	8.3%
左折	0 件	0.0%
右折	8 件	22.2%
転回	0 件	0.0%
後退	0 件	0.0%
横断	0 件	0.0%
蛇行	0 件	0.0%
逆走	0 件	0.0%
急停止	0 件	0.0%
停止	1 件	2.8%
駐車運転者在	0 件	0.0%
その他	0 件	0.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(7) タクシーの事故類型別交通事故件数の推移

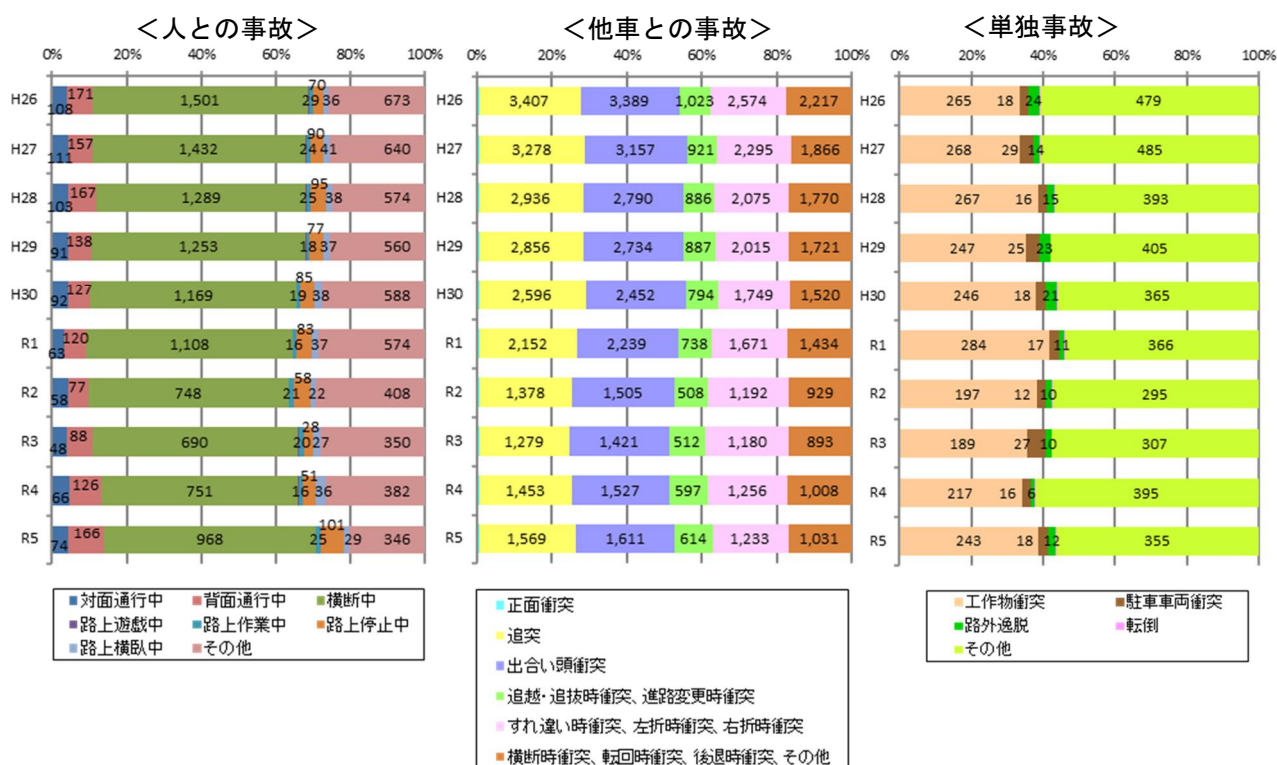
タクシーの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が最も多く6,105件となっており、約72%を占めている。このうち、出会い頭衝突が最も多く、次いで追突となっている。

〔図 63〕 タクシーの事故類型別交通事故件数の推移



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 64〕 タクシーの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

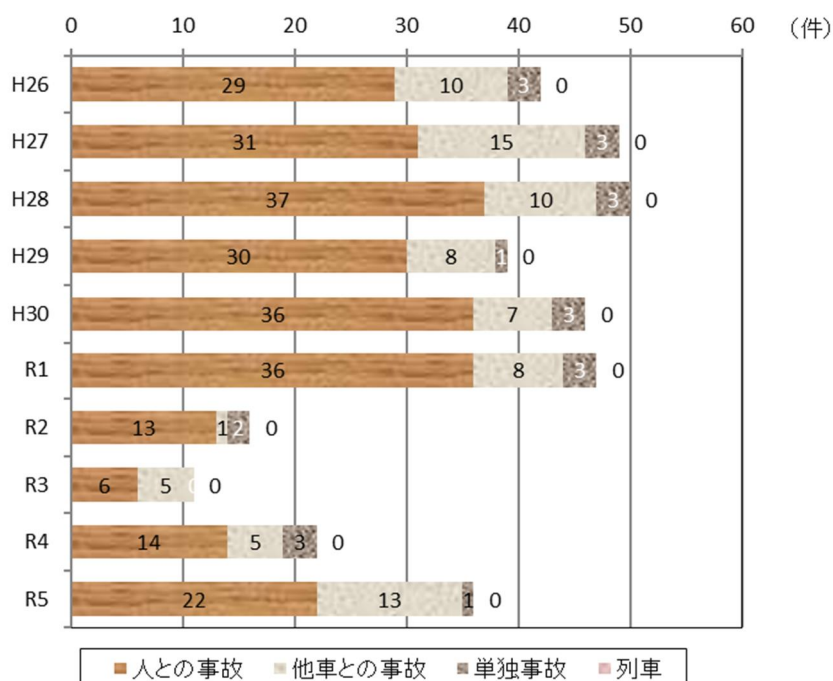


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(8) タクシーの事故類型別交通死亡事故件数の推移

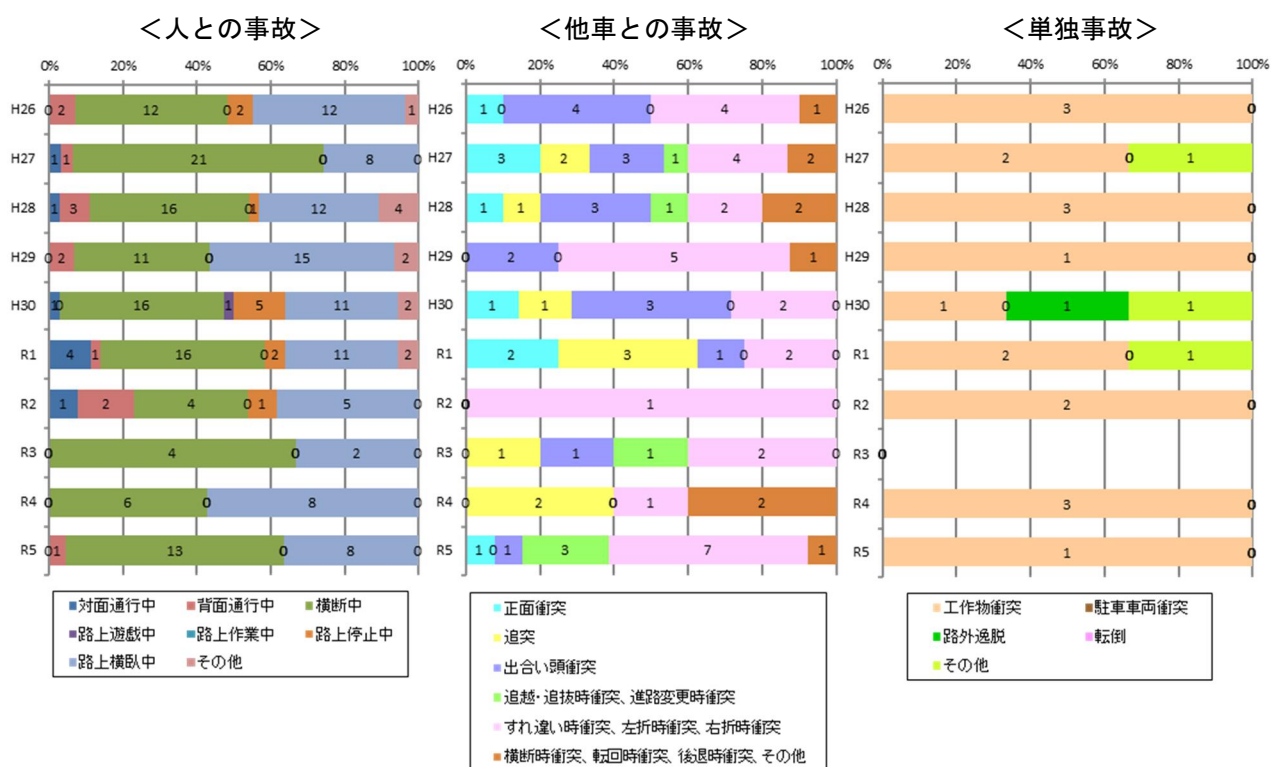
タクシーの交通死亡事故を事故の種類で類型化すると、人との事故が22件、他車との事故が13件となっている。人との事故のうち、横断中の事故が13件と多い。

〔図 65〕 タクシーの事故類型別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 66〕 タクシーの事故類型別交通死亡事故件数の内訳の推移

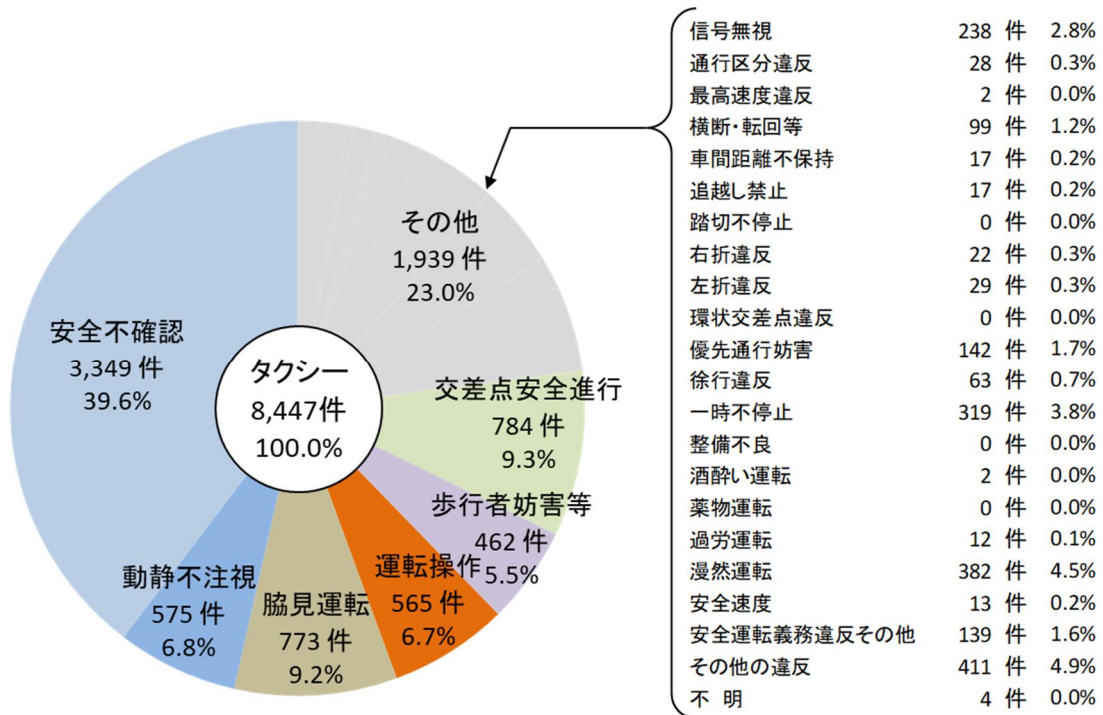


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(9) タクシーの法令違反別の交通事故件数の割合

タクシーでは、「安全不確認」3,349件（39.6%）、「交差点安全進行」784件（9.3%）、「脇見運転」773件（9.2%）といった法令違反の交通事故が多い。

〔図 67〕 タクシーの法令違反別事故件数の割合（令和5年）

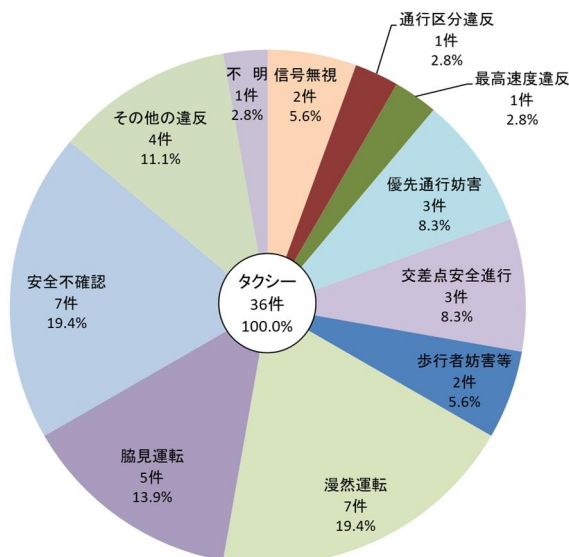


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10) タクシーの法令違反別の交通死亡事故件数の割合

タクシーでは、「漫然運転」7件（19.4%）、「安全不確認」7件（19.4%）、「脇見運転」5件（13.9%）といった法令違反の交通死亡事故が多い。

〔図 68〕 タクシーの法令違反別死亡事故件数の割合（令和5年）

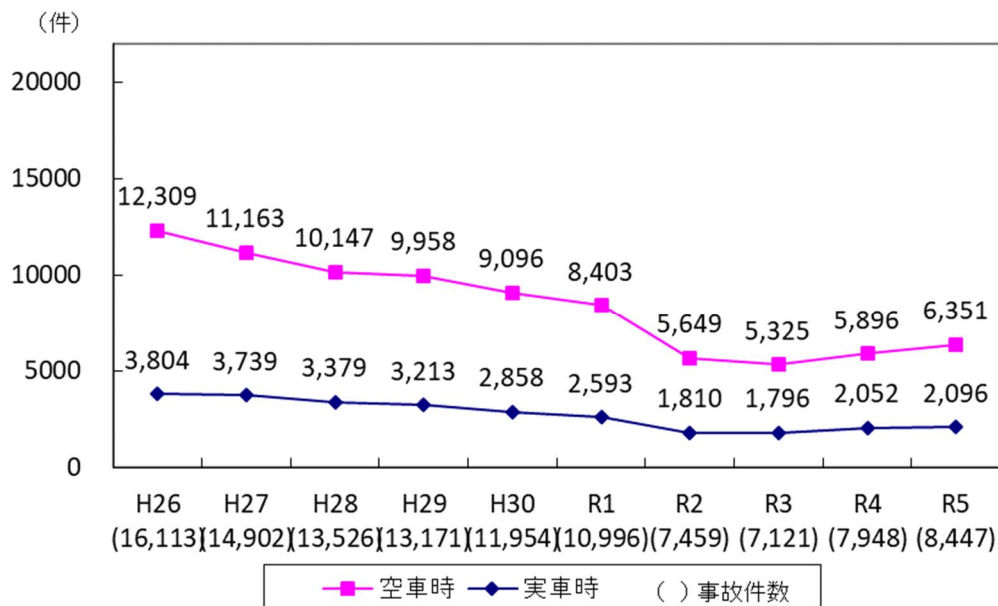


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11) タクシーの交通事故件数（空車時、実車時）

タクシーの交通事故件数（空車時、実車時）は、空車時が実車時と比べて多く発生している。空車時、実車時ともに令和5年は増加している。

〔図 69〕 タクシーの事故件数（空車時、実車時）の推移



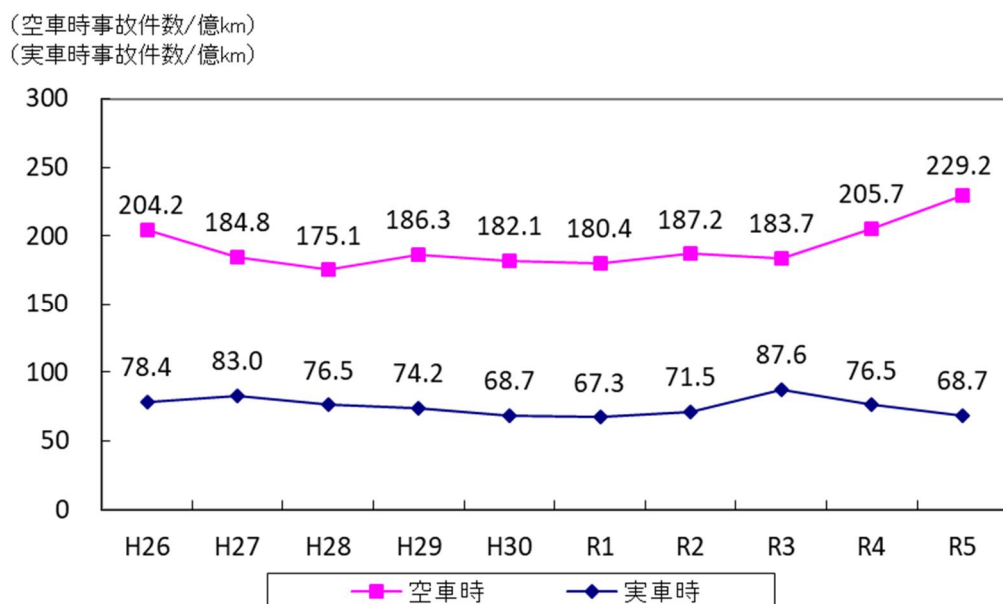
※（ ）内の数字は空車時と実車時を合わせた事故件数，単位は件

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12) タクシーの走行距離1億キロあたりの交通事故件数（空車時、実車時）

タクシーの走行距離1億キロあたりの交通事故件数（空車時、実車時）は、空車時が実車時と比べて多く発生している。令和5年は前年と比べて、空車時は増加したが、実車時は減少している。

〔図 70〕 タクシーの走行距離1億キロあたりの交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

(13) タクシーの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

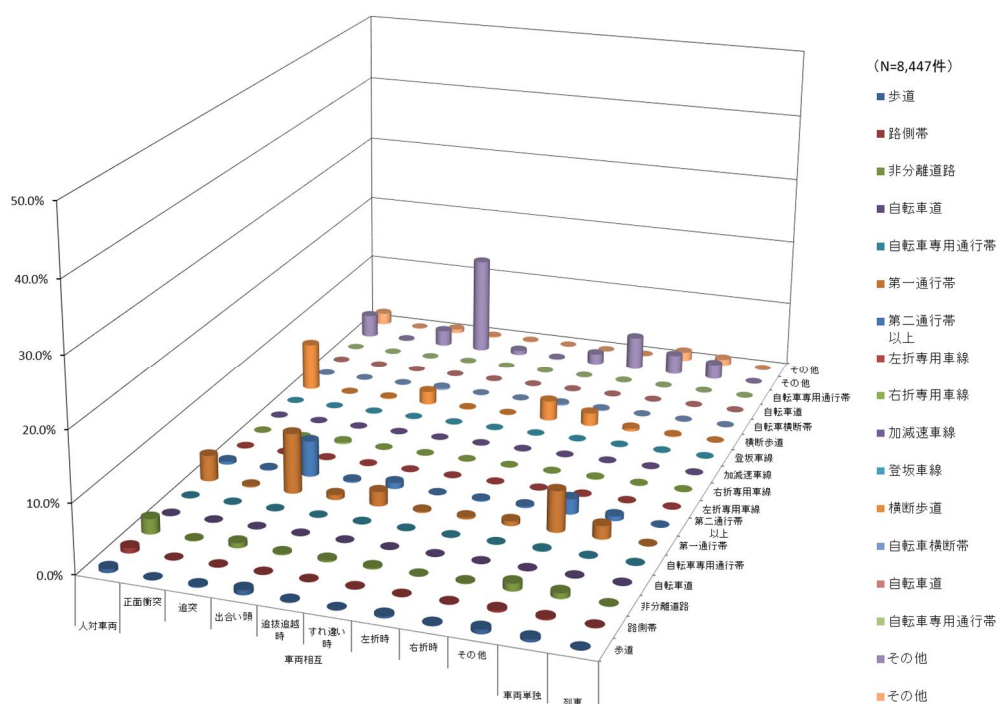
タクシーの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表53と図71に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表54と図72に示す。交通事故件数については、交差点内（その他）での出会い頭事故が最も多く1,244件（14.7%）、交通死亡事故件数については、第一通行帯での人対車両事故が最も多く8件（22.2%）となっている。

〔表 53〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和5年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	48	0	15	60	8	0	23	8	52	33	0	247
	路側帯	65	0	4	1	2	3	0	3	22	17	0	117
	非分離道路	187	6	61	16	21	16	1	8	93	67	0	476
	自転車道	2	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	7
	自転車専用通行帯	1	0	1	0	2	0	1	1	8	1	0	15
	第一通行帯	318	14	744	62	178	14	23	58	505	165	0	2,081
	第二通行帯以上	37	12	445	20	75	2	13	20	190	57	0	871
	左折専用車線	1	0	4	2	0	0	0	0	3	1	0	11
	右折専用車線	1	0	21	1	1	0	0	1	6	2	0	33
	加減速車線	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点内	横断歩道	604	3	10	167	7	1	252	163	36	10	0	1,253
	自転車横断帯	0	0	0	22	0	0	18	9	0	0	0	49
	自転車道	1	0	2	2	0	0	2	1	0	0	0	8
	自転車専用通行帯	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	6
	その他	294	10	207	1,244	59	11	141	432	252	192	0	2,842
その他		152	2	52	12	5	2	1	3	116	83	1	429
合計		1,711	47	1,569	1,611	358	49	476	708	1,287	630	1	8,447

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 71〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比（%）（令和5年）



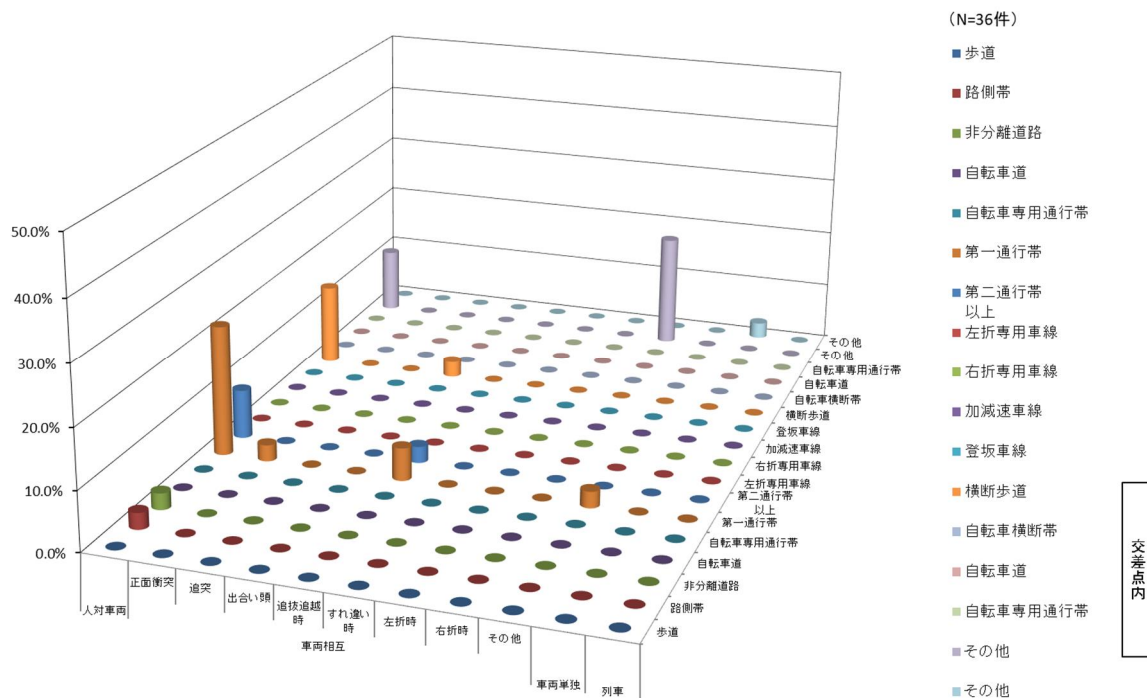
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 54〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路側帯	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	非分離道路	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	8	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	12
	第二通行帯以上	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内	横断歩道	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
		自転車横断帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	4	0	0	0	0	0	0	7	0	0	11
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計	22	1	0	1	3	0	0	7	1	1	0	36

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 72〕 タクシーの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(14) タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数

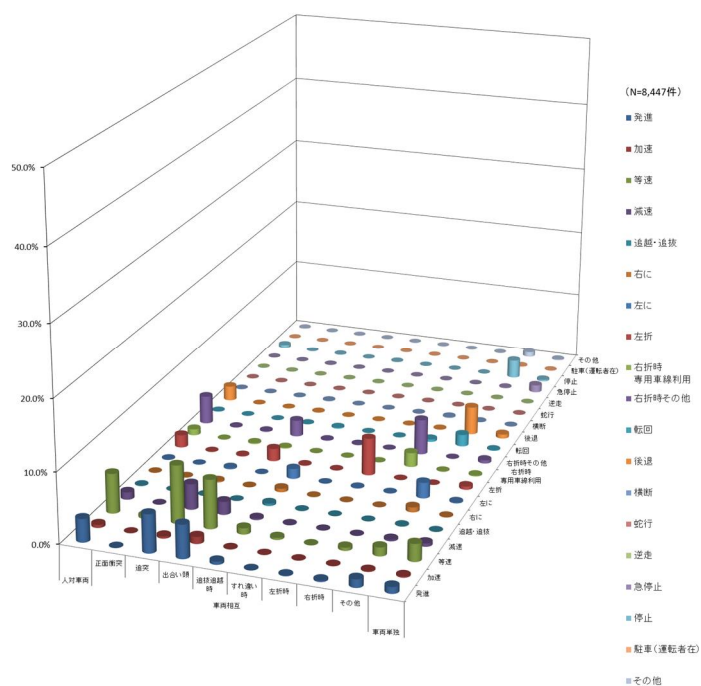
タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表55と図73に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表56と図74に示す。交通事故件数については、等速直進時の追突事故が最も多く697件（8.3%）、交通死亡事故件数については、等速直進時の人対車両事故が最も多く19件（52.8%）となっている。

〔表 55〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数（件）（令和5年）

		人対車両	車両相互							車両単独	列車	合計	
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時				その他
発進		279	3	459	402	36	3	7	15	99	78	0	1,381
直進	加速	37	0	26	84	5	0	1	3	10	15	0	181
	等速	478	30	697	587	74	25	2	38	105	210	0	2,246
	減速	88	1	309	157	18	5	2	2	19	40	1	642
	追越・追抜	5	1	3	0	29	1	0	0	6	0	0	45
進路変更	右に	2	4	15	2	43	3	1	1	59	4	0	134
	左に	7	0	16	0	122	1	7	1	190	11	0	355
左折		154	1	10	153	6	3	453	0	0	40	0	820
右折時	専用車線利用	75	1	13	10	0	0	0	173	0	11	0	283
	その他	345	6	9	199	7	5	0	430	0	39	0	1,040
転回		4	0	1	4	12	2	2	31	145	8	0	209
後退		181	0	2	4	0	1	0	4	342	51	0	585
横断		1	0	1	6	0	0	1	10	3	0	0	22
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
急停止		2	0	2	0	0	0	0	0	6	91	0	101
停止		42	0	4	1	5	0	0	0	230	20	0	302
駐車(運転者在)		3	0	0	0	0	0	0	0	9	2	0	14
その他		8	0	2	2	1	0	0	0	63	10	0	86
合計		1,711	47	1,569	1,611	358	49	476	708	1,287	630	1	8,447

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 73〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通事故件数の構成比（%）（令和5年）



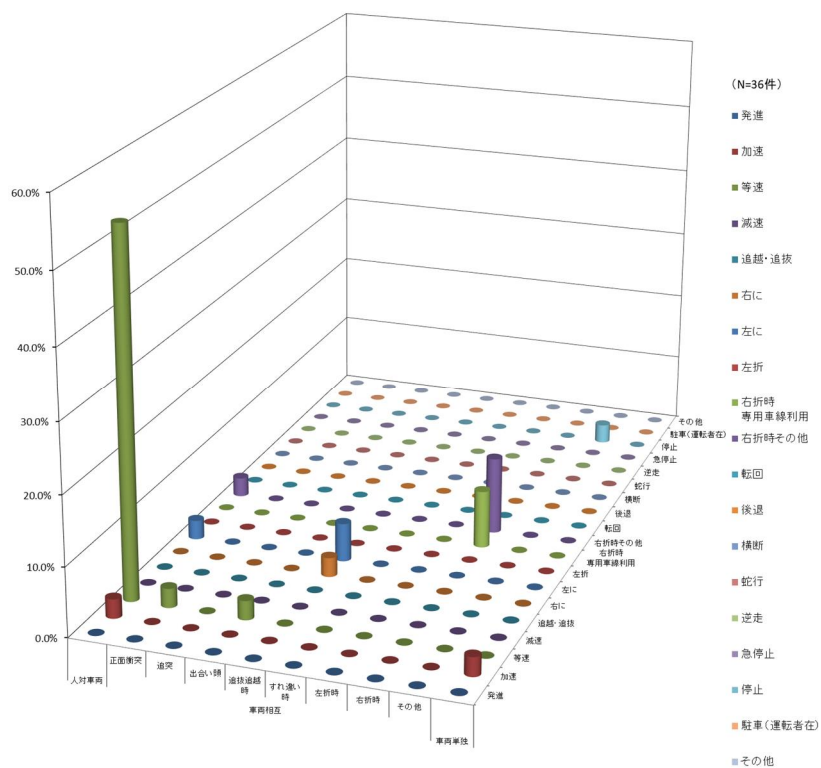
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 56〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車 両	車両相互							車両単 独	列車	合計	
			正面衝 突	追突	出合い 頭	追抜追 越時	すれ違 い時	左折時	右折時				その他
発進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
直進	加速	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	等速	19	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	21
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路 変更	右に	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	左に	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
左折		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
右折 時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
	その他	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆走		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		22	1	0	1	3	0	0	7	1	1	0	36

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 74〕 タクシーの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(15) 管轄運輸支局別のタクシーの出会い頭事故件数

〔表 57〕 タクシーの運輸支局別、出会い頭事故件数（件）（令和5年）

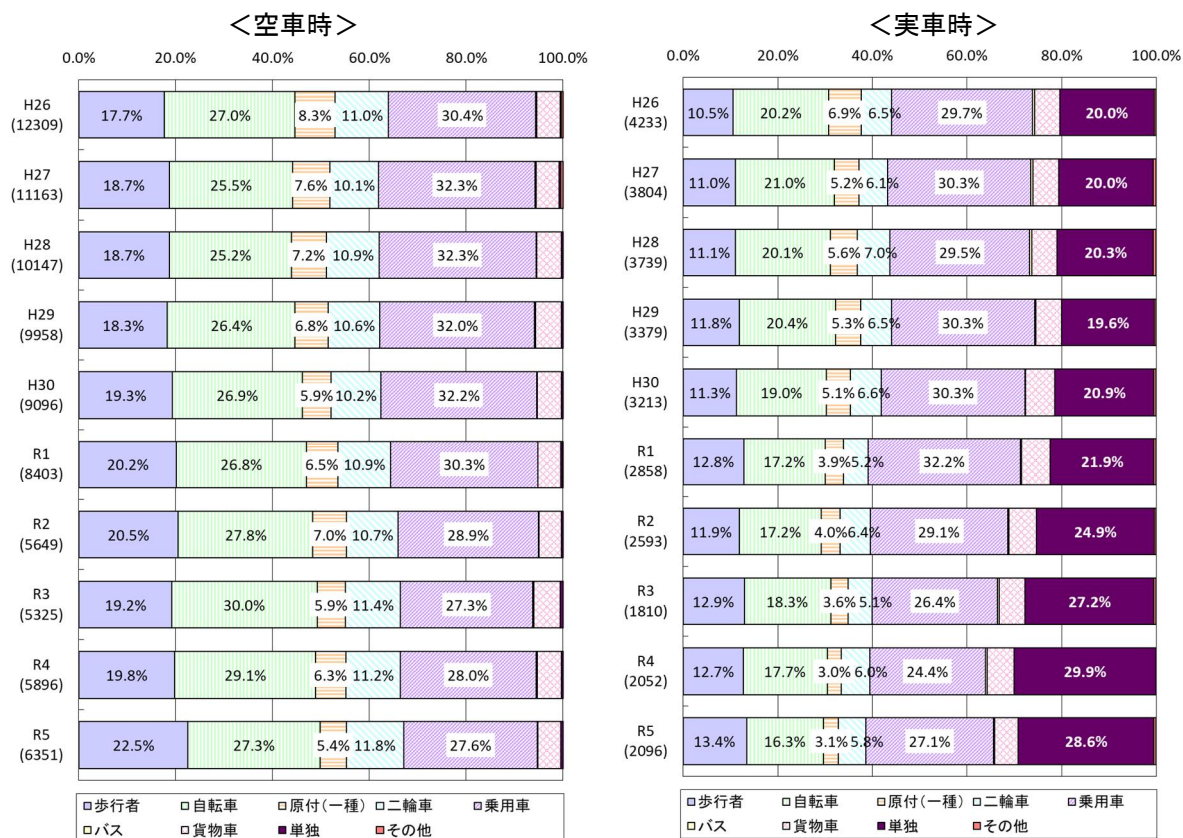
運輸支局等		法人	個人	特定 （その他乗用）	合計
北海道	札幌	78	4	1	83
	函館	3	1	0	4
	室蘭	4	0	0	4
	帯広	2	0	0	2
	釧路	1	0	0	1
	北見	2	0	0	2
	旭川	7	0	0	7
	小計	97	5	1	103
東北	宮城	10	2	0	12
	福島	12	1	2	15
	岩手	5	1	0	6
	青森	10	0	0	10
	山形	3	0	0	3
	秋田	3	0	0	3
	小計	43	4	2	49
北陸信越	新潟	4	0	0	4
	長野	16	0	0	16
	石川	13	0	0	13
	富山	1	0	0	1
	小計	34	0	0	34
関東	東京	361	32	1	394
	神奈川	59	8	0	67
	千葉	48	1	0	49
	埼玉	49	2	2	53
	茨城	11	0	1	12
	群馬	15	0	1	16
	栃木	5	0	0	5
	山梨	4	0	0	4
	小計	552	43	5	600
中部	愛知	62	6	1	69
	静岡	42	4	3	49
	岐阜	3	0	0	3
	三重	0	0	0	0
	福井	2	0	0	2
	小計	109	10	4	123
近畿	大阪	222	19	3	244
	京都	25	1	0	26
	兵庫	76	8	2	86
	滋賀	3	0	0	3
	奈良	4	1	2	7
	和歌山	5	0	0	5
	小計	335	29	7	371
中国	広島	34	4	0	38
	鳥取	0	0	0	0
	島根	2	0	0	2
	岡山	15	1	0	16
	山口	8	0	0	8
	小計	59	5	0	64
四国	香川	11	0	0	11
	徳島	6	1	1	8
	愛媛	10	2	0	12
	高知	0	0	0	0
	小計	27	3	1	31
九州	福岡	135	5	0	140
	佐賀	6	0	0	6
	長崎	10	1	0	11
	熊本	14	0	0	14
	大分	8	0	0	8
	宮崎	15	0	1	16
	鹿児島	7	0	0	7
	小計	195	6	1	202
沖縄		21	1	0	22
不明		7	2	3	12
合計		1,479	108	24	1,611

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(16) タクシーの事故の相手方の割合の推移（空車時、実車時）

タクシーの交通事故のうち、実車時に多く見られる単独の事故は、空車時にはほぼ見られない。実車時の単独の事故の割合が緩やかに増加している傾向が見られる。

〔図 75〕 タクシーの事故の相手方の割合の推移



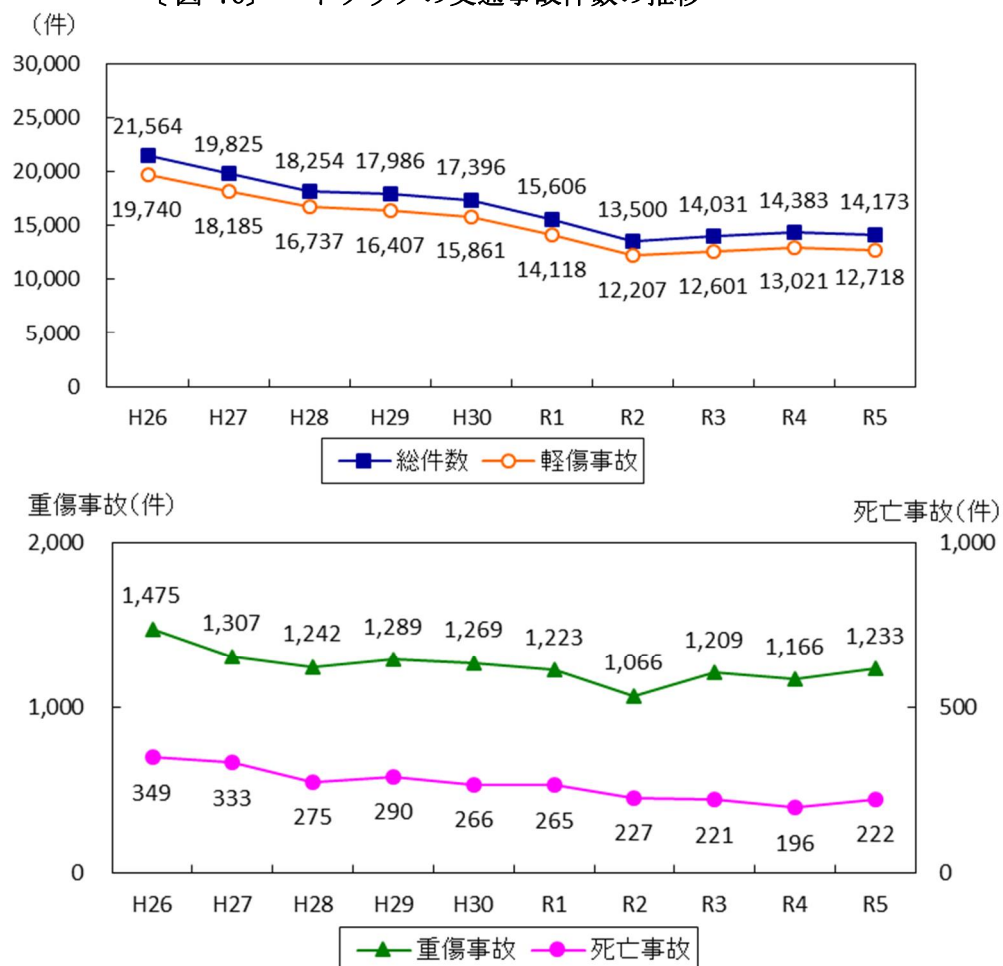
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

4. トラックの交通事故

(1) トラックの交通事故件数、交通死傷事故件数の推移

トラックの交通事故件数について、総件数、軽傷事故件数は令和2年以降増加傾向にあったが、令和5年は前年に比べて減少した。重傷事故件数と交通死亡事故件数は前年と比べて増加した。

〔図 76〕 トラックの交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

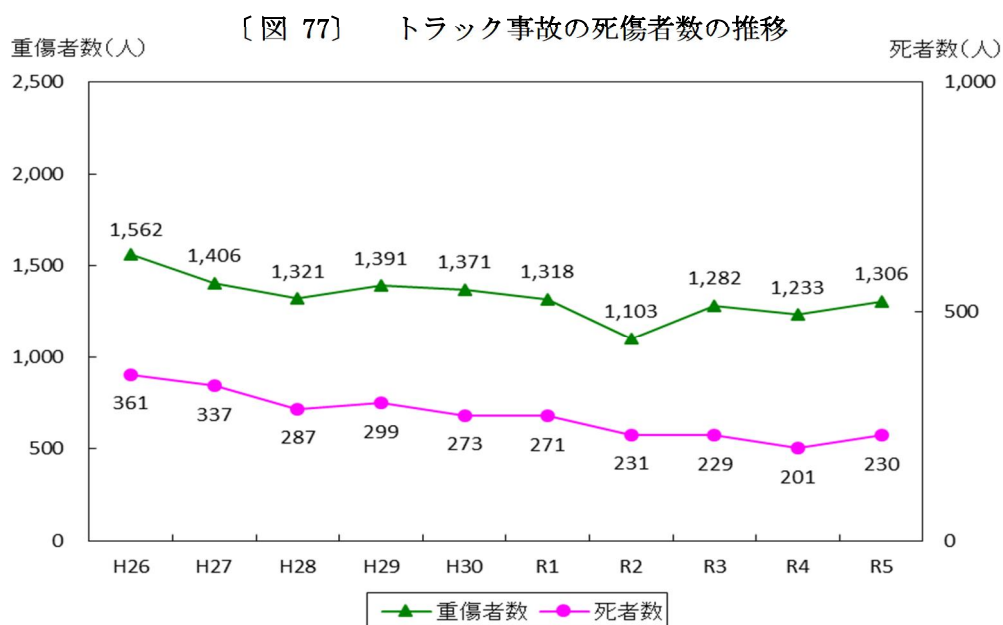
〔表 58〕 トラックの交通事故件数の推移（件）

区分 年	総件数	軽傷事故	重傷事故	死亡事故
H26	21,564	19,740	1,475	349
H27	19,825	18,185	1,307	333
H28	18,254	16,737	1,242	275
H29	17,986	16,407	1,289	290
H30	17,396	15,861	1,269	266
R1	15,606	14,118	1,223	265
R2	13,500	12,207	1,066	227
R3	14,031	12,601	1,209	221
R4	14,383	13,021	1,166	196
R5	14,173	12,718	1,233	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) トラック事故の死傷者数の推移

トラック事故による重傷者数、死者数は近年減少傾向となっていたが、令和5年は前年と比べて重傷者数、死者数ともに増加した。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 59〕 トラック事故の死傷者数の推移（人）

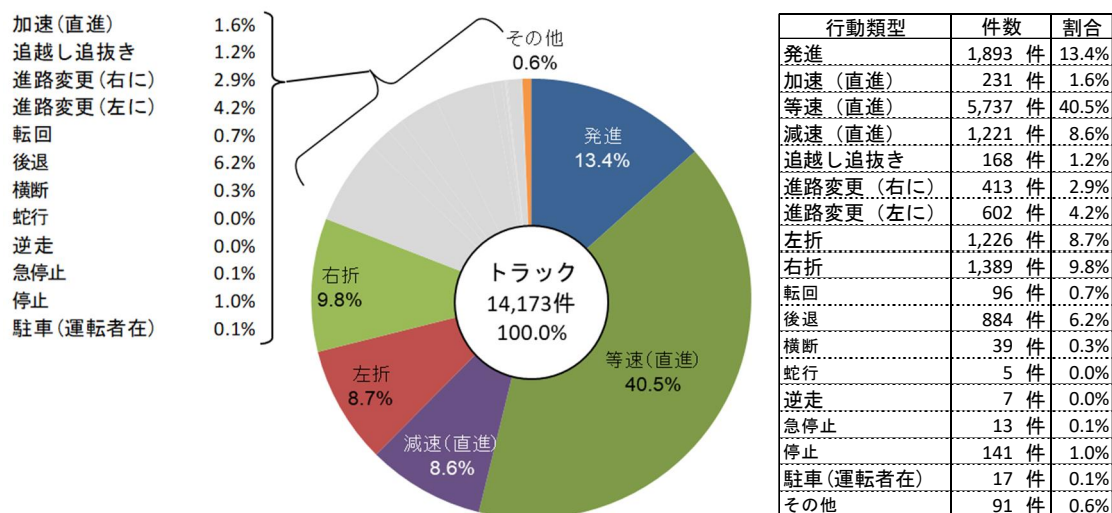
区分 年	死傷者合計	軽傷者数	重傷者数	死者数
H26	28,422	26,499	1,562	361
H27	25,996	24,253	1,406	337
H28	23,689	22,081	1,321	287
H29	23,218	21,528	1,391	299
H30	22,364	20,720	1,371	273
R1	19,928	18,339	1,318	271
R2	16,765	15,431	1,103	231
R3	17,293	15,782	1,282	229
R4	17,823	16,389	1,233	201
R5	17,713	16,177	1,306	230

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) トラックの行動類型別交通事故件数の割合

トラックの交通事故をトラックの動きで類型化すると、等速（直進）時が最も多く5,737件となっており、40%を超えている。

〔図 78〕 トラックの行動類型別交通事故件数の割合（令和 5 年）

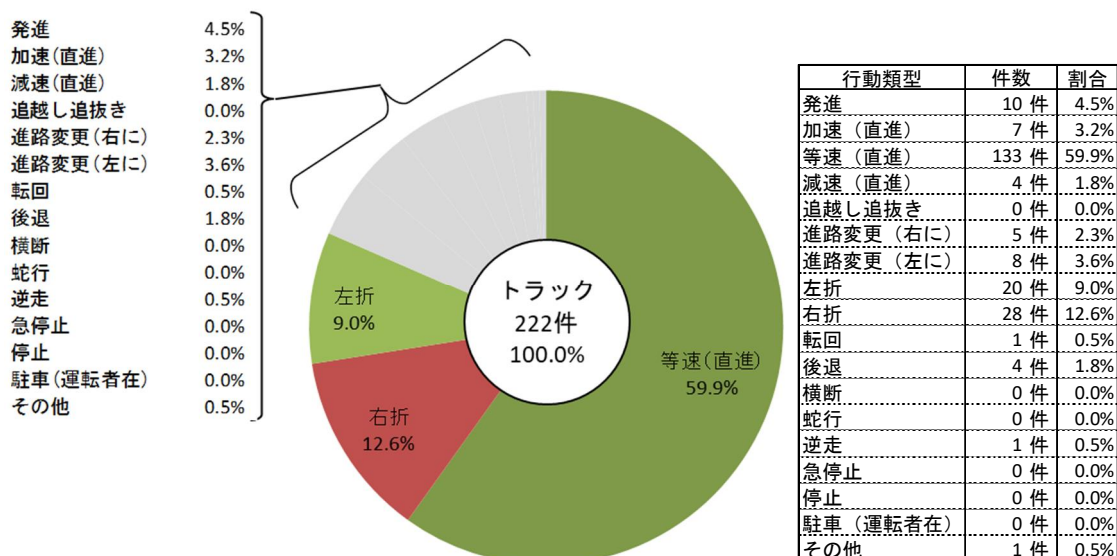


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(4) トラックの行動類型別交通死亡事故件数の割合

トラックの交通死亡事故をトラックの動きで類型化すると、等速（直進）時が最も多く133件となっており、約60%となっている。

〔図 79〕 トラックの行動類型別交通死亡事故件数の割合（令和 5 年）

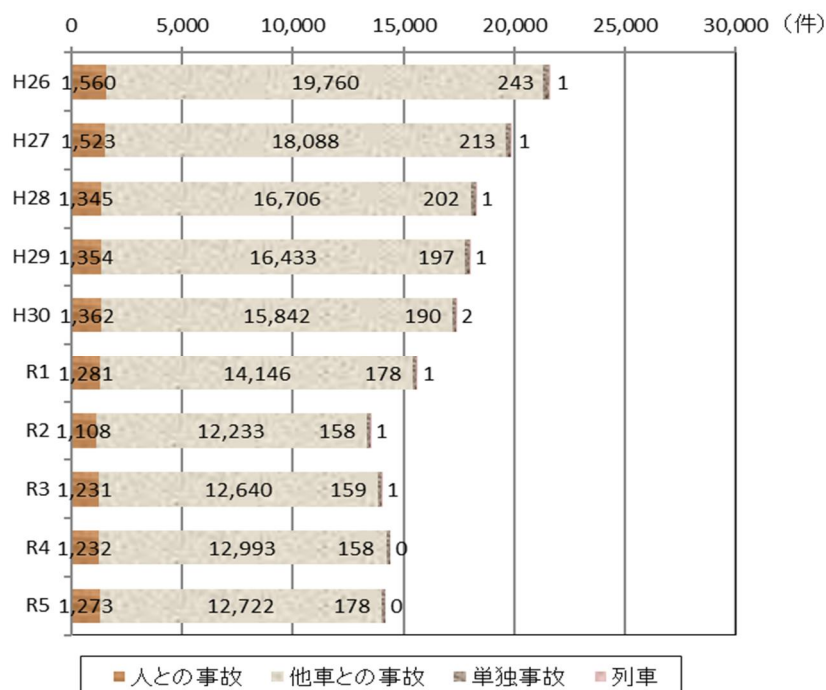


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(5) トラックの事故類型別交通事故件数の推移

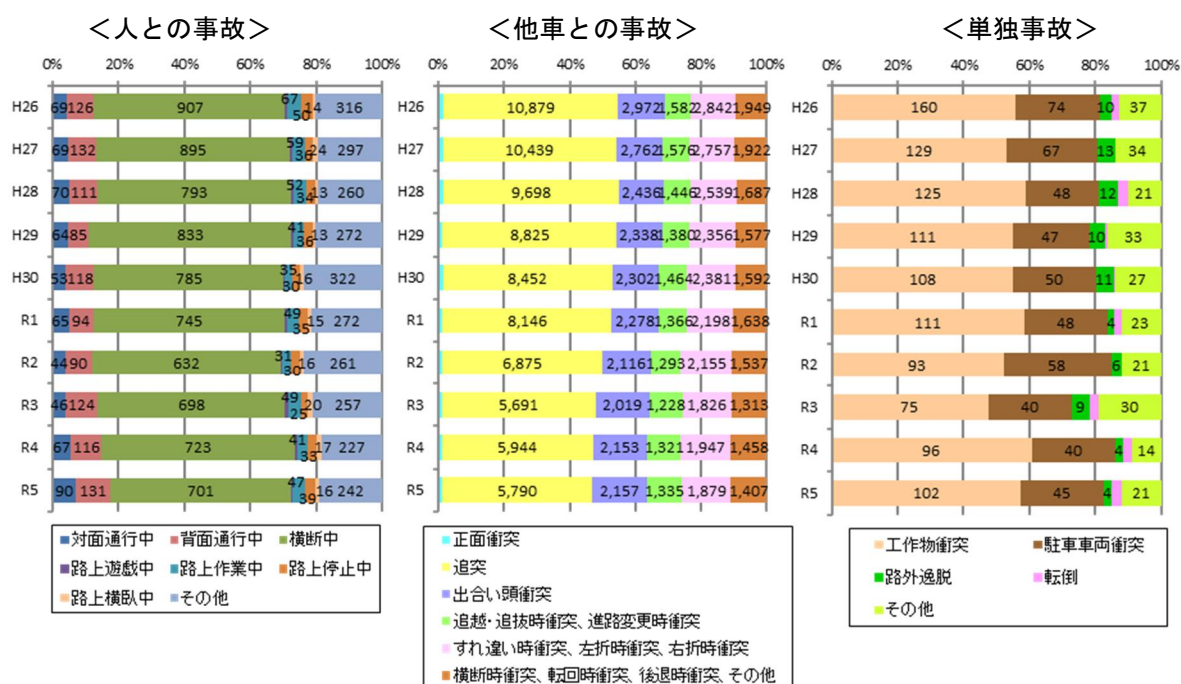
トラックの交通事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が最も多く12,722件となっており、約90%を占めている。また、そのうち約46%が追突事故となっている。

〔図 80〕 トラックの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 81〕 トラックの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

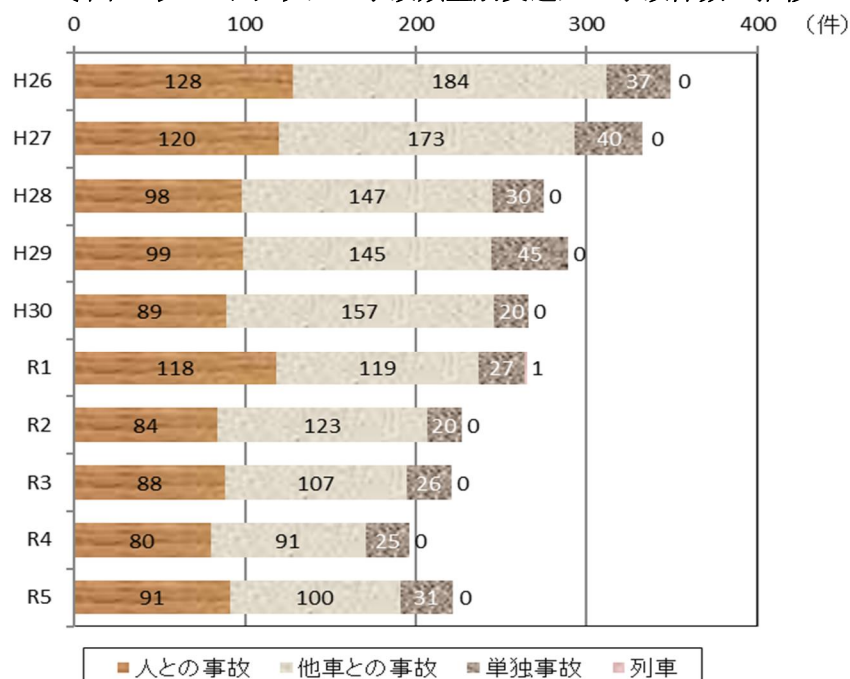


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(6) トラックの事故類型別交通死亡事故件数の推移

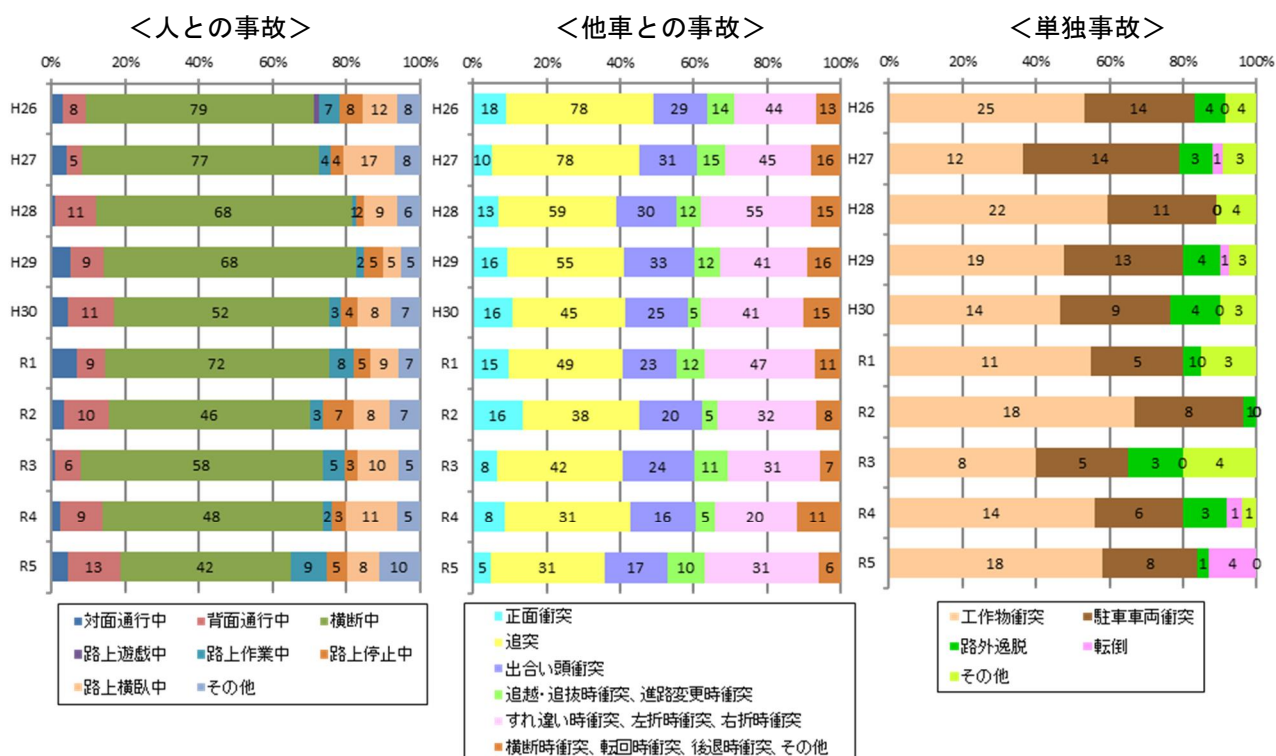
トラックの交通死亡事故を事故の種類で類型化すると、他車との事故が最も多く100件、人との事故が91件となっており、合計で約86%を占めている。また、トラックの交通死亡事故の中では横断中の人との事故が最も多く、42件（18.9%）となっている。

〔図 82〕 トラックの事故類型別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 83〕 トラックの事故類型別交通死亡事故件数の内訳の推移

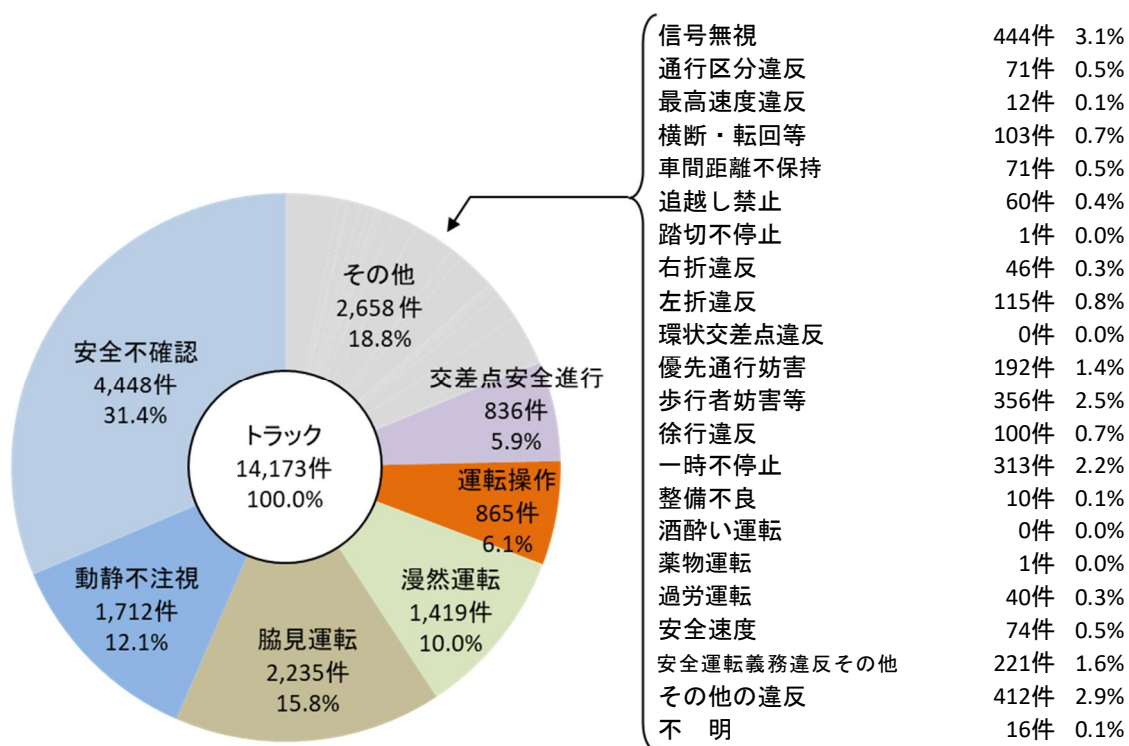


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(7) トラックの法令違反別の交通事故件数の割合

トラックでは、「安全不確認」4,448件（31.4%）、「脇見運転」2,235件（15.8%）、「動静不注視」1,712件（12.1%）といった法令違反の交通事故が多くなっており、合計で約59%となっている。

〔図 84〕 トラックの法令違反別の交通事故件数の割合（令和5年）

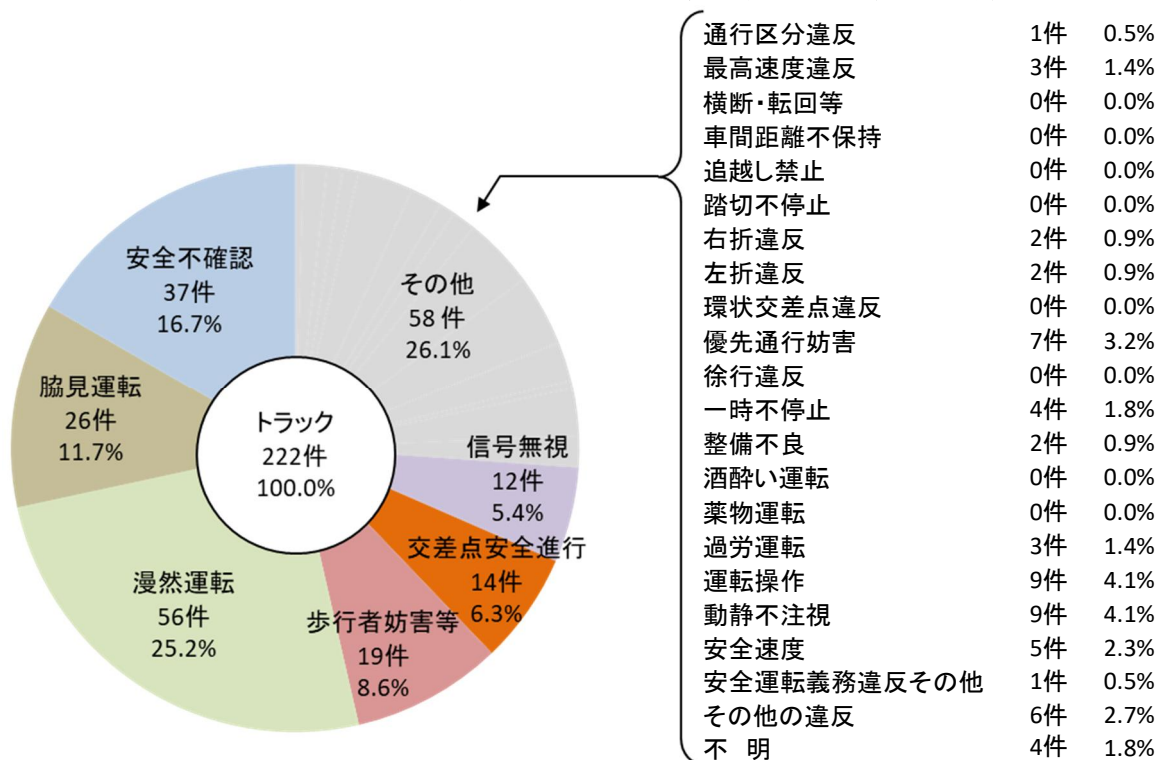


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(8) トラックの法令違反別の交通死亡事故件数の割合

トラックでは、「漫然運転」56件（25.2%）、「安全不確認」37件（16.7%）、「脇見運転」26件（11.7%）といった法令違反の交通事故が多くなっており、合計で約半数を占めている。

〔図 85〕 トラックの法令違反別の交通死亡事故件数の割合（令和5年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(9) トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数

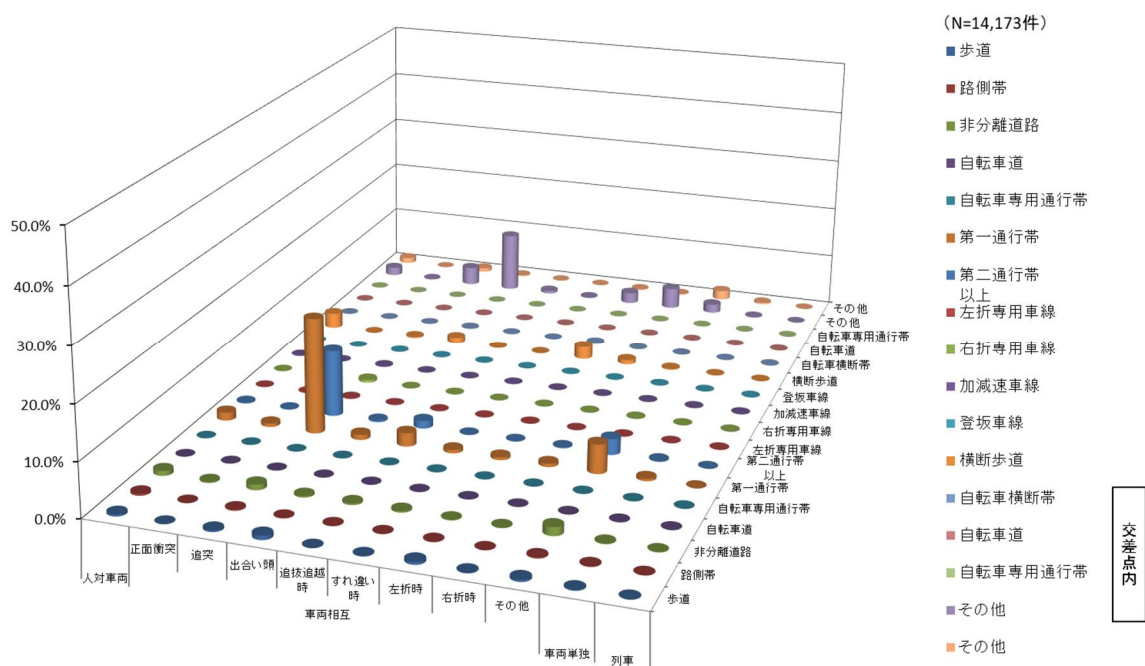
トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数と構成比をそれぞれ表60と図86に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表61と図87に示す。交通事故件数については、第一通行帯での追突事故が最も多く3,065件（21.6%）、交通死亡事故件数については、第一通行帯での人対車両事故が最も多く40件（18.0%）となっている。

〔表 60〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数（件）（令和5年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	52	1	42	109	6	4	72	10	53	15	0	364
	路側帯	53	2	25	7	9	4	8	1	27	12	0	148
	非分離道路	128	28	145	39	42	37	9	11	225	13	0	677
	自転車道	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	4
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	第一通行帯	216	91	3,065	135	355	90	76	86	769	59	0	4,942
	第二通行帯以上	25	11	1,765	39	204	6	9	19	421	22	0	2,521
	左折専用車線	0	0	12	1	0	0	0	0	1	0	0	14
	右折専用車線	0	1	74	3	1	0	1	4	9	0	0	93
	加減速車線	0	0	14	0	0	0	0	0	2	2	0	18
	登坂車線	1	0	4	0	3	1	0	0	1	1	0	11
交差点内	横断歩道	417	1	32	153	9	1	348	113	23	0	0	1,097
	自転車横断帯	2	0	3	16	0	0	32	7	0	0	0	60
	自転車道	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	5
	自転車専用通行帯	0	0	1	1	0	0	2	2	1	0	0	7
	その他	226	15	501	1,628	78	21	298	567	241	15	0	3,590
その他		153	4	105	24	7	7	17	13	251	39	0	620
合計		1,273	154	5,790	2,157	715	171	874	834	2,027	178	0	14,173

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 86〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通事故件数の構成比（%）（令和5年）



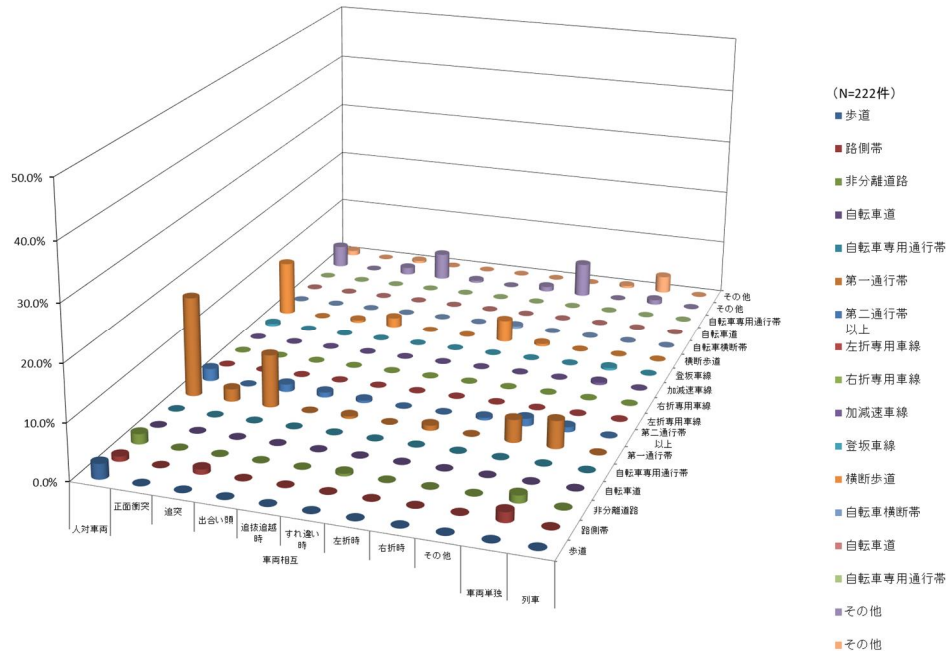
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 61〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
単路（交差点付近を含む）	歩道	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	路側帯	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	8
	非分離道路	4	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	8
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	40	5	21	0	1	0	2	0	9	11	0	89
	第二通行帯以上	5	0	3	2	1	0	0	1	3	2	0	17
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	登坂車線	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	交差点内	横断歩道	22	0	1	4	0	9	1	0	0	0	37
		自転車横断帯	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	9	0	3	11	1	2	14	0	2	0	42
	その他	2	0	1	0	0	0	0	0	1	7	0	11
	合計	91	5	31	17	3	1	14	16	13	31	0	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 87〕 トラックの事故類型別、衝突地点別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10) トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数

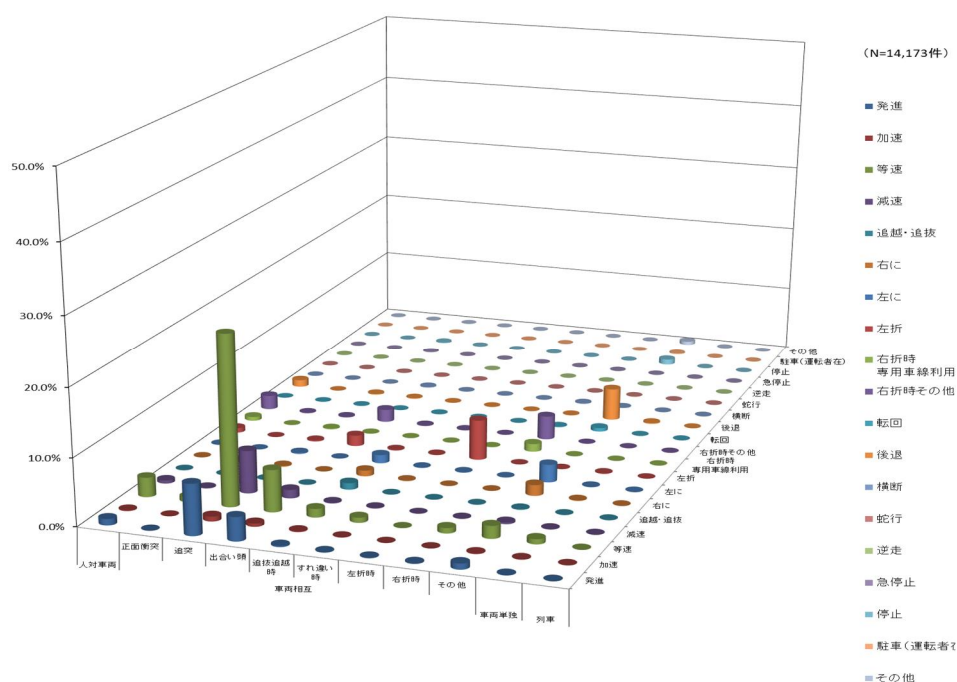
トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数と構成比をそれぞれ表62と図88に、交通死亡事故件数と構成比をそれぞれ表63と図89に示す。交通事故件数は、等速直進時の追突事故が最も多く3,573件（25.2%）、交通死亡事故件数は、等速直進時の人対車両事故が最も多く59件（26.6%）となっている。

〔表 62〕 トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互							車両単独	列車	合計	
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時				その他
発進		133	3	1,068	502	25	9	10	14	123	6	0	1,893
直進	加速	17	1	102	67	18	3	0	2	13	8	0	231
	等速	408	101	3,573	881	180	107	3	112	266	106	0	5,737
	減速	65	10	897	178	16	10	0	7	33	5	0	1,221
	追越・追抜	4	3	6	0	138	3	0	2	12	0	0	168
進路変更	右に	2	19	18	0	121	11	0	3	229	10	0	413
	左に	5	0	23	1	176	7	7	2	374	7	0	602
左折		98	1	21	226	12	8	851	0	0	9	0	1,226
右折時	専用車線利用	83	0	15	4	2	1	0	167	0	1	0	273
	その他	298	10	15	268	13	9	0	502	0	1	0	1,116
転回		1	0	2	2	5	0	1	9	75	1	0	96
後退		149	0	16	9	4	1	0	4	682	19	0	884
横断		2	0	0	15	2	0	1	10	8	1	0	39
蛇行		1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	5
逆走		1	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	7
急停止		1	0	11	0	0	0	0	0	1	0	0	13
停止		3	0	19	2	0	0	1	0	115	1	0	141
駐車(運転者在)		0	0	1	0	0	0	0	0	16	0	0	17
その他		2	1	2	1	2	2	0	0	79	2	0	91
合計		1,273	154	5,790	2,157	715	171	874	834	2,027	178	0	14,173

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 88〕 トラックの事故類型別、行動類型別交通事故件数の構成比（%）（令和 5 年）



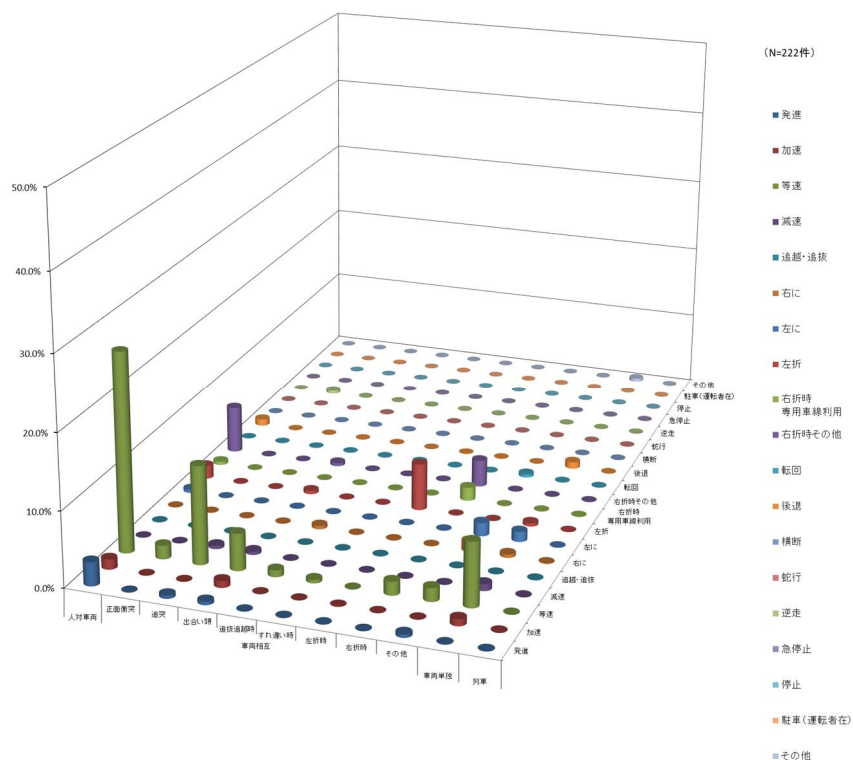
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 63〕 トラックの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数（件）（令和 5 年）

		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
	発進	7	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	10
直進	加速	3	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	7
	等速	59	4	29	11	2	1	0	4	4	19	0	133
	減速	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	4
	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	5
	左に	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	8
	左折	4	0	0	1	0	0	14	0	0	1	0	20
右折時	専用車線利用	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5
	その他	14	0	0	1	0	0	0	8	0	0	0	23
	転回	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	後退	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
	横断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	蛇行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	逆走	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	急停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	駐車（運転者在）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計	91	5	31	17	3	1	14	16	13	31	0	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 89〕 トラックの事故類型別、行動類型別交通死亡事故件数の構成比（％）（令和 5 年）

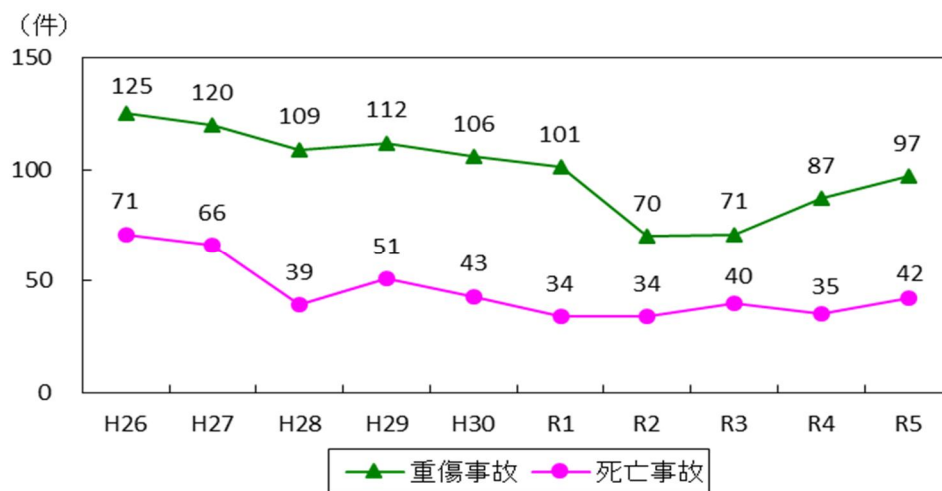


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(11) トラックの高速道路における交通事故のうち死亡・重傷事故の件数の推移

トラックの高速道路における令和5年の交通死亡事故は42件で前年より7件増加し、重傷事故は97件で前年より10件増加した。

〔図 90〕 トラックの高速道路における交通事故のうち死亡・重傷事故の件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12) トラックの追突事故件数、追突死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布

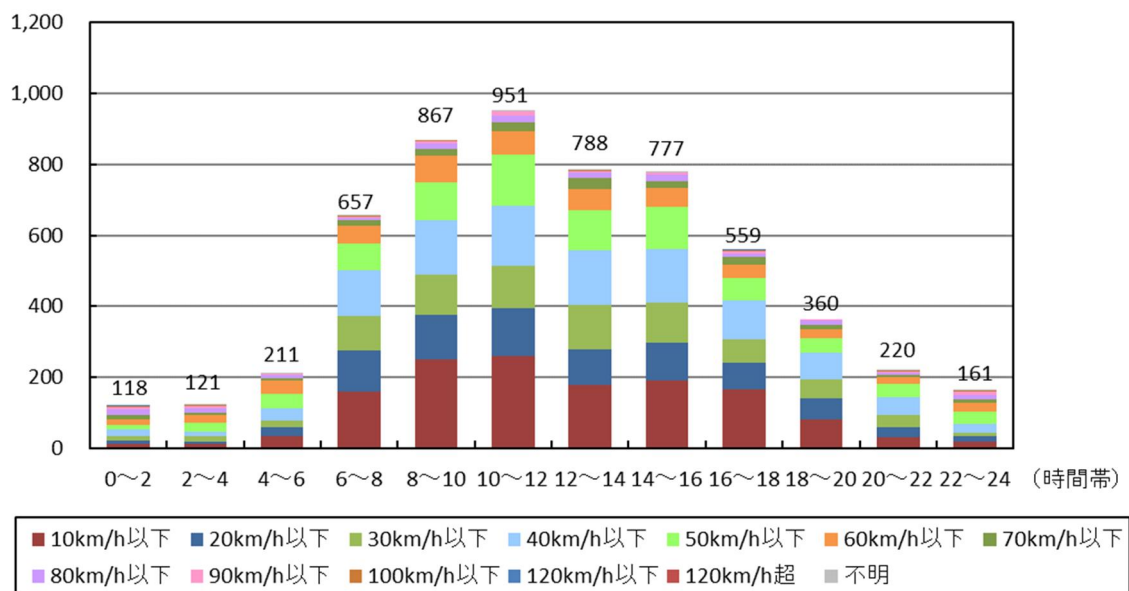
時間帯別危険認知速度別追突事故件数をみると、時間帯は10時～11時台が最も多く951件（16.4%）、次いで8時～9時台が867件（15.0%）、速度は10km/h以下が最も多く1,383件（23.9%）、次いで30km/h～40km/h以下が1,093件（18.9%）となっている。追突死亡事故件数は、時間帯は4時～5時台が最も多く6件（19.4%）、速度は70km/h～80km/h以下が最も多く9件（29.0%）となっており、追突死亡事故における危険認知速度が高めとなっている。

〔表 64〕 トラックの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和5年）

危険認知速度	時 間 帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	12	10	34	157	249	257	178	191	164	81	31	19	1,383
20km/h以下	10	8	24	116	126	135	100	104	77	59	27	14	800
30km/h以下	11	14	20	98	116	122	123	113	65	54	34	11	781
40km/h以下	20	13	35	131	151	170	158	155	109	75	51	25	1,093
50km/h以下	13	25	40	76	107	145	113	119	64	41	38	33	814
60km/h以下	14	23	36	50	74	65	60	52	40	25	19	26	484
70km/h以下	13	6	8	15	19	23	29	19	20	10	6	10	178
80km/h以下	14	11	8	7	17	21	18	17	10	12	5	11	151
90km/h以下	7	7	3	4	7	10	3	6	5	3	4	9	68
100km/h以下	3	3	1	1	1	2	2	0	4	0	3	2	22
120km/h以下	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	2	2	0	1	4	1	0	0	2	1	14
合計	118	121	211	657	867	951	788	777	559	360	220	161	5,790

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 91〕 トラックの追突事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（令和5年）
（件）



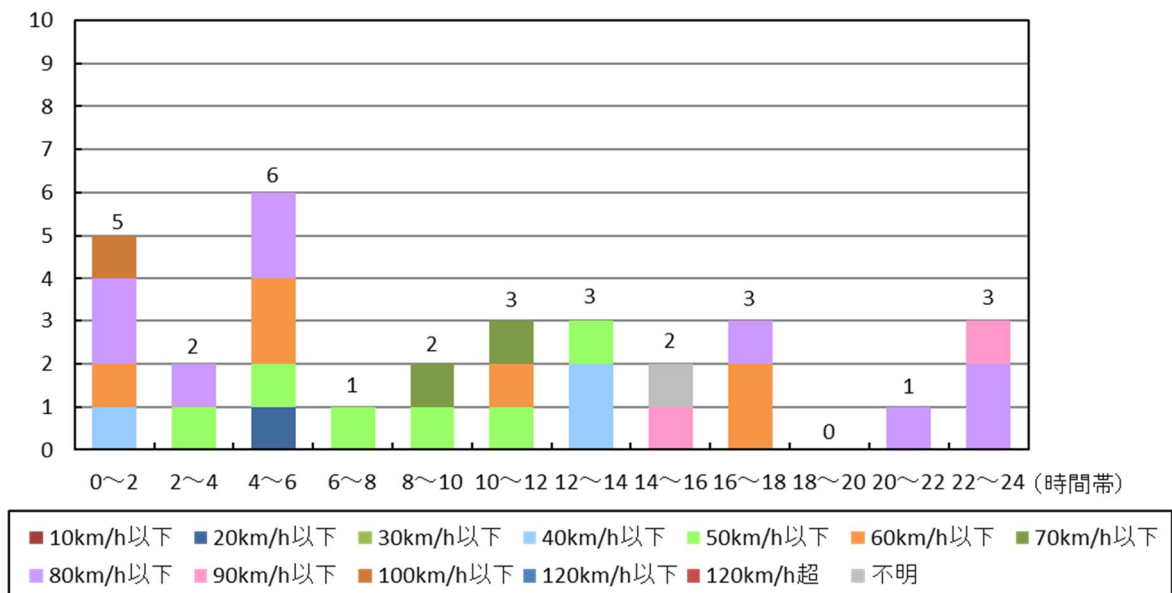
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 65〕 トラックの追突死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（令和 5 年）

	時 間 帯												合 計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20km/h以下	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40km/h以下	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
50km/h以下	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	6
60km/h以下	1	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6
70km/h以下	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
80km/h以下	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	2	9
90km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
100km/h以下	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合 計	5	2	6	1	2	3	3	2	3	0	1	3	31

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

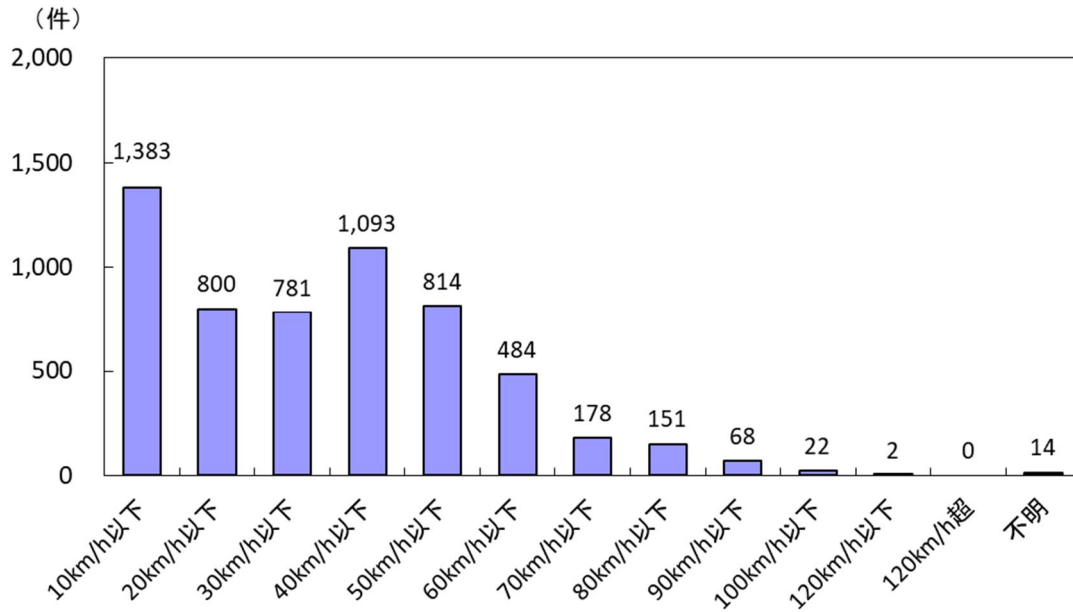
〔図 92〕 トラックの追突死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（令和 5 年）
（件）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

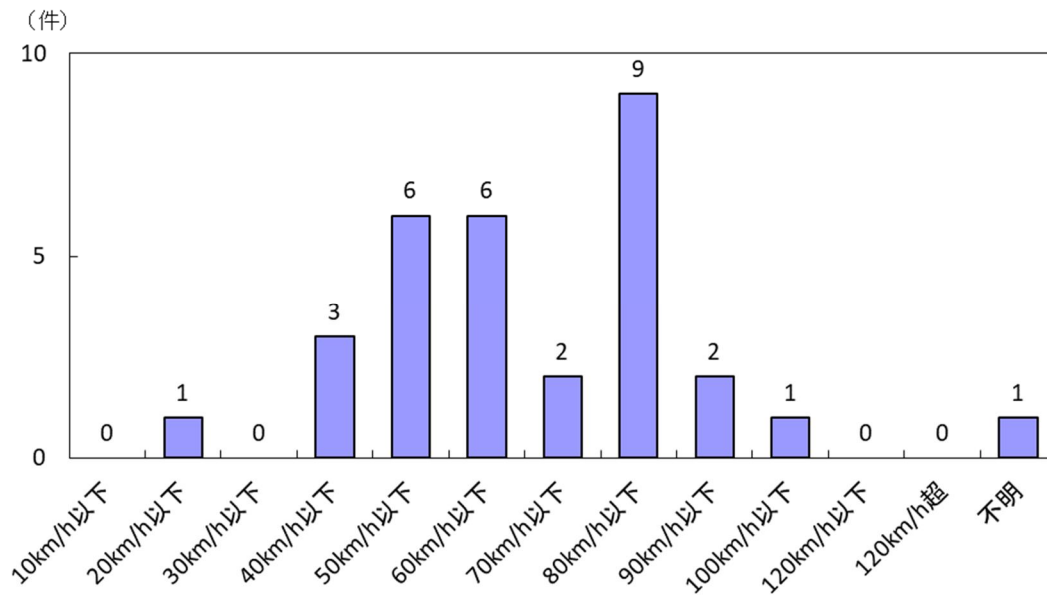
トラックの追突事故において、追突死亡事故は追突事故全体に比べて危険認知速度の分布が高速側に分布している。

〔図 93〕 トラックの危険認知速度別の追突事故件数（令和 5 年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 94〕 トラックの危険認知速度別の追突死亡事故件数（令和 5 年）



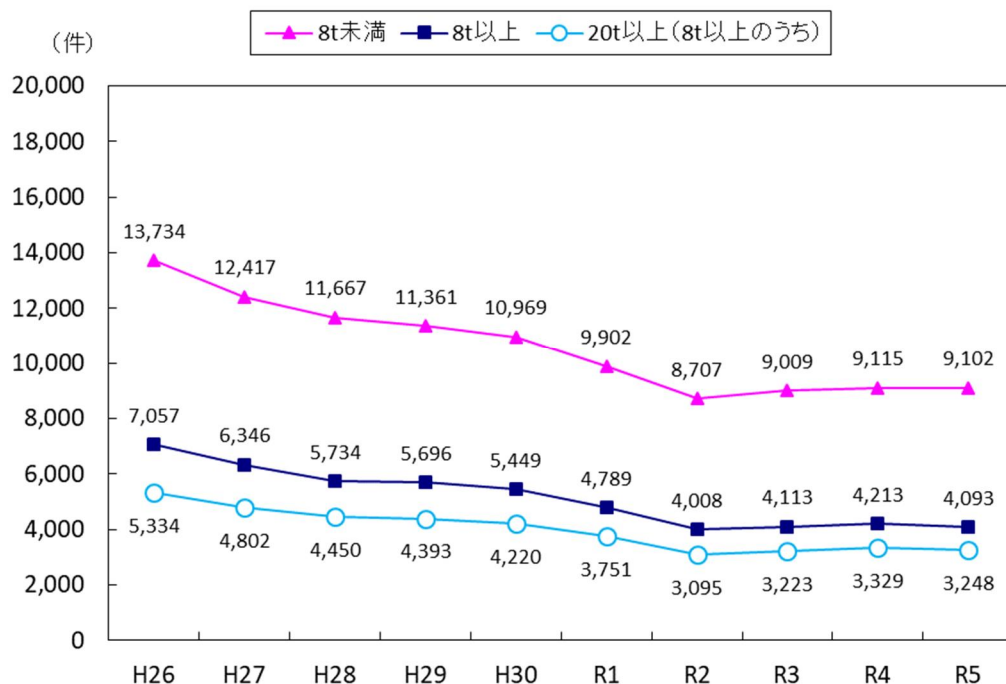
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(13) トラックの車両総重量別の交通事故件数の推移

① 交通事故件数

トラックの交通事故件数の推移を車両総重量別にみると、8トン未満、8トン以上ともに減少傾向となっており、令和5年は前年と比べてともに減少した。

〔図 95〕 トラックの車両総重量別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 66〕 車両総重量別交通事故件数の推移（件）

区分 年	交通事故件数			合計
	8t未満	8t以上	うち20t以上	
H26	13,734	7,057	5,334	20,791
H27	12,417	6,346	4,802	18,763
H28	11,667	5,734	4,450	17,401
H29	11,361	5,696	4,393	17,057
H30	10,969	5,449	4,220	16,418
R1	9,902	4,789	3,751	14,691
R2	8,707	4,008	3,095	12,715
R3	9,009	4,113	3,223	13,122
R4	9,115	4,213	3,329	13,328
R5	9,102	4,093	3,248	13,195

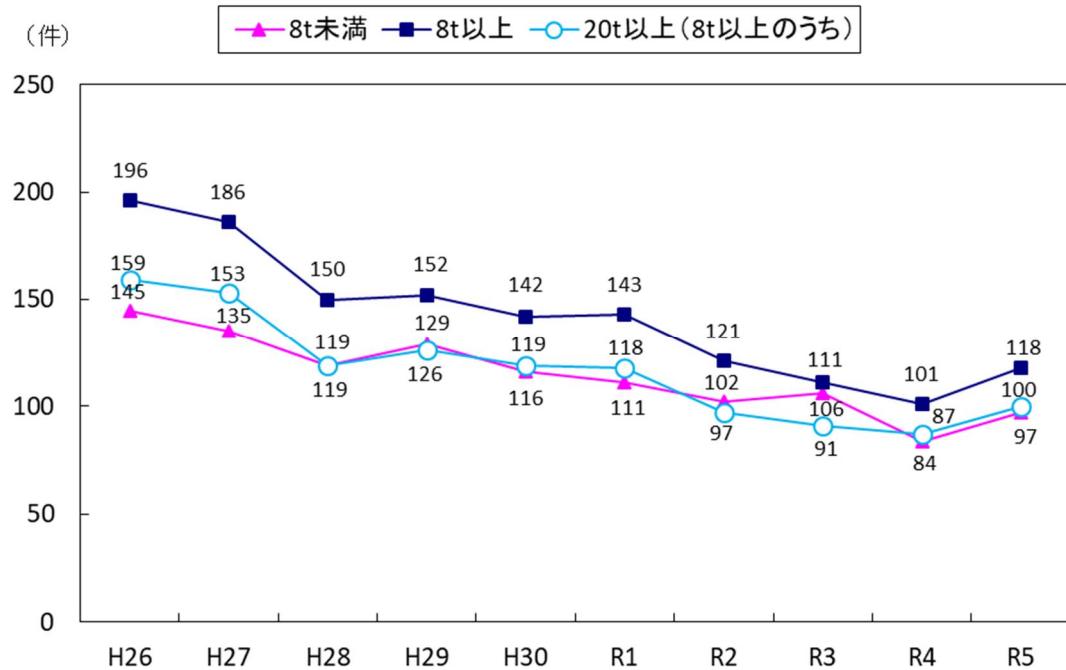
※合計は車両総重量不明を除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

② 死亡事故件数

トラックの交通死亡事故件数の推移を車両総重量別にみると、令和5年は前年に比べ8トン未満、8トン以上ともに増加した。

〔図 96〕 トラックの車両総重量別交通死亡事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 67〕 車両総重量別交通死亡事故件数の推移（件）

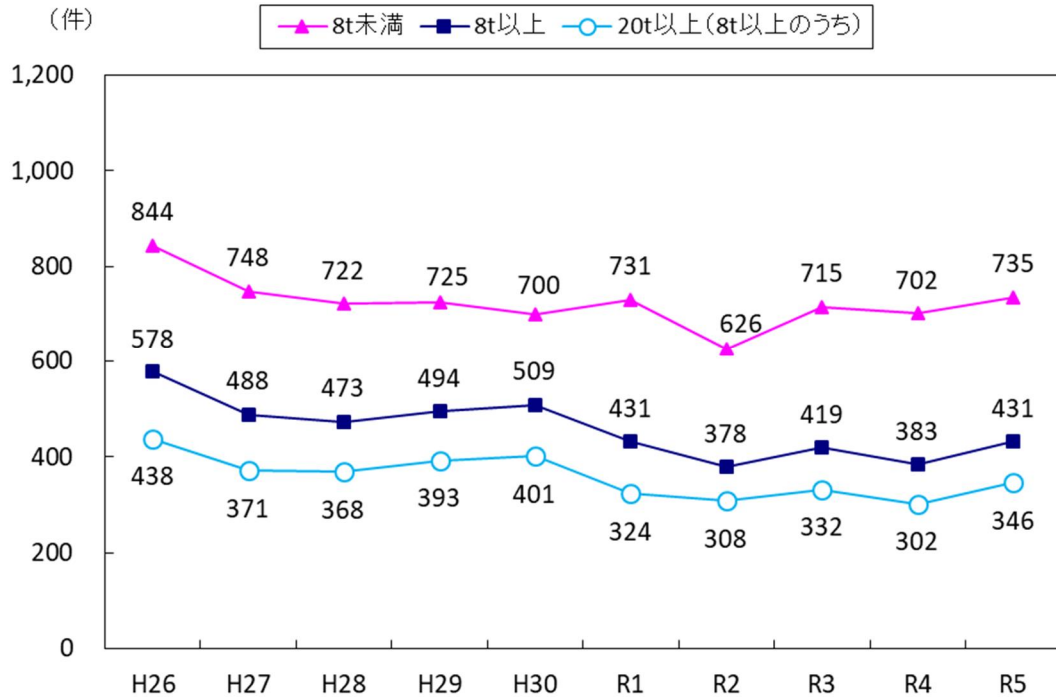
区分 年	交通死亡事故件数			合計
	8t未満	8t以上	うち20t以上	
H26	145	196	159	341
H27	135	186	153	321
H28	119	150	119	269
H29	129	152	126	281
H30	116	142	119	258
R1	111	143	118	254
R2	102	121	97	223
R3	106	111	91	217
R4	84	101	87	185
R5	97	118	100	215

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

③ 重傷事故件数

トラックの重傷事故件数の推移を車両総重量別にみると、8トン未満が多くなっている。令和5年は前年に比べ8トン未満、8トン以上、ともに増加した。

〔図 97〕 トラックの車両総重量別重傷事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 68〕 車両総重量別重傷事故件数の推移（件）

区分 年	重傷事故件数			合計
	8t未満	8t以上	うち20t以上	
H26	844	578	438	1,422
H27	748	488	371	1,236
H28	722	473	368	1,195
H29	725	494	393	1,219
H30	700	509	401	1,209
R1	731	431	324	1,162
R2	626	378	308	1,004
R3	715	419	332	1,134
R4	702	383	302	1,085
R5	735	431	346	1,166

※合計は車両総重量不明を除く

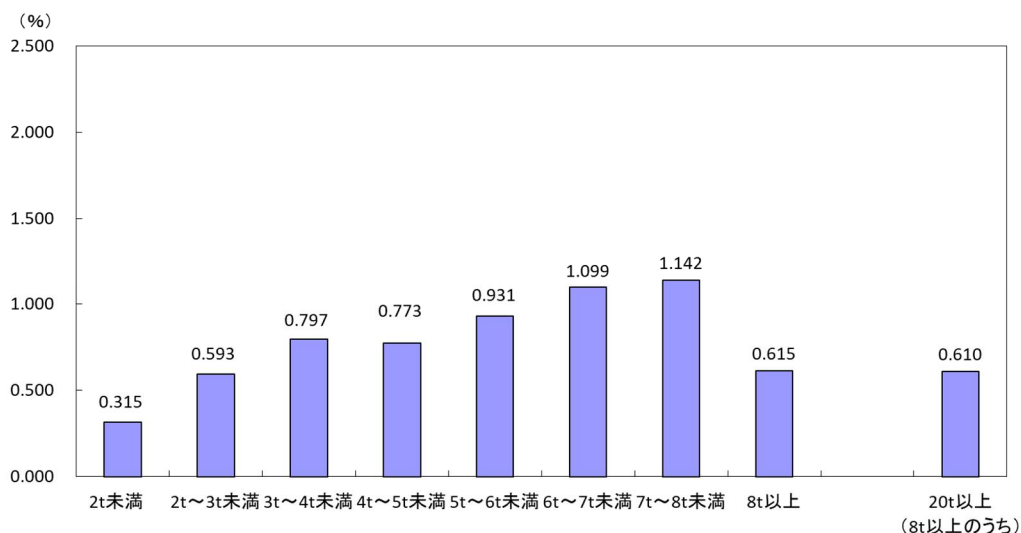
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(14) トラックの車両総重量別車両数あたりの交通事故発生率

① 交通事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの交通事故発生率は、7トン～8トン未満が最も高い。

〔図 98〕 トラックの車両総重量別車両数あたり交通事故発生率（令和5年）



※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

〔表 69〕 トラックの車両総重量別車両数あたり交通事故件数、車両数、発生率（令和5年）

	事故件数(件)	車両数(事業用)(両)	発生率
2t未満	29	9,208	0.315%
2t～3t未満	69	11,636	0.593%
3t～4t未満	315	39,547	0.797%
4t～5t未満	799	103,302	0.773%
5t～6t未満	597	64,158	0.931%
6t～7t未満	519	47,207	1.099%
7t～8t未満	2,660	232,842	1.142%
8t以上	4,093	665,664	0.615%
うち20t以上	3,248	532,419	0.610%

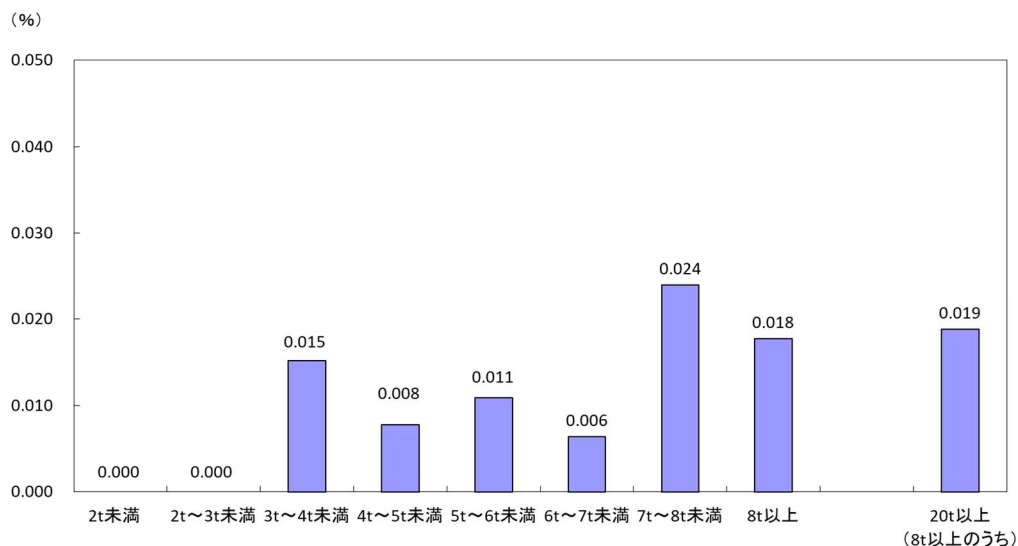
※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

② 死亡事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの交通死亡事故発生率は、7トン～8トン未満が最も高い。

〔図 99〕 トラックの車両総重量別車両数あたり死亡事故発生率（令和5年）



※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

〔表 70〕 トラックの車両総重量別車両数あたり死亡事故件数、車両数、発生率（令和5年）

	死亡事故件数	車両数(事業用)(両)	発生率
2t未満	0	9,208	0.000%
2t～3t未満	0	11,636	0.000%
3t～4t未満	6	39,547	0.015%
4t～5t未満	8	103,302	0.008%
5t～6t未満	7	64,158	0.011%
6t～7t未満	3	47,207	0.006%
7t～8t未満	56	232,842	0.024%
8t以上	118	665,664	0.018%
うち20t以上	100	532,419	0.019%

※軽トラックを除く

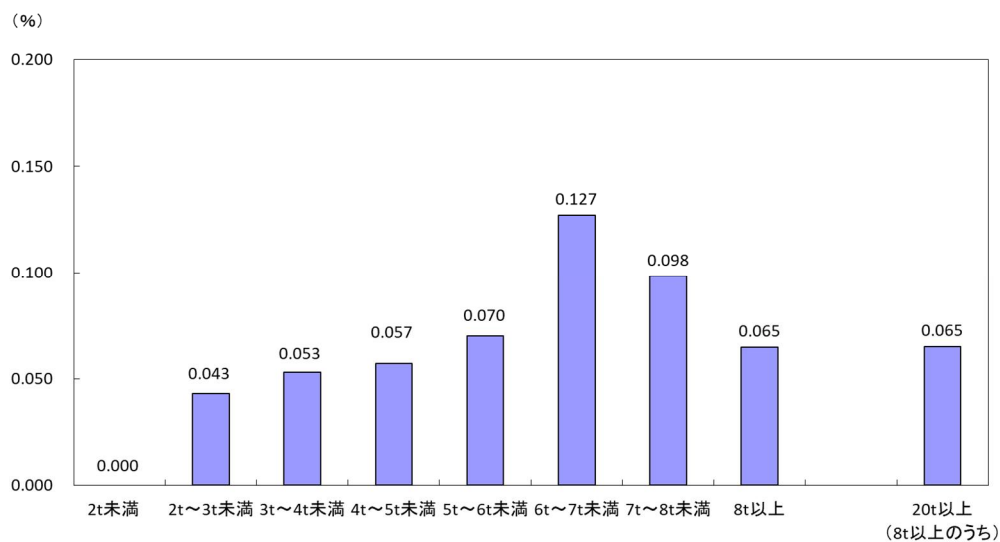
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

③ 重傷事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの重傷事故発生率は、6トン～7トン未満が最も高い。

〔図 100〕 トラックの車両総重量別車両数あたり重傷事故発生率（令和5年）



※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

〔表 71〕 トラックの車両総重量別車両数あたり重傷事故件数、車両数、発生率（令和5年）

	重傷事故件数	車両数(事業用)(両)	発生率
2t未満	0	9,208	0.000%
2t～3t未満	5	11,636	0.043%
3t～4t未満	21	39,547	0.053%
4t～5t未満	59	103,302	0.057%
5t～6t未満	45	64,158	0.070%
6t～7t未満	60	47,207	0.127%
7t～8t未満	229	232,842	0.098%
8t以上	431	665,664	0.065%
うち20t以上	346	532,419	0.065%

※軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

5. まとめ

令和5年中に全国で発生した事業用自動車の交通事故件数は23,606件で、そのうち交通死亡事故件数は263件、死者数は271人であり、前年と比べて交通事故件数、交通死亡事故件数ともに増加している。

○乗合バス

乗合バスの交通事故件数は近年減少傾向となっており、令和5年は778件と、前年と比べて25件減少している。

- ・「他車との事故」や「単独事故」が多く、合計で672件と約86%を占めている。また、「単独事故」のうち約78%が「車内事故」である。
- ・乗合バスの交通事故の中で最も多い「車内事故」265件のうち、112件が「発進時」、67件が「直進（加速、等速、減速）時」、51件が「急停止時」に発生している。また、「車内事故」による負傷者は278人おり、半数（132人）を高齢者（65歳以上）が占めている。なお、男性に比べて女性の負傷者数は2.7倍となっている（男性76人、女性202人）。

また、乗合バスの交通死亡事故件数は、令和5年は3件と、前年と比べて1件増加している。内訳は、「人との事故」が2件、「他車との事故」が1件である。

○貸切バス

貸切バスの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和4年から増加に転じており、令和5年は206件と、前年と比べて88件増加した。

- ・「他車との事故」が多く、156件と約76%を占めている。このうち、約38%が「追突事故」である。
- ・貸切バスの交通事故の中で最も多い「追突事故」60件のうち、「第一通行帯」での発生が35件、「第二通行帯以上」での発生が19件となっている。

また、貸切バスの交通死亡事故は、令和4年は2件であったが、令和5年も2件で、「人との事故」となっている。

○タクシー

タクシーの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和5年は8,447件と、前年と比べて499件増加した。

- ・「他車との事故」が多く、6,105件と約72%となっている。このうち、約26%が「出会い頭衝突事故」である。
- ・タクシーの交通事故の中で最も多い「出会い頭衝突事故」1,611件のうち、「交差点内」での

発生が 1,437 件となっている。

- ・なお、タクシーの交通事故のうち、6,351 件（75.2%）が空車時に発生している。

また、タクシーの交通死亡事故件数は近年横ばいで推移していたが、令和 4 年から増加に転じ、令和 5 年は 36 件と、前年と比べて 14 件増加している。

- ・「人との事故」が 22 件、「他車との事故」が 13 件となっている。また、「横断中」での発生が 13 件となっている。

○トラック

トラックの交通事故は令和 3 年から増加に転じたが、令和 5 年は 14,173 件と、前年と比べて 210 件減少している。

- ・「他車との事故」が多く、12,722 件と約 90%を占めている。このうち、約 46%が「追突事故」である。
- ・トラックの交通事故の中で最も多い「追突事故」を発生時間帯で分類すると、6 時～17 時台が 4,599 件と約 79%を占めており、このうち 10 時～11 時台が 951 件と最多になっている。また、危険認知速度で分類すると、10km/h 以下の低速が 1,383 件と約 24%を、30km/h～40km/h 以下の中速が 1,093 件と約 19%を占めている。発生地点で分類すると、「第一通行帯」での発生が 3,065 件と約 53%を占めている。

また、トラックの交通死亡事故は近年減少傾向となっているが、令和 5 年は 222 件と、前年と比べて 26 件増加した。

- ・「人との事故」や「他車との事故」が多く、合計で 191 件と約 86%を占めている。
- ・「他車との事故」のうち、「追突」が 31 件、「すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突」が 31 件、「出会い頭衝突」が 17 件、となっている。
- ・「人との事故」を発生地点で分類すると、「第一通行帯」での発生が 40 件、「交差点内」での発生が 31 件となっている。

また、飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成 26 年から横ばい傾向となっており、令和 5 年は 48 件と、前年と比べて 11 件増加した。なお、令和 5 年はトラックが 45 件、タクシーが 3 件であり、バスは 0 件となっている。